

流山市地域福祉に関する 市民アンケート調査報告書

令和3年3月

流山市

目次

| | |
|--------------------------------|----------|
| 第1部 調査概要 | 1 |
| 1. 調査の目的 | 1 |
| 2. 調査の方法及び対象者 | 1 |
| 3. 調査回収状況 | 1 |
| 4. 報告書を見る際の留意点 | 2 |
| 第2部 調査結果報告 | 3 |
| . あなたご自身についてお伺いします。 | 3 |
| 問1 性別 | 3 |
| 問2 年齢 | 4 |
| 問3 職業 | 5 |
| 問4 居住地区 | 7 |
| 問5 居住年数 | 9 |
| 問6 住居の状況 | 10 |
| 問7 家族構成 | 11 |
| 問8 同居している家族について | 12 |
| . 生活・健康の状況についてお伺いします。 | 13 |
| 問9 現在の生活状況 | 13 |
| 問10 現在の健康状況 | 14 |
| 問11 ここ1か月間の出来事 | 15 |
| 問12 かかりつけ医の状況 | 16 |
| 問13 喫煙の状況 | 17 |
| 問14 飲酒の状況 | 17 |
| 問15 運動の状況 | 18 |
| 問16 食事の状況 | 18 |
| . 地域や社会とのかかわりについてお伺いします。 | 19 |
| 問17 地域や街への愛着 | 19 |
| 問18 地域の問題点 | 20 |
| 問19 自治会の加入状況 | 23 |
| 問20 近所づきあい（現在） | 25 |
| 問21 近所づきあい（今後） | 28 |
| 問22 地域活動等の参加状況 | 31 |
| 問23-1 地域活動等の参加頻度 | 32 |
| 問23-2 地域活動等に参加している理由 | 33 |

| | | |
|--------|---|-----------|
| 問 23-3 | 新型コロナウイルスによる影響 | 35 |
| 問 24-1 | 今後の地域活動等への参加意向 | 37 |
| 問 24-2 | 地域活動等に参加していない理由 | 38 |
| | ・住民同士の支え合い、生活上の悩みについてお伺いします。 | 40 |
| 問 25 | 住民同士の支え合いについて | 40 |
| 問 26 | お互いの生活を支えあっていると思うか | 41 |
| 問 27 | お住まいの地域で手助け、協力・支援が必要な人 | 42 |
| 問 28 | 支え合い活動の必要性について | 43 |
| 問 29 | 支え合い活動について | 44 |
| 問 30 | 支え合い活動が必要ないと思う理由 | 46 |
| 問 31 | 日常生活で困っていること | 48 |
| 問 32-1 | 日常生活で困っている内容 | 48 |
| 問 32-2 | 困ったときの相談相手 | 50 |
| 問 33 | 相談支援窓口 | 51 |
| 問 34 | 虐待疑いの発見時の対応 | 51 |
| 問 35 | 緊急時の対応 | 54 |
| 問 36 | 災害時に困ること | 55 |
| 問 37 | 災害時要援護者について | 57 |
| | ・地域福祉にかかわる団体や制度、今後の地域福祉についてお伺いします。 | 60 |
| 問 38-1 | 流山市社会福祉協議会の認知度 | 60 |
| 問 38-2 | 社会福祉協議会の活動の認知度 | 62 |
| 問 39-1 | 民生委員・児童委員の認知度 | 63 |
| 問 39-2 | 民生委員・児童委員の活動 | 65 |
| 問 40 | 生活困窮者自立支援制度の認知度 | 66 |
| 問 41 | 地域や社会の情報の取得状況 | 67 |
| 問 42 | 地域や社会の情報の入手方法 | 68 |
| 問 43 | 福祉サービスの第三者評価の認知度 | 70 |
| 問 44 | 福祉サービスの第三者評価の評価結果の利用希望 | 70 |
| 問 45 | お住まいの地域や周辺環境 | 71 |
| 問 46 | 市民と行政の協働（パートナーシップ） | 72 |
| 問 47 | 市民と行政との関係 | 74 |
| 問 48 | 福祉活動に対する支援 | 76 |
| 問 49 | 相談支援体制の充実 | 77 |
| 問 50 | 安心して生活するための取組 | 78 |
| 問 51 | 自由記述 | 82 |

第 1 部 調查概要

第1部 調査概要

1. 調査の目的

流山市では、誰もが住み慣れた地域で、安心して暮らせるまちづくりのため、市民・関係機関、団体と行政が連携し、地域住民がお互いに助け合える新しい福祉行政を目指し、「流山市地域福祉計画」を策定します。計画策定に向け、「流山市地域福祉に関する市民アンケート」を実施しました。

2. 調査の方法及び対象者

調査地域：流山市全域

調査形式：アンケート調査

調査方法：郵送配布・郵送回収

調査期間：令和3年1月22日～令和3年2月9日

調査対象者：市内在住の18歳以上の方3,000人を無作為抽出。

3. 調査回収状況

| 調査区分 | 配布数 | 回収数 | 回収率 |
|-------------------|--------|--------|-------|
| 地域福祉に関する市民アンケート調査 | 3,000件 | 1,450件 | 48.3% |

4 . 報告書を見る際の留意点

調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として、小数点第2位を四捨五入して小数点第1位までを示しているため、比率が0.05未満の場合には0.0と表記しています。また、合計値が100.0%にならない場合があります。

複数回答の設問の場合、原則として、その項目に対しての有効回答者の数を基数とし、比率算出を行っているため、回答比率の合計は100.0%を超える場合があります。

図表中の「n」とは、その設問の回答者数を表しています。

クロス集計は、集計の都合上、無回答者を除いた集計となっている部分があり、単純集計の結果と合致するとは限りません。

本報告書では、なるべく調査票そのままの表現を用いていますが、スペース等の関係から一部省略した表現としている箇所があります。

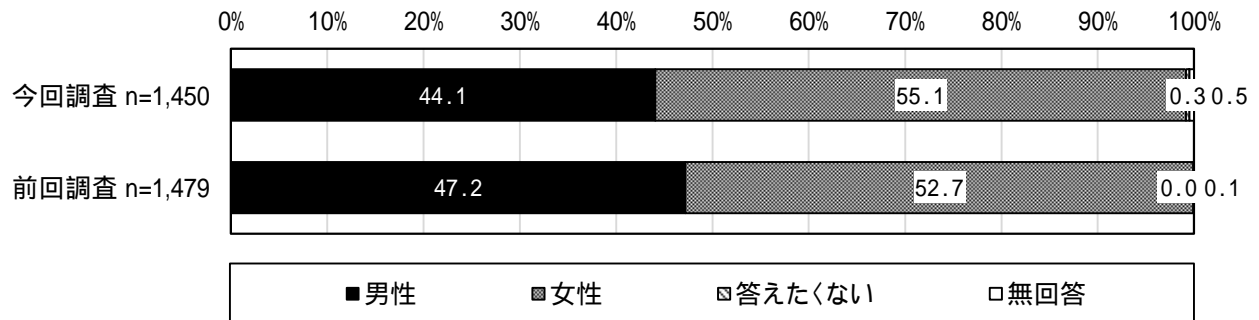
第 2 部 調查結果報告

第2部 調査結果報告

．あなたご自身についてお伺いします。

問1 性別

あなたの性別を教えてください。(あてはまるもの1つに)



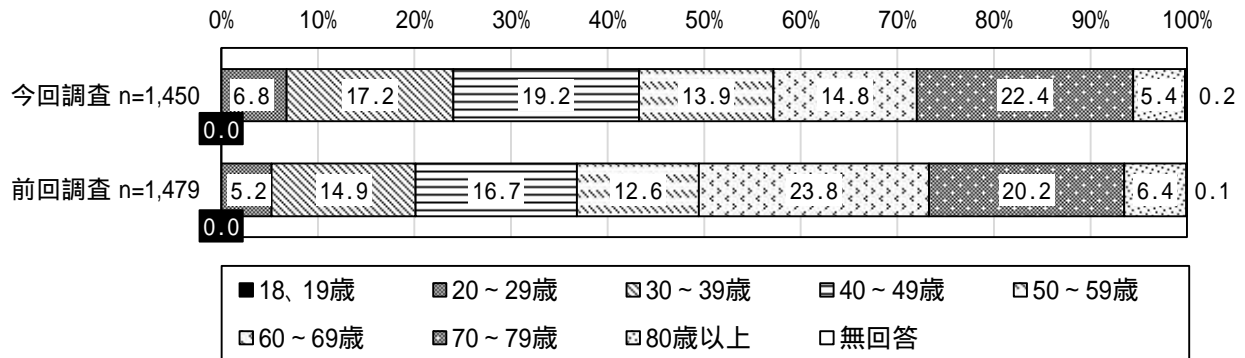
前回調査では、「答えたくない」の項目はありませんでした。

回答者の性別は「男性」が44.1%、「女性」が55.1%、「答えたくない」が0.3%で「女性」が「男性」を11.0ポイント上回っています。

前回調査との比較では、「男性」が3.1ポイント減少し、「女性」が2.4ポイント増加しています。

問2 年齢

あなたの年齢を教えてください。(あてはまるもの1つに)



前回調査では、「18、19歳」の項目はありませんでした。

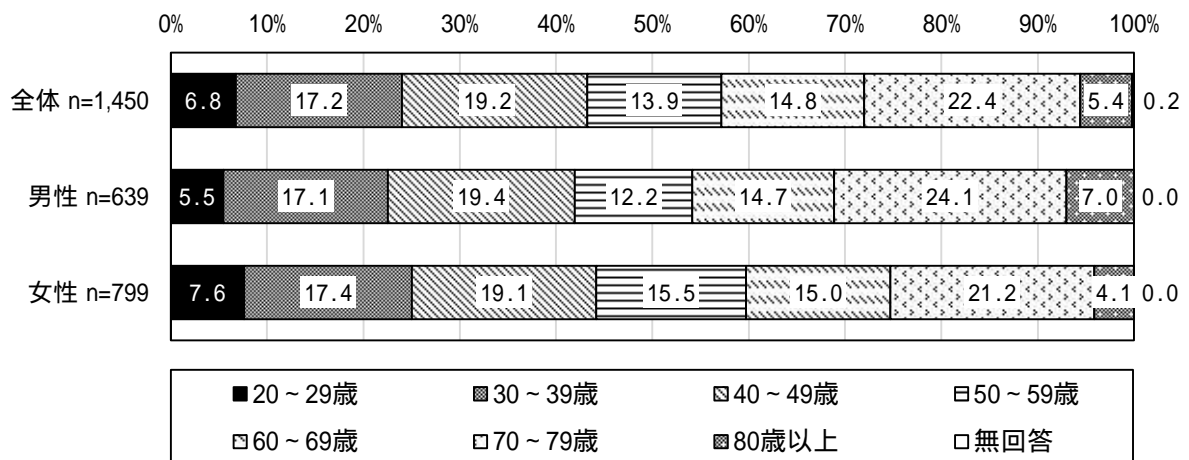
今回調査の「18、19歳」の回収率は0.0%のため、以降のグラフから「18、19歳」の表示を除きます。

回答者の年齢は、「70~79歳」が22.4%と最も高く、次いで「40~49歳」が19.2%、「30~39歳」が17.2%となっています。

また、男女別でも同様の傾向がうかがえます。

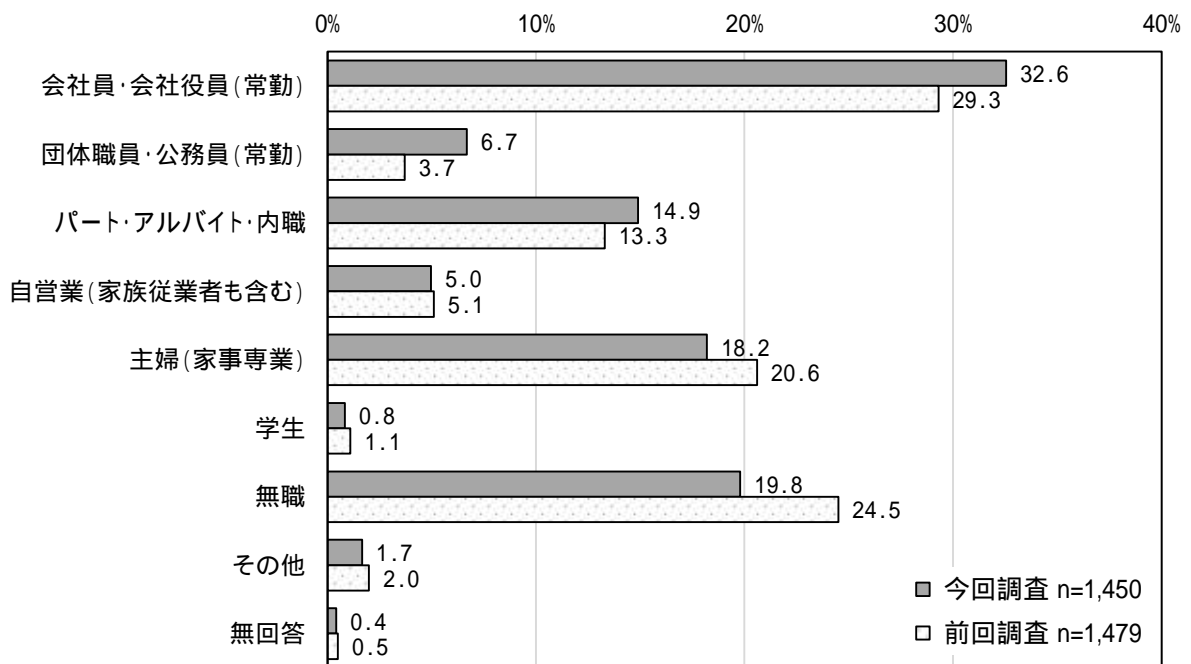
前回調査との比較では、「60~69歳」、「70~79歳」、「40~49歳」の順で割合が高くなっています。

男女別年齢



問3 職業

あなたの職業を教えてください。(あてはまるもの1つに)



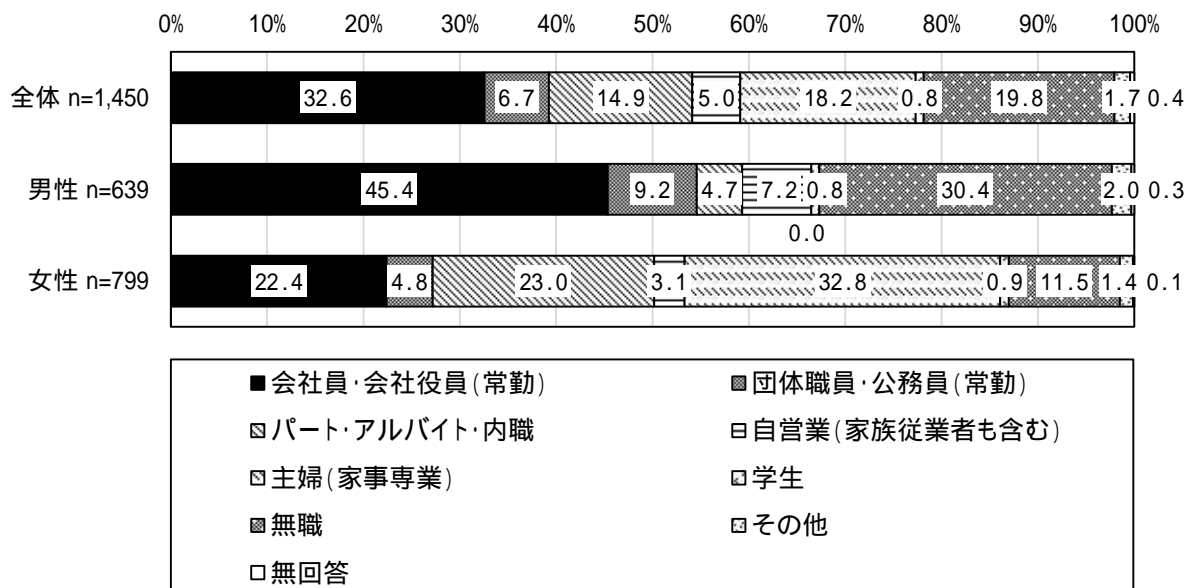
職業は、「会社員・会社役員(常勤)」が32.6%と最も高く、次いで「無職」が19.8%、「主婦(家事専業)」が18.2%となっています。

また、男女別では、男性では「会社員・会社役員(常勤)」と「無職」の割合が高く、女性では「パート・アルバイト・内職」と「主婦(家事専業)」の割合が高くなっています。

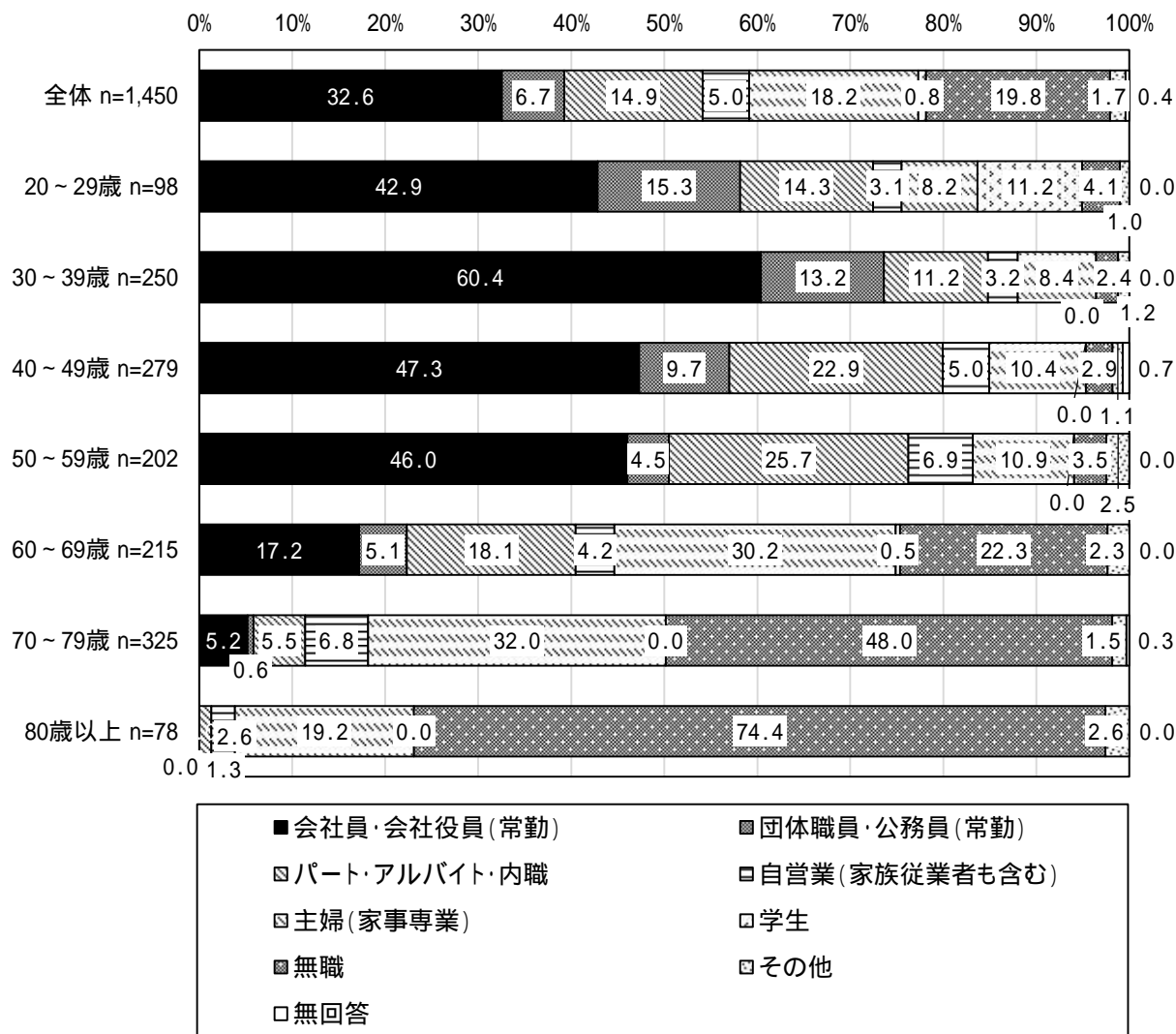
さらに、年代別でみると、59～59歳まで「会社員・会社役員(常勤)」や「パート・アルバイト・内職」の割合が高く、60歳以上では「主婦(家事専業)」、「無職」の割合が高くなっています。

前回調査との比較では、「無職」、「主婦(家事専業)」の割合が減少し「会社員・会社役員(常勤)」、「団体職員・公務員(常勤)」、「パート・アルバイト・内職」の割合が高くなっています。

男女別職業

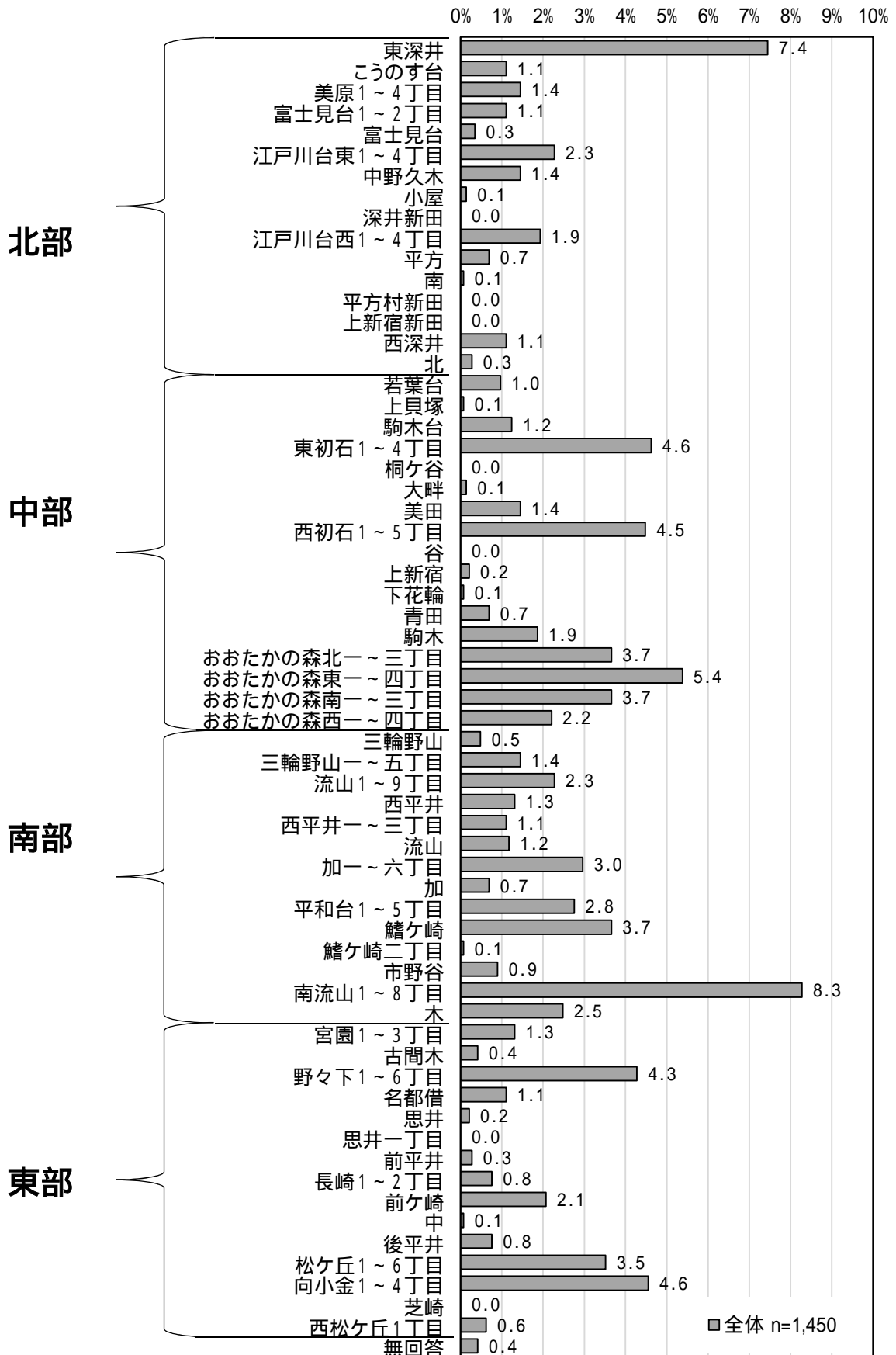


年代別職業

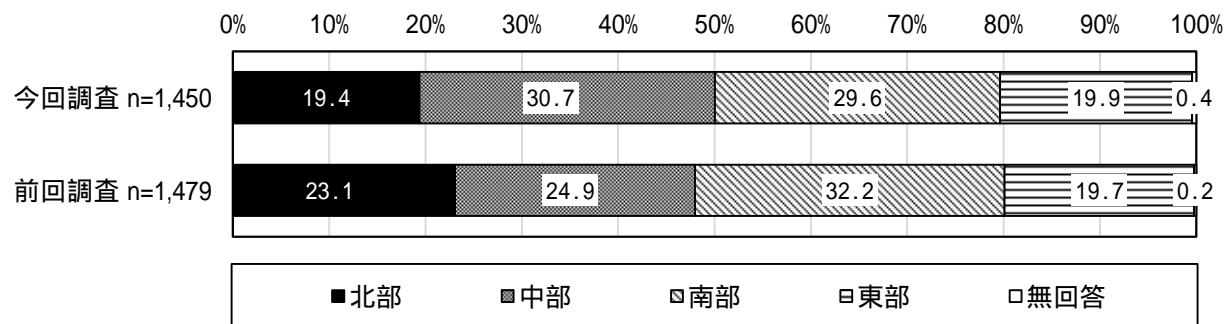


問4 居住地区

あなたがお住まいの地域はどこですか。(あてはまるもの1つに)



大分類での居住地区別集計



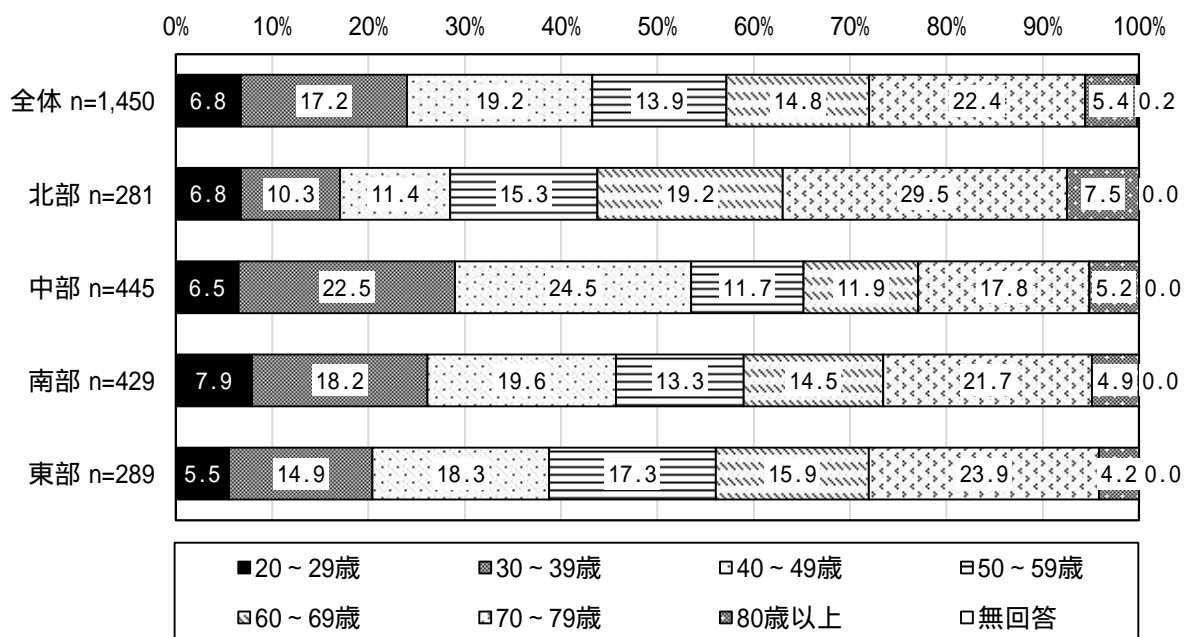
居住地区は、「南流山1～8丁目」が8.7%と最も高く、次いで「東深井」が7.4%、「おおたかの森東一～四丁目」が5.4%となっています。

また、居住地区別では、「中部」が30.7%と最も高く、次いで「南部」が29.6%、「東部」が19.9%、「北部」が19.4%となっています。

さらに、居住地区別をみると、中部、南部、東部で40～49歳までの割合が他地区より高く、北部では60歳以上の割合が高いことがわかります。

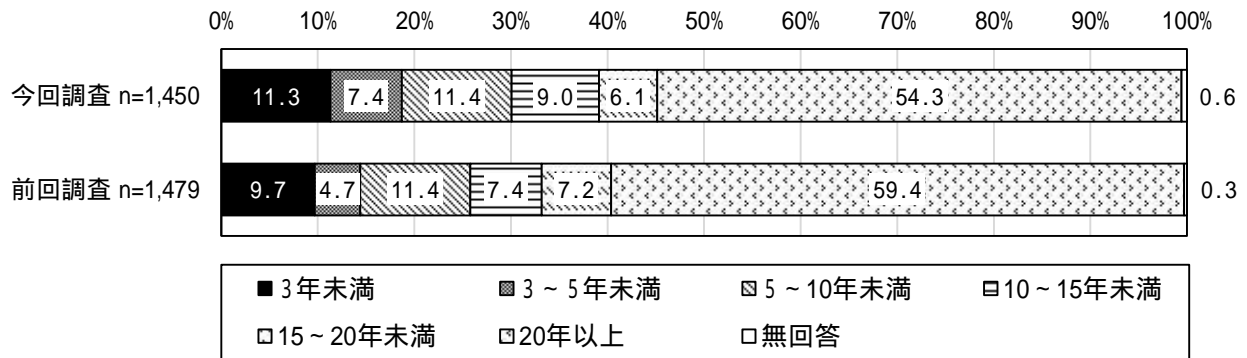
前回調査との比較では、「北部」、「南部」の割合が減少し、「中部」、「東部」の割合が高くなっています。

居住地区別年代



問5 居住年数

あなたが流山市に住み始めて何年になりますか。(あてはまるもの1つに)

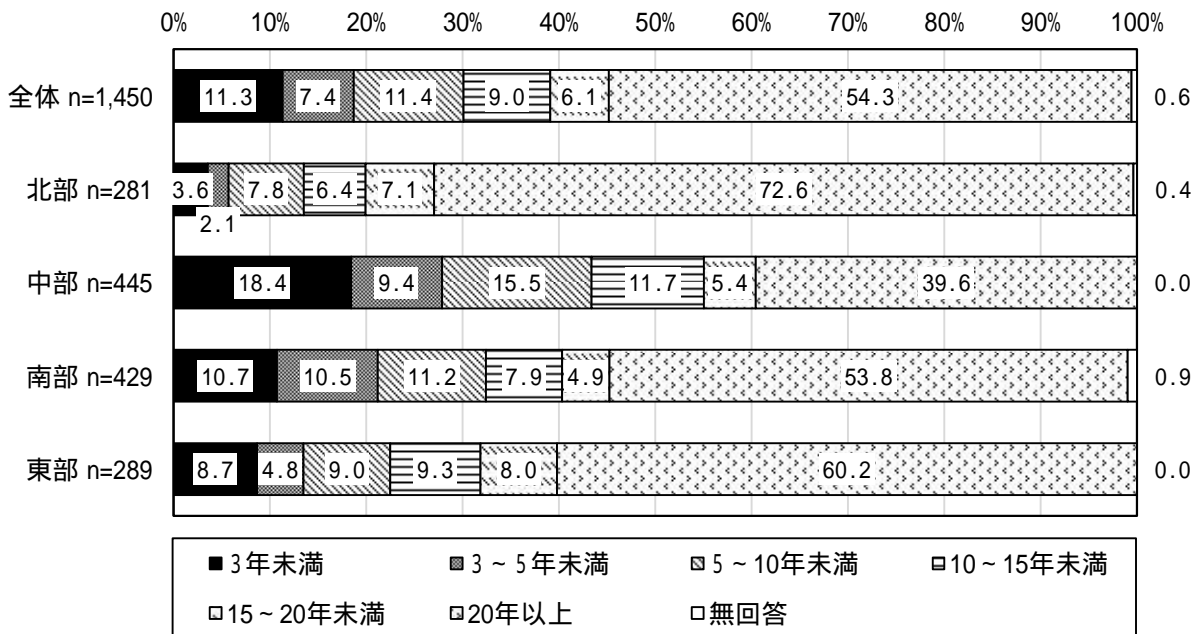


居住年数は、「20年以上」が54.3%と最も高く、次いで「5～10年未満」が11.4%、「3年未満」が11.3%となっています。

また、居住地区別では、中部、南部、東部では10年未満の割合が他の地区より高くなっており、比較的居住年数の浅い人が多いことを示しています。その一方で、北部では「20年以上」が7割以上います。

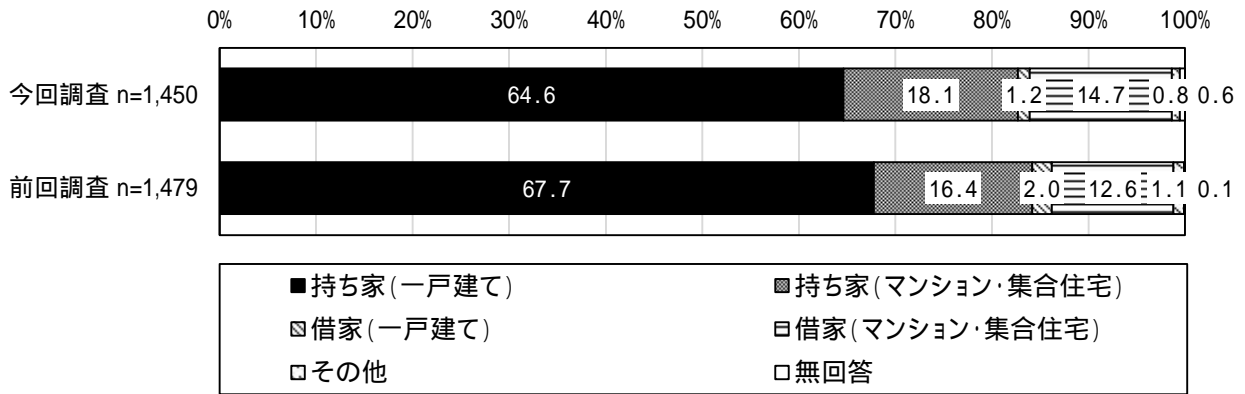
前回調査との比較では、「3年未満」、「3～5年未満」、「10～15年未満」の割合が高くなっています。

居住地区別居住年数



問6 住居の状況

現在のお住まいについてお聞かせください。(あてはまるもの1つに)

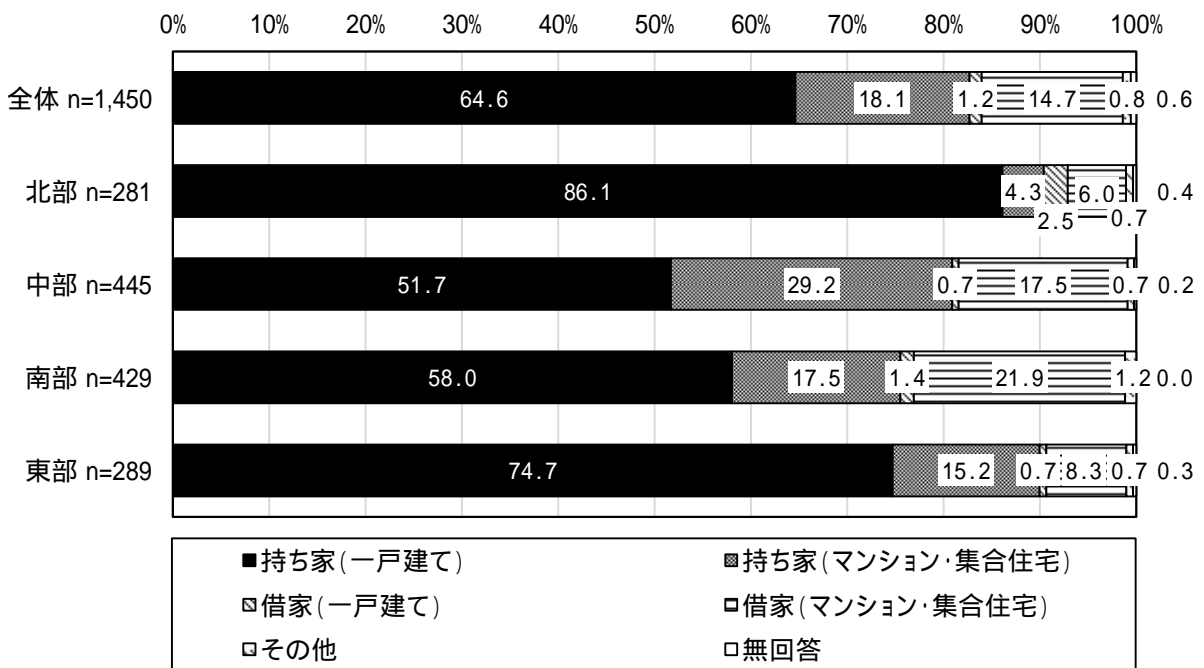


住居の状況は、「持家(一戸建て)」が64.6%と最も高く、次いで「持ち家(マンション・集合住宅)」が18.1%、「借家(マンション・集合住宅)」が14.7%となっています。

また、居住地区では、北部や東部で「持家(一戸建て)」が7~8割、中部では「持ち家(マンション・集合住宅)」が約3割を占めています。

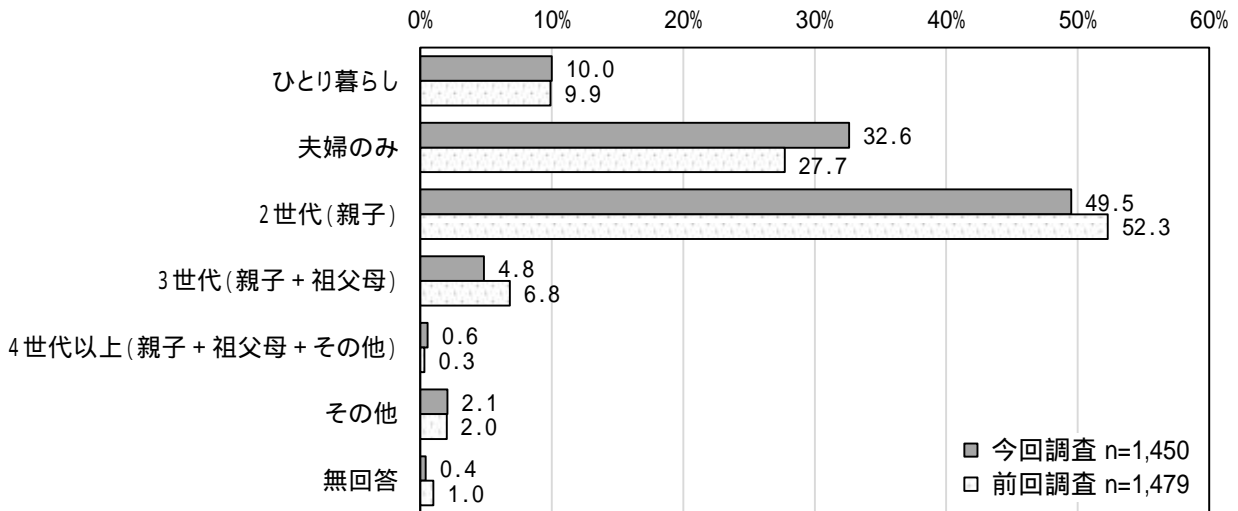
前回調査との比較では、「借家(マンション・集合住宅)」の割合が高くなっています。

居住地区別住居の状況



問7 家族構成

あなたの家族構成について教えてください。(あてはまるもの1つに)

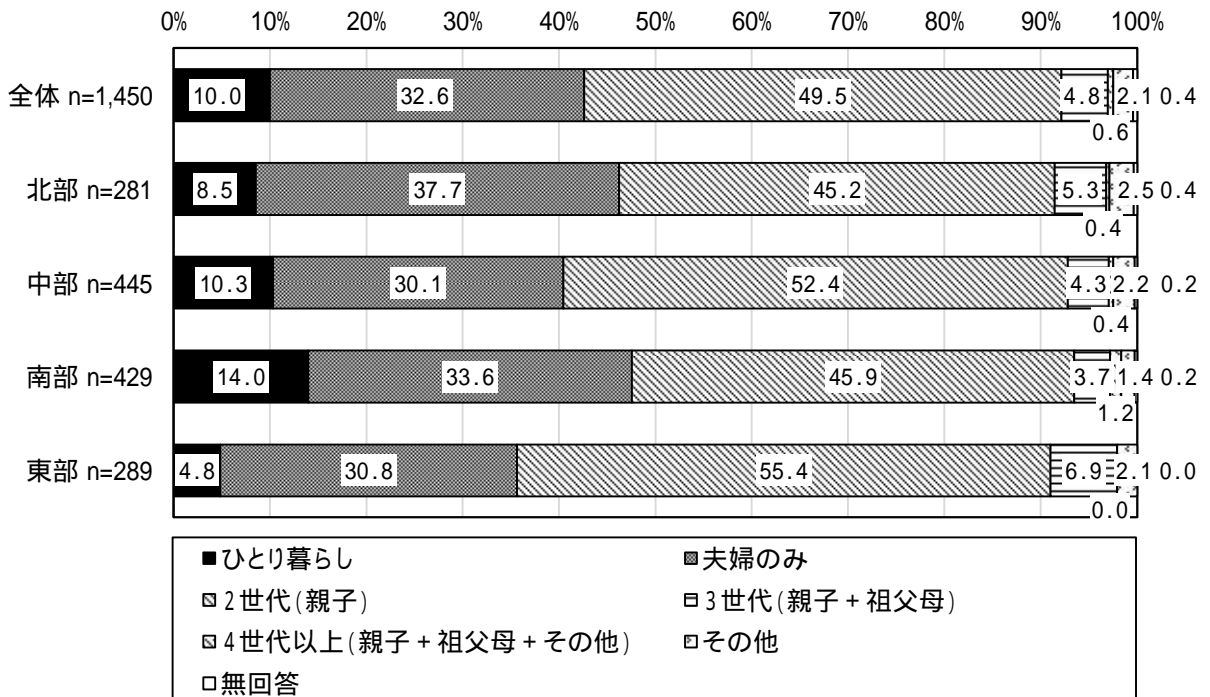


家族構成は、「2世代(親子)」が49.5%と最も高く、次いで「夫婦のみ」が32.6%、「ひとり暮らし」が10.0%となっています。

また、居住地区では、南部では「ひとり暮らし」、北部では、「夫婦のみ」、東部では「2世代(親子)」の割合が他の地区より高くなっています。

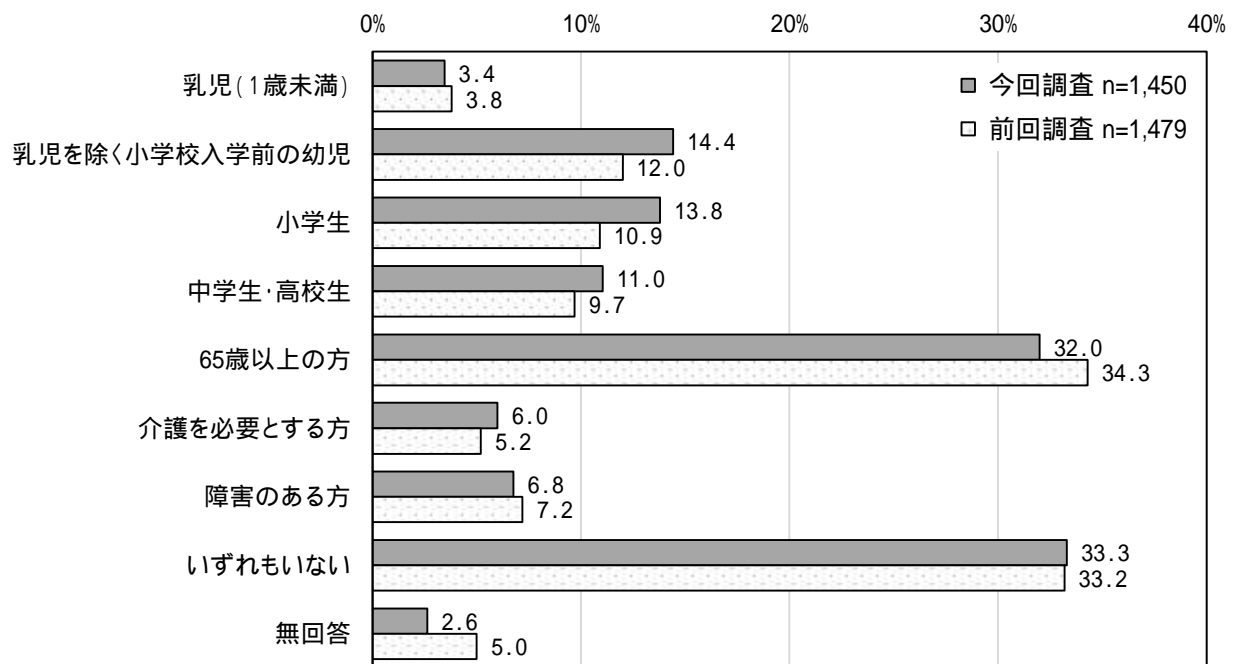
前回調査との比較では、同様の結果となっています。

居住地区別家族構成



問8 同居している家族について

あなた自身や同居している家族の中に、次のような方はいますか。(あてはまるものすべてに)



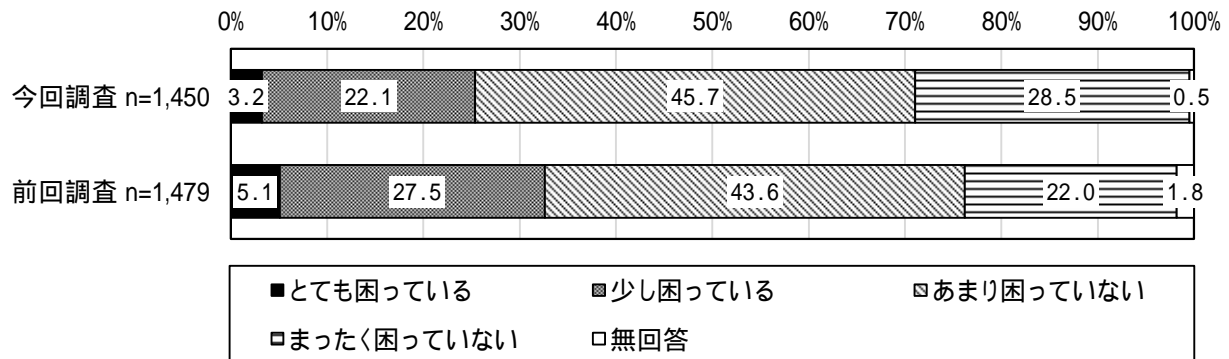
同居している家族は、「65歳以上の方」が32.0%と最も高く、次いで「乳児を除く小学校入学前の幼児」が14.4%、「小学生」が13.8%となっています。また、「いずれもない」は33.3%となっています。

前回調査との比較では、「乳児(1歳未満)」、「障害のある方」の割合が減少しています。

生活・健康の状況についてお伺いします。

問9 現在の生活状況

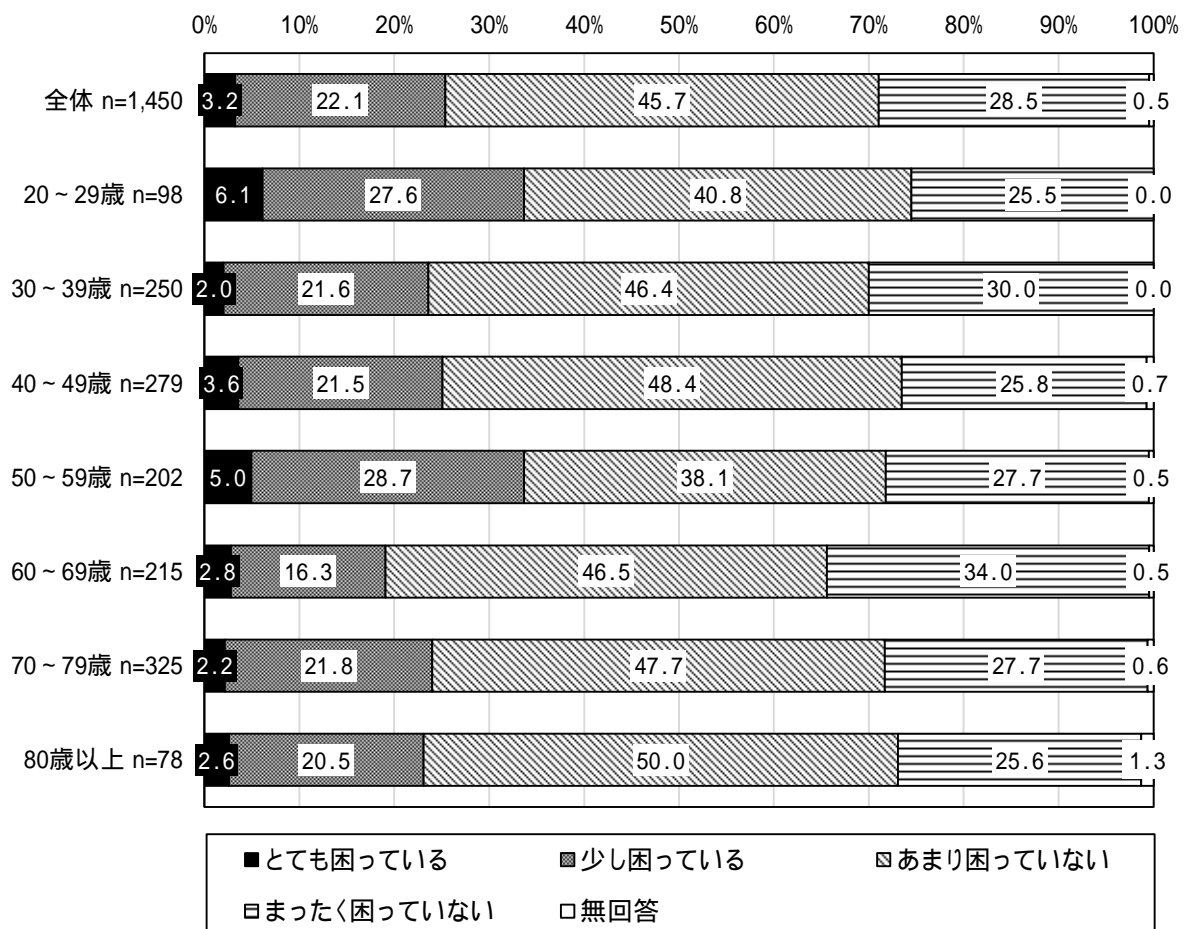
あなたの現在の生活状況（経済的）についてお聞かせください。（あてはまるもの1つに）



現在の生活状況は、「とても困っている」(3.2%)、「少し困っている」(22.1%)を合わせて25.3%が『困っている』と回答しています。

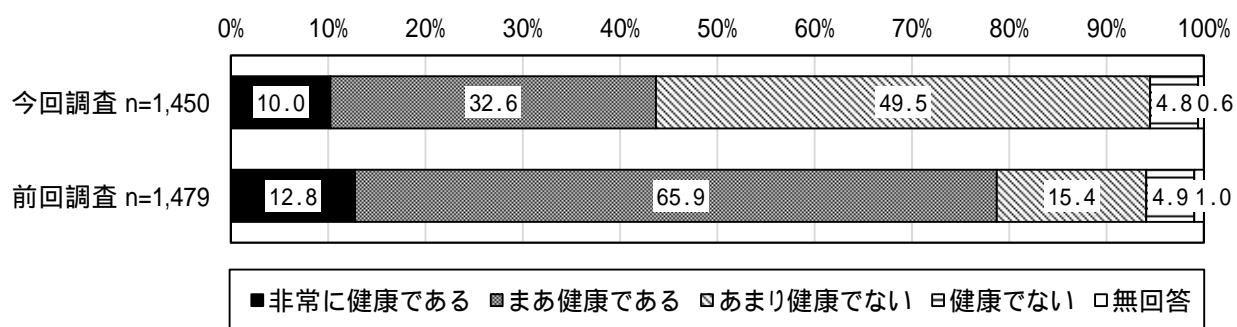
また、年代別では、20～29歳、50～59歳で『困っている』が他の年代より高くなっています。前回調査との比較では、『困っている』の割合が減少しています。

年代別現在の生活状況



問10 現在の健康状況

あなたは、現在、心身ともに健康ですか。(あてはまるもの1つに)

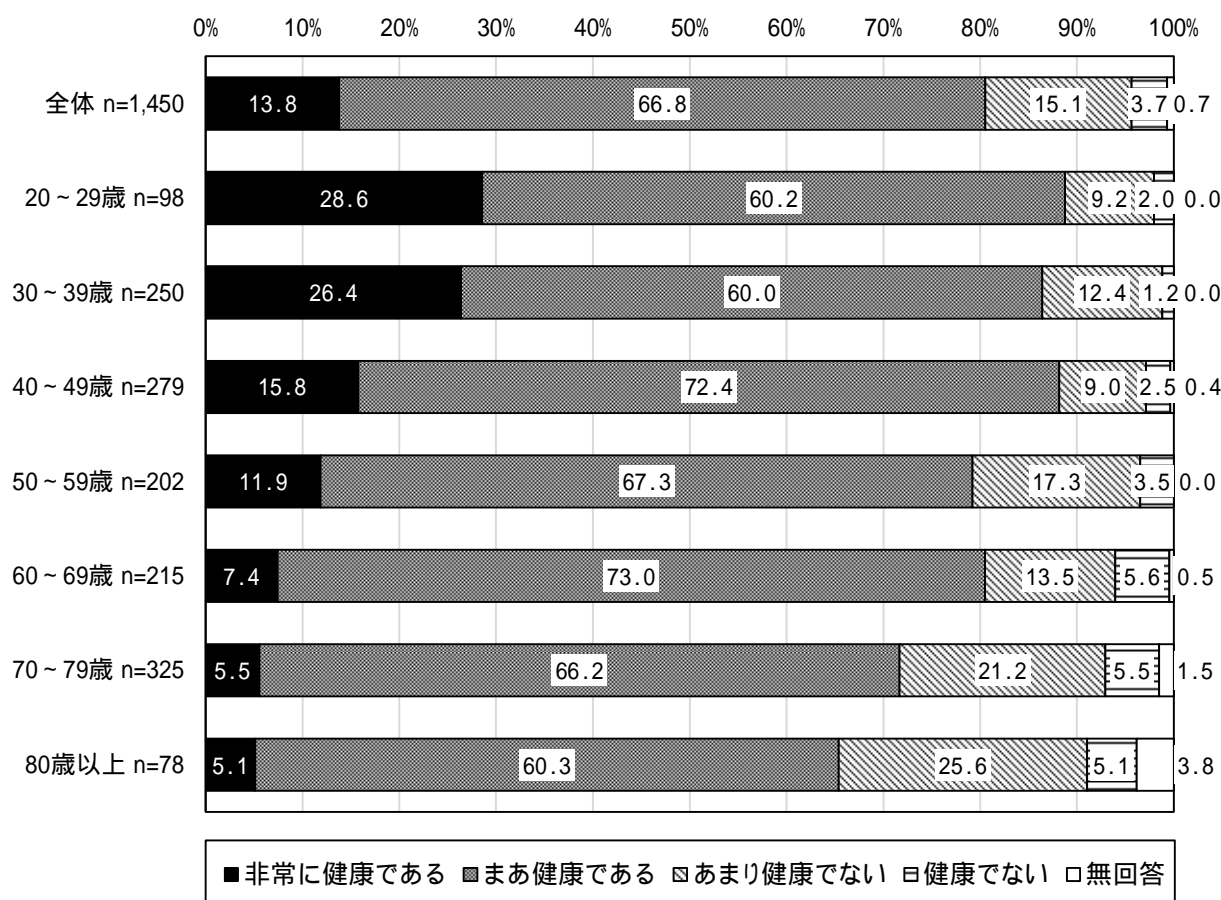


現在の健康状況は、「非常に健康である」(10.0%)、「まあ健康である」(32.6%)を合わせて42.6%が『健康である』と回答しています。

また、年代別では、年齢が上がるにつれて「あまり健康でない」、「健康でない」の割合が高くなっています。

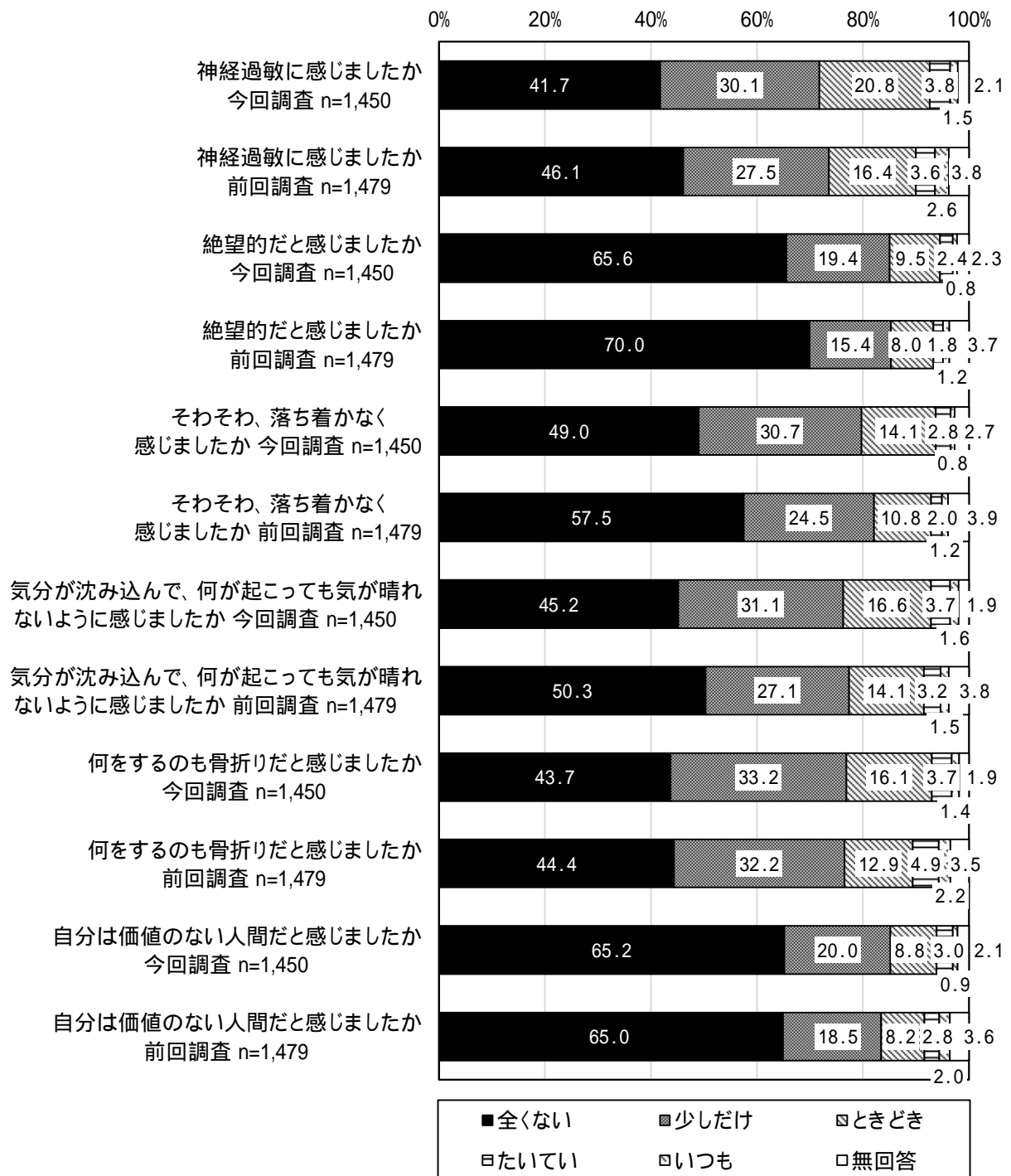
前回調査との比較では、『健康である』の割合が、36.1ポイント減少しています。

年代別現在の健康状況



問11 ここ1か月間の出来事

この1か月間に、どのくらいの頻度で次のことがありましたか。
 (から の項目について、あなたのお気持ちに一番近い答えの番号1つに 。なお、答えに迷われた場合でも、最も近いと思うものを選び、すべての項目に教えてください。)

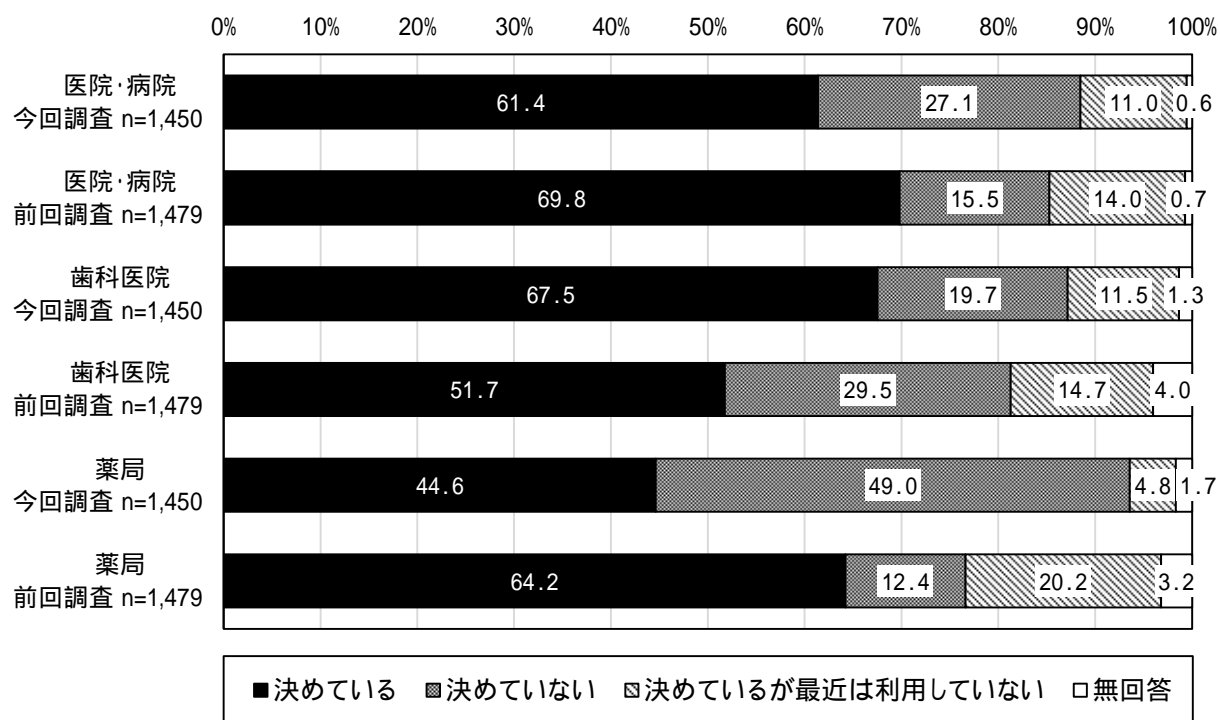


ここ1か月間の出来事は、「神経過敏に感じましたか」、「気分が沈み込んで、何が起ころうとも気が晴れないように感じましたか」、「何をするのも骨折りだと感じましたか」で「少しだけ」、「ときどき」、「たいてい」、「いつも」を合わせた割合が5割を超えています。

前回調査との比較では、すべての項目で「少しだけ」、「ときどき」、「たいてい」、「いつも」を合わせた割合が、高くなっています。

問 12 かかりつけ医の状況

あなたは、普段利用するかかりつけの医療機関を決めていますか。
 (から の項目について、あてはまるもの1つに)

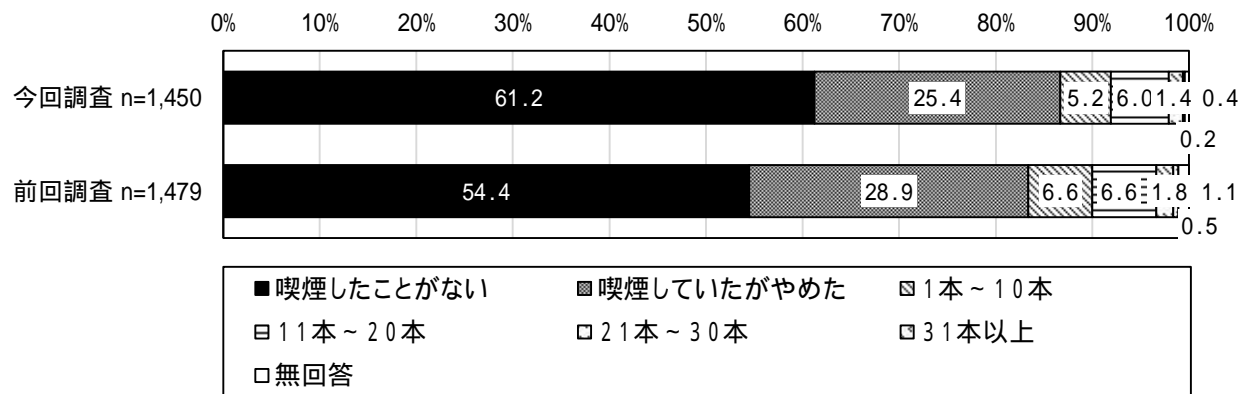


かかりつけ医の状況は、医院・病院は61.4%、歯科医院は67.5%、薬局は44.6%が「決めている」と回答しています。

前回調査との比較では、歯科医院は「決めている」の割合が高くなっていますが、医院・病院、薬局では割合が減少しています。

問 13 喫煙の状況

あなたは、現在、1日にどれくらいのタバコを吸いますか。(あてはまるもの1つに)

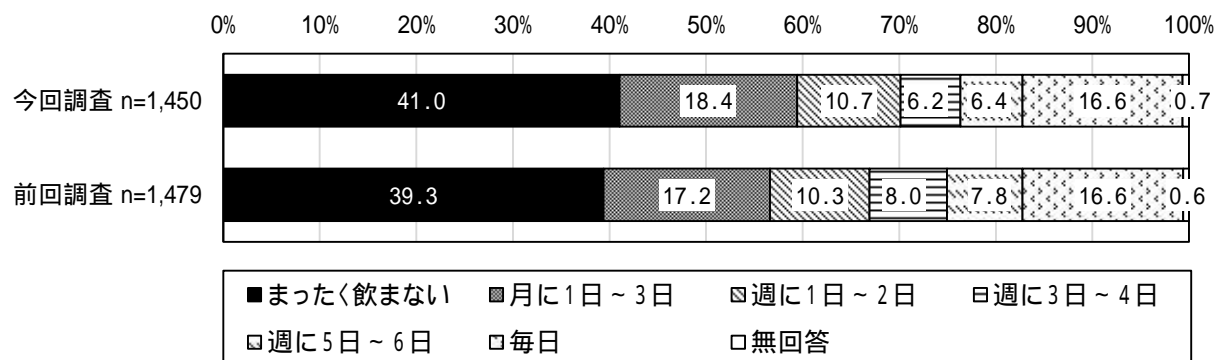


喫煙は、「1本～10本」(5.2%)、「11本～20本」(6.0%)、「21本～30本」(1.4%)、「31本以上」(0.2%)を合わせて12.8%が『吸っている』と回答しています。

また、「喫煙したことがない」が61.2%、「喫煙していたがやめた」が25.4%となっています。前回調査との比較では、「喫煙したことがない」の割合が高くなっています。

問 14 飲酒の状況

あなたは、現在、どの程度の頻度でアルコール類を飲みますか。(あてはまるもの1つに)



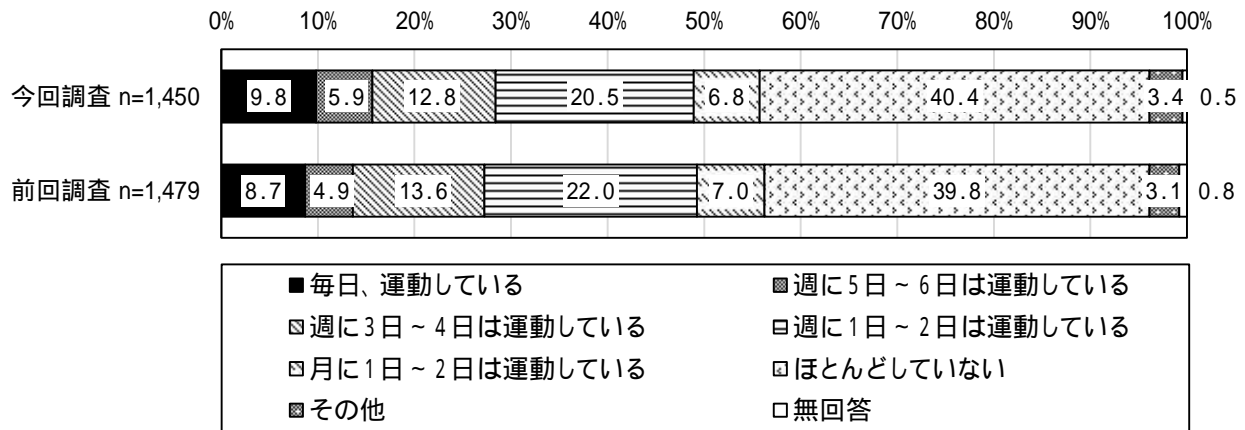
飲酒の状況は、「月に1日～3日」(18.4%)、「週に1日～2日」(10.7%)、「週に3日～4日」(6.2%)、「週に5日～6日」(6.4%)、「毎日」(16.6%)を合わせて58.3%が『飲んでいる』と回答しています。

また、「まったく飲まない」が41.0%となっています。

前回調査との比較では、「まったく飲まない」の割合が高くなっています。

問 15 運動の状況

あなたの運動の頻度についてお聞かせください。(あてはまるもの1つに)



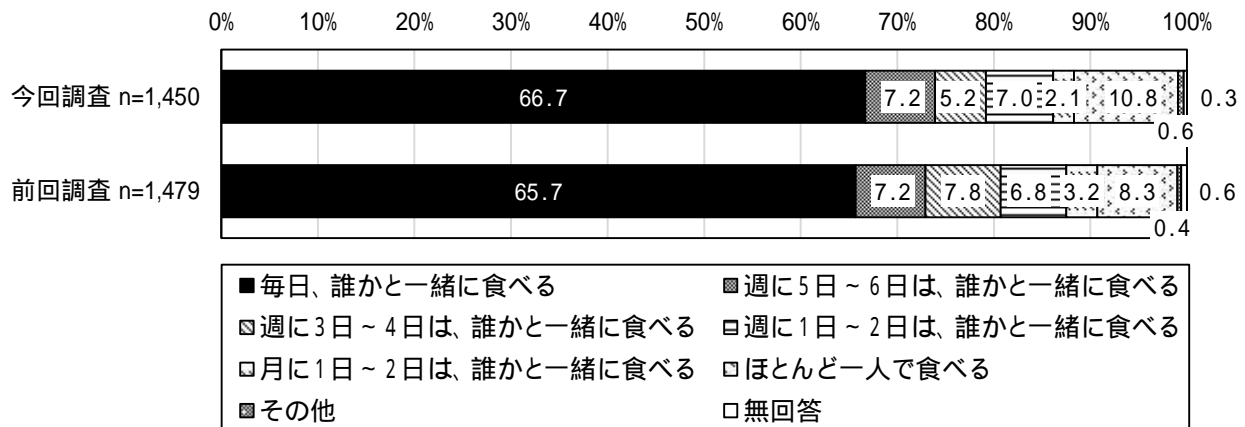
運動の頻度は、「毎日、運動している」(9.8%)、「週に5日～6日は運動している」(5.9%)、「週に3日～4日は運動している」(12.8%)、「週に1日～2日は運動している」(20.5%)、「月に1日～2日は運動している」(6.8%)を合わせて55.8%が『運動している』と回答しています。

また、「ほとんどしていない」が40.4%となっています。

前回調査との比較では、同様の結果となっています。

問 16 食事の状況

あなたの食事の取り方についてお聞かせください。(あてはまるもの1つに)



食事の状況は、「毎日、誰かと一緒に食べる」(66.7%)、「週に5日～6日は、誰かと一緒に食べる」(7.2%)、「週に3日～4日は、誰かと一緒に食べる」(5.2%)、「週に1日～2日は、誰かと一緒に食べる」(7.0%)、「月に1日～2日は、誰かと一緒に食べる」(2.1%)を合わせて88.2%が『一緒に食べる』と回答しています。

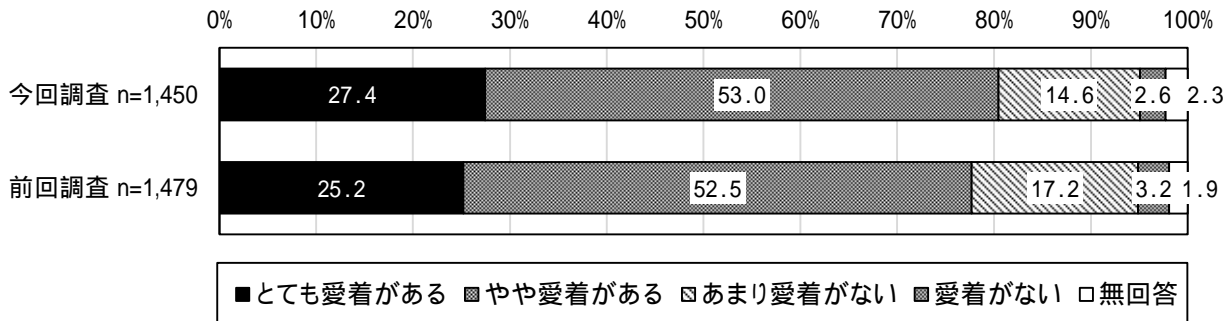
また、「ほとんど一人で食べる」が10.8%となっています。

前回調査との比較では、同様の結果となっています。

地域や社会とのかかわりについてお伺いします。

問 17 地域や街への愛着

あなたは、現在、地域・街に対してどれくらい愛着がありますか。(あてはまるもの1つに)

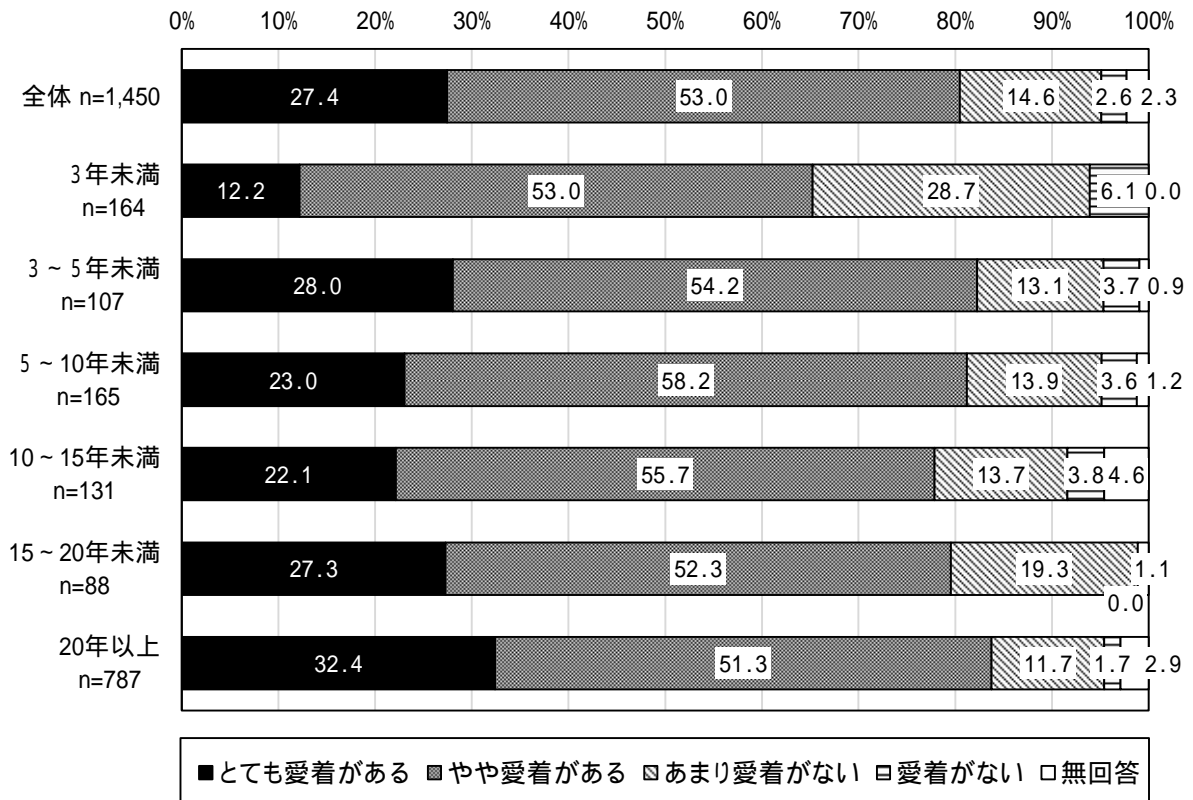


地域や街に愛着があるかは、「とても愛着がある」(27.4%)、「やや愛着がある」(53.0%)を合わせて80.4%が『愛着がある』と回答しています。

また、居住年数別では、3年以降では、『愛着がある』の割合が高くなっています。

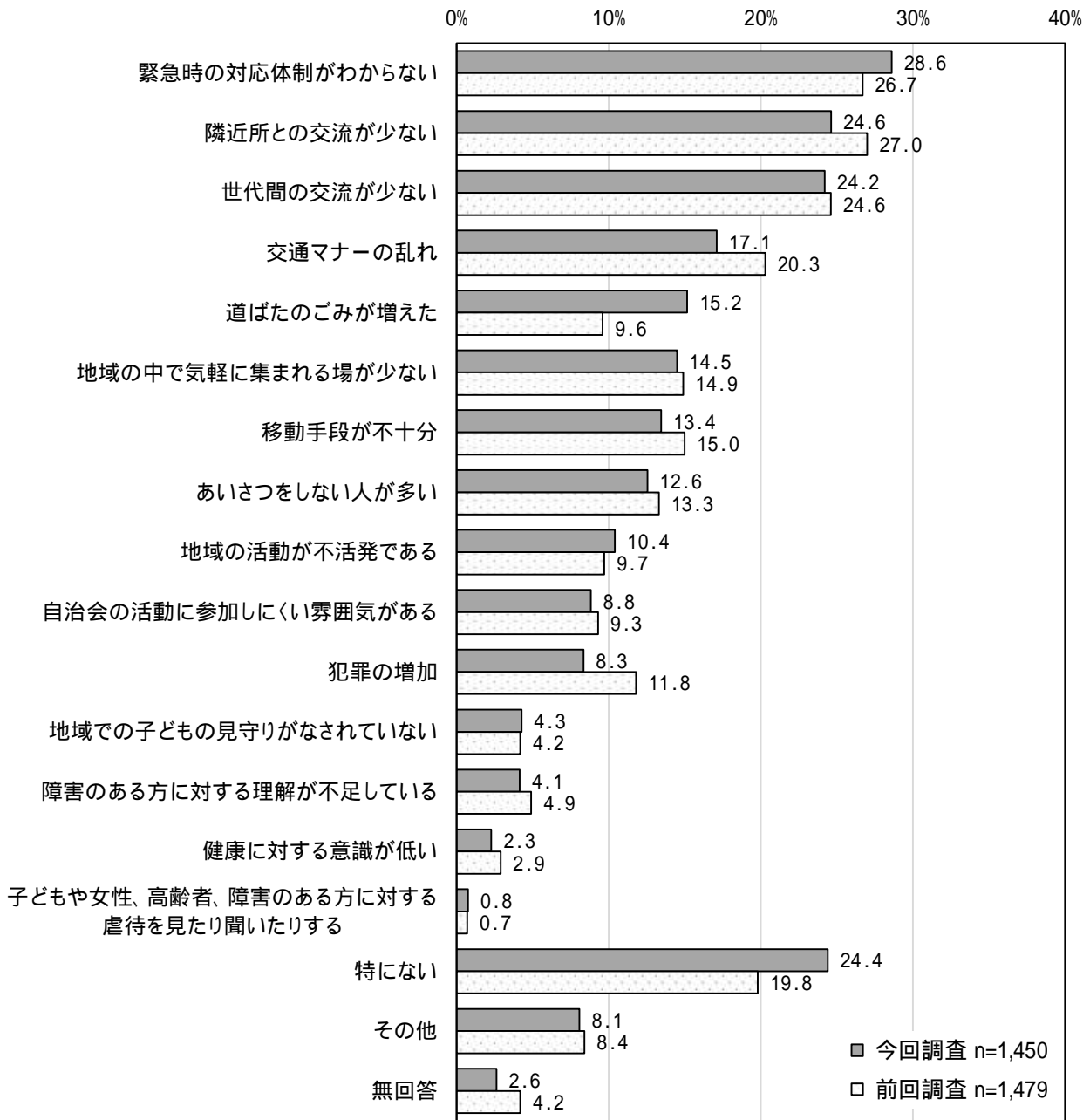
前回調査との比較では、『愛着がある』の割合が高くなっています。

居住年数別地域や街への愛着



問 18 地域の問題点

現在、あなたの住んでいる地域の中での問題点と思うものは何ですか。
 (あてはまるものすべてに)



地域の問題点は、「緊急時の対応体制がわからない」が28.6%と最も高く、次いで「隣近所との交流が少ない」が24.6%、「世代間の交流が少ない」が24.2%となっています。

また、年代別では、年代が下がるにつれて、「緊急時の対応体制がわからない」、「交通マナーの乱れ」、「道ばたのごみが増えた」の割合が高くなっています。

さらに、居住地区別をみると、すべての地域で「緊急時の対応体制がわからない」が上位に挙がっています。

年代別・居住地区別地域の問題点

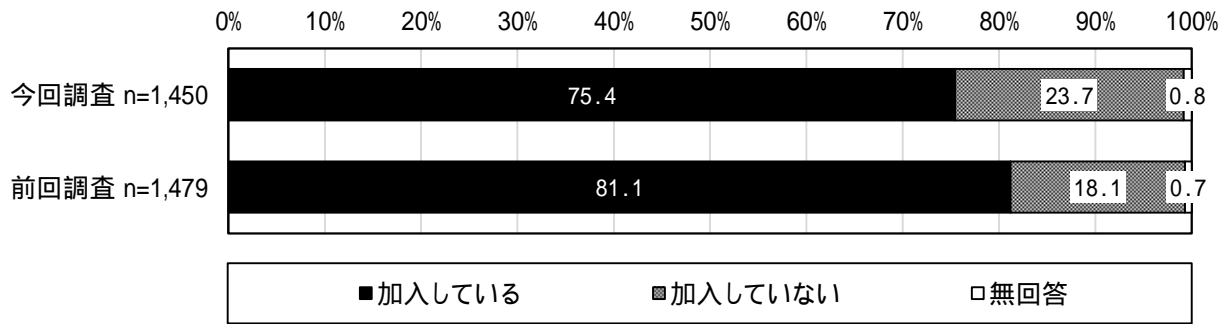
| | | あいさつをしない人が多い | 緊急時の対応体制がわからない | 犯罪の増加 | 交通マナーの乱れ | 道ばたのごみが増えた | 地域での子どもの見守りがなされていない | 子どもや女性、高齢者、障害のある方に対する虐待を見たり聞いたりする | 隣近所との交流が少ない | 世代間の交流が少ない |
|------------|-----------------|--------------|----------------|-------|----------|------------|---------------------|-----------------------------------|-------------|------------|
| 全体 n=1,450 | | 12.6 | 28.6 | 8.3 | 17.1 | 15.2 | 4.3 | 0.8 | 24.6 | 24.2 |
| 年代別 | 20～29歳 n=98 | 8.2 | 40.8 | 4.1 | 20.4 | 14.3 | 2.0 | 1.0 | 15.3 | 17.3 |
| | 30～39歳 n=250 | 8.0 | 34.4 | 8.8 | 21.2 | 18.0 | 6.8 | 1.2 | 23.6 | 19.2 |
| | 40～49歳 n=279 | 12.9 | 27.2 | 10.8 | 19.4 | 18.6 | 7.5 | 0.4 | 24.0 | 21.9 |
| | 50～59歳 n=202 | 13.4 | 32.2 | 13.9 | 20.3 | 14.9 | 4.0 | 1.0 | 27.7 | 22.8 |
| | 60～69歳 n=215 | 12.6 | 27.4 | 7.9 | 17.7 | 16.3 | 2.3 | 0.9 | 27.0 | 27.4 |
| | 70～79歳 n=325 | 16.9 | 22.8 | 5.2 | 11.4 | 11.1 | 2.5 | 0.6 | 25.5 | 29.5 |
| | 80歳以上 n=78 | 11.5 | 16.7 | 3.8 | 5.1 | 10.3 | 1.3 | 0.0 | 23.1 | 29.5 |
| 地区別 | 北部 n=281 | 12.5 | 27.4 | 13.2 | 17.4 | 13.2 | 3.2 | 0.4 | 20.6 | 24.2 |
| | 中部 n=445 | 11.7 | 26.7 | 7.9 | 15.1 | 15.3 | 5.8 | 0.7 | 25.2 | 22.5 |
| | 南部 n=429 | 14.2 | 32.6 | 8.9 | 20.7 | 17.5 | 5.1 | 0.7 | 26.8 | 24.5 |
| | 東部 n=289 | 11.8 | 26.6 | 3.8 | 14.5 | 13.8 | 1.7 | 1.4 | 24.6 | 26.6 |

年代別・地区別地域の問題点

| | | 地域の活動が不活発である | 地域の中で気軽に集まれる場が少ない | 自治会の活動に参加しにくい雰囲気がある | 障害のある方に対する理解が不足している | 健康に対する意識が低い | 移動手段が不十分 | 特にない | その他 | 無回答 |
|------------|-----------------|--------------|-------------------|---------------------|---------------------|-------------|----------|------|------|-----|
| 全体 n=1,450 | | 10.4 | 14.5 | 8.8 | 4.1 | 2.3 | 13.4 | 24.4 | 8.1 | 2.6 |
| 年代別 | 20～29歳 n=98 | 10.4 | 14.5 | 8.8 | 4.1 | 2.3 | 13.4 | 24.4 | 8.1 | 2.6 |
| | 30～39歳 n=250 | 3.1 | 12.2 | 10.2 | 8.2 | 2.0 | 17.3 | 25.5 | 8.2 | 2.0 |
| | 40～49歳 n=279 | 8.4 | 13.6 | 10.0 | 3.2 | 2.8 | 10.0 | 20.8 | 11.2 | 2.0 |
| | 50～59歳 n=202 | 10.8 | 12.5 | 8.6 | 3.9 | 2.9 | 13.6 | 16.5 | 11.5 | 1.4 |
| | 60～69歳 n=215 | 8.9 | 15.3 | 8.9 | 5.9 | 1.5 | 16.3 | 23.8 | 10.4 | 2.5 |
| | 70～79歳 n=325 | 14.4 | 17.2 | 8.8 | 4.7 | 1.4 | 11.2 | 25.1 | 2.8 | 2.8 |
| | 80歳以上 n=78 | 11.7 | 14.5 | 8.6 | 2.5 | 2.2 | 13.2 | 32.3 | 4.6 | 4.0 |
| 地区別 | 北部 n=281 | 12.8 | 17.9 | 5.1 | 3.8 | 3.8 | 17.9 | 30.8 | 7.7 | 3.8 |
| | 中部 n=445 | 11.7 | 14.2 | 8.5 | 5.3 | 3.2 | 16.7 | 28.8 | 7.5 | 2.1 |
| | 南部 n=429 | 9.2 | 13.3 | 7.2 | 2.9 | 2.5 | 9.0 | 24.9 | 7.4 | 2.2 |
| | 東部 n=289 | 10.5 | 15.6 | 8.4 | 4.9 | 2.3 | 11.2 | 20.7 | 9.3 | 3.3 |

問 19 自治会の加入状況

あなた、もしくはあなたの世帯は、自治会に加入していますか。(あてはまるもの1つに)

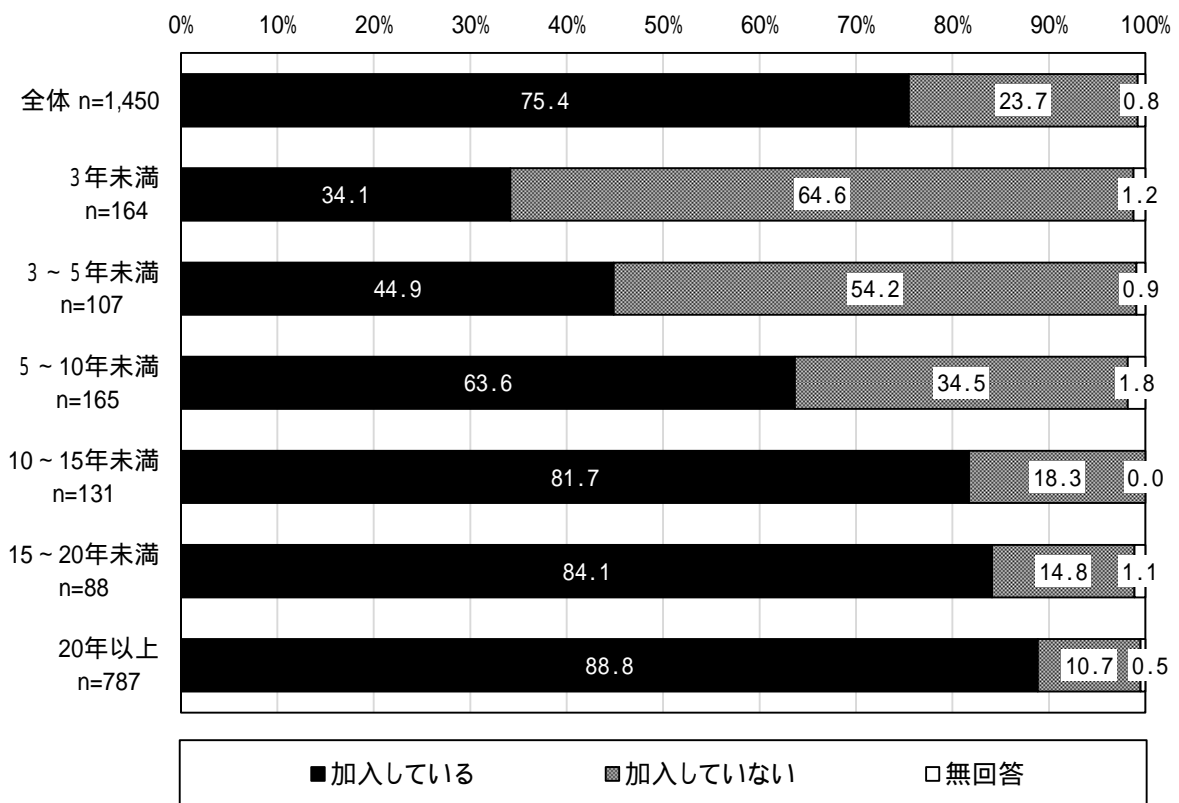


自治会の加入状況は、「加入している」が75.4%を占め、「加入していない」は23.7%にとどまっています。

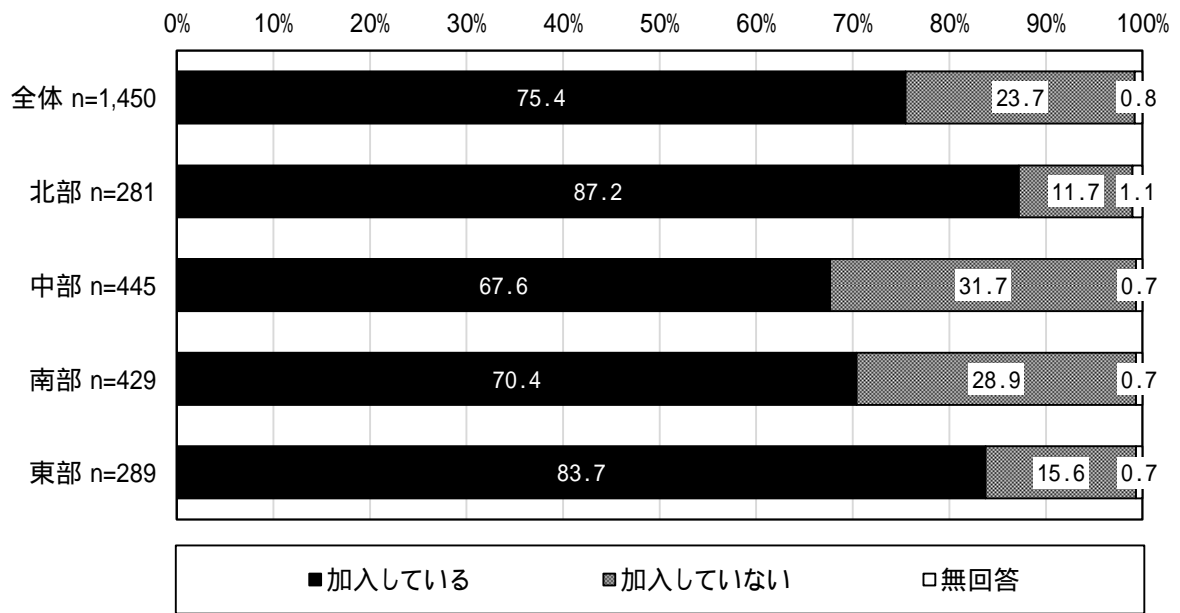
また、居住年数が長い人や居住年数が長い人が多い北部、東部では、加入率が高くなっています。

前回調査との比較では、「加入していない」の割合が高くなっています。

居住年数別自治会の加入状況

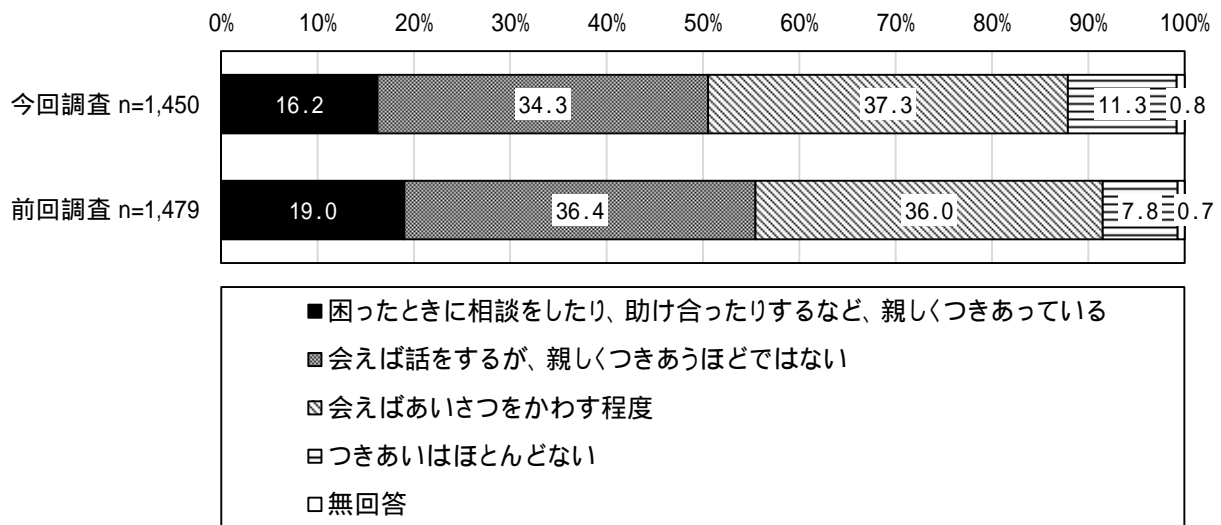


居住地区別自治会の加入状況



問20 近所づきあい(現在)

あなたは、現在、どのような近所づきあいをしていますか。(あてはまるもの1つに)



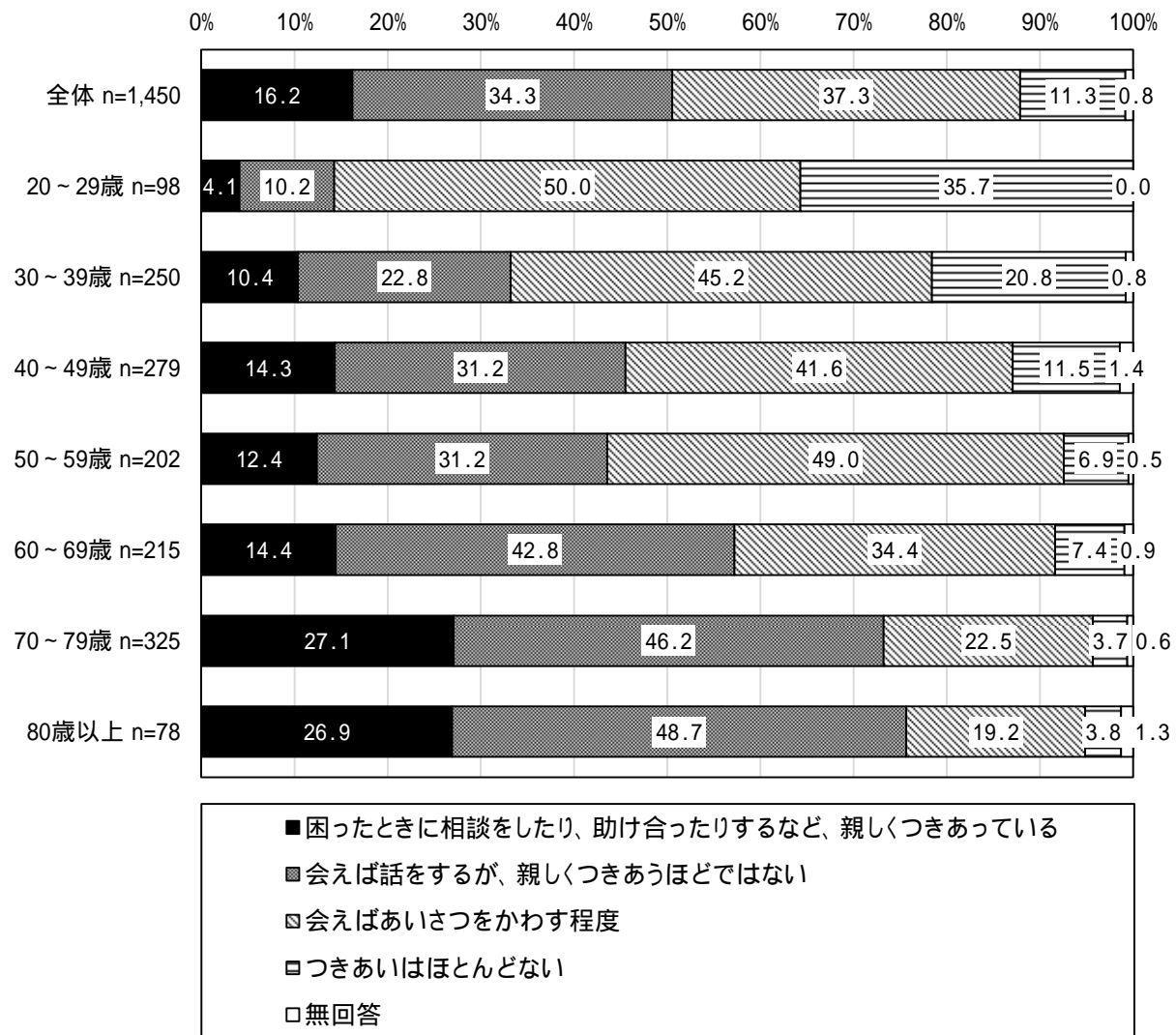
現在の近所づきあいは、「会えばあいさつをかわす程度」が37.3%と最も高く、次いで「会えば話をするが、親しくつきあうほどではない」が34.3%、「困ったときに相談をしたり、助け合ったりするなど、親しくつきあっている」が16.2%、「つきあいはほとんどない」が11.3%となっています。

また、年代別では、年代が上がるにつれて「困ったときに相談をしたり、助け合ったりするなど、親しくつきあっている」や「会えば話をするが、親しくつきあうほどではない」の割合が高くなり、近所づきあいの度合いが深まっている様子がうかがえます。

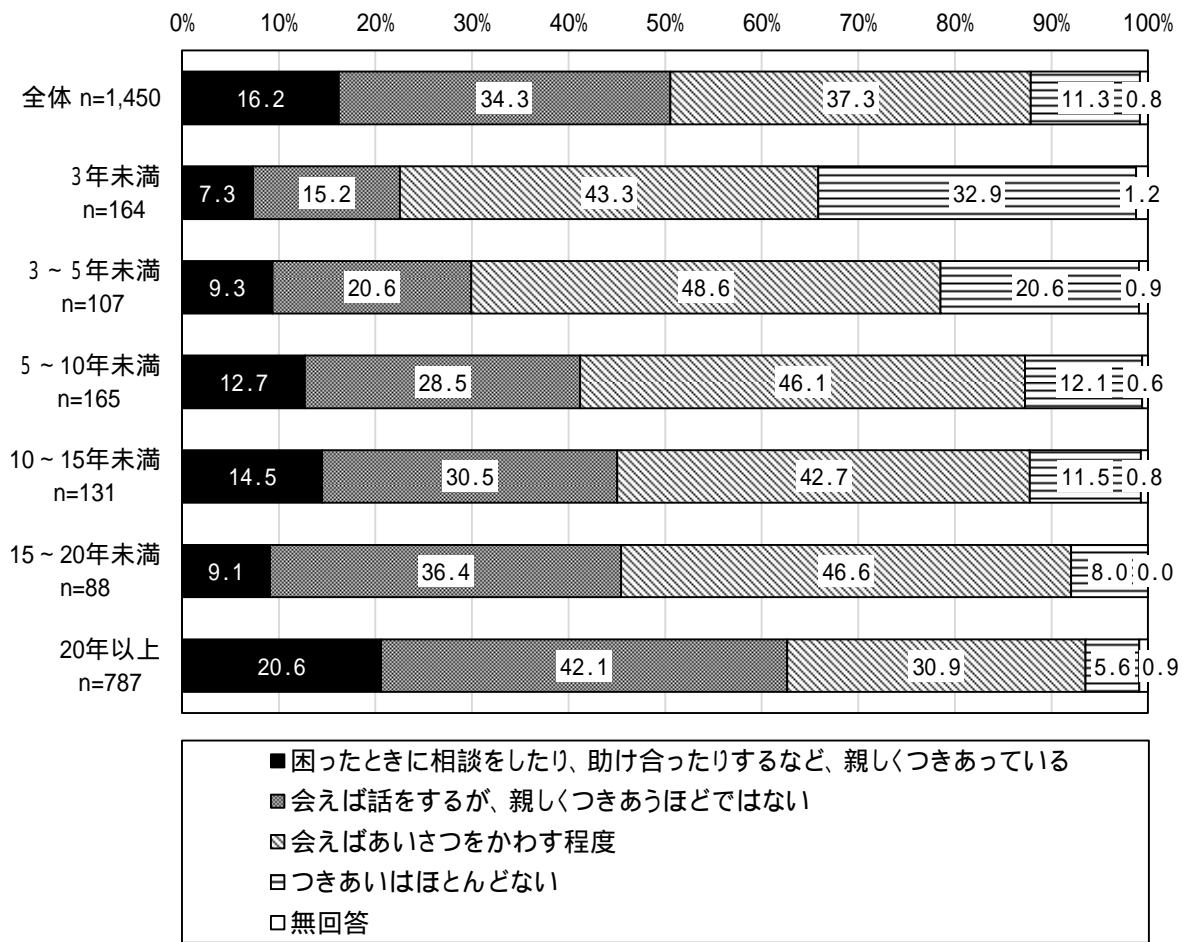
さらに、居住年数別をみると、居住年数が長くなるにつれて近所づきあいの度合いも深くなっています。

前回調査との比較では、「困ったときに相談をしたり、助け合ったりするなど、親しくつきあっている」、「会えば話をするが、親しくつきあうほどではない」が減少し、「会えばあいさつをかわす程度」、「つきあいはほとんどない」が高くなっています。

年代別近所づきあい（現在）

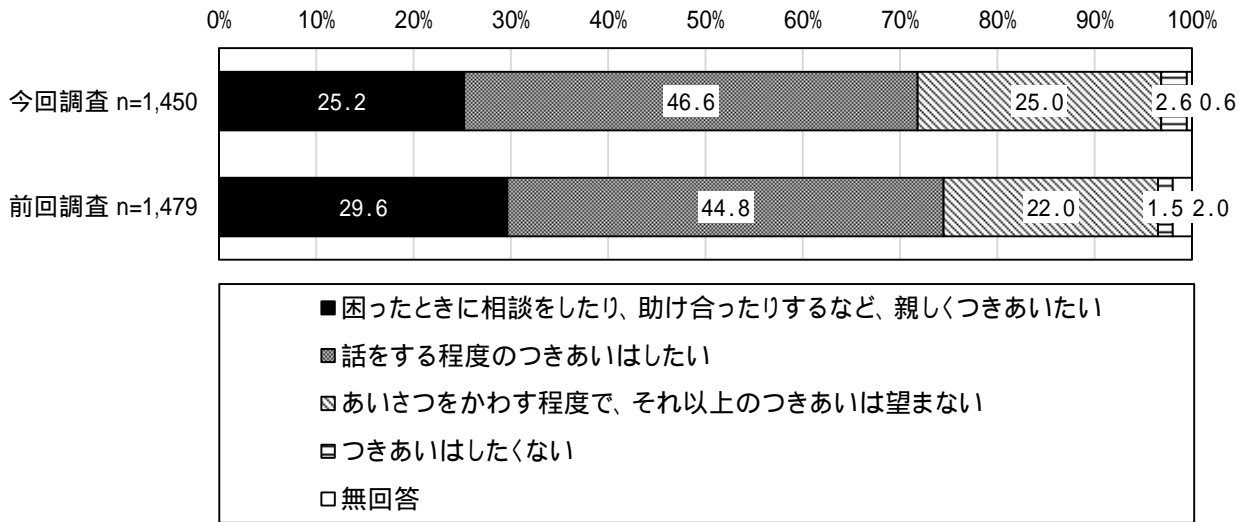


居住年数別近所づきあい（現在）



問21 近所づきあい(今後)

あなたは、今後、どのような近所づきあいをしたいですか。(あてはまるもの1つに)



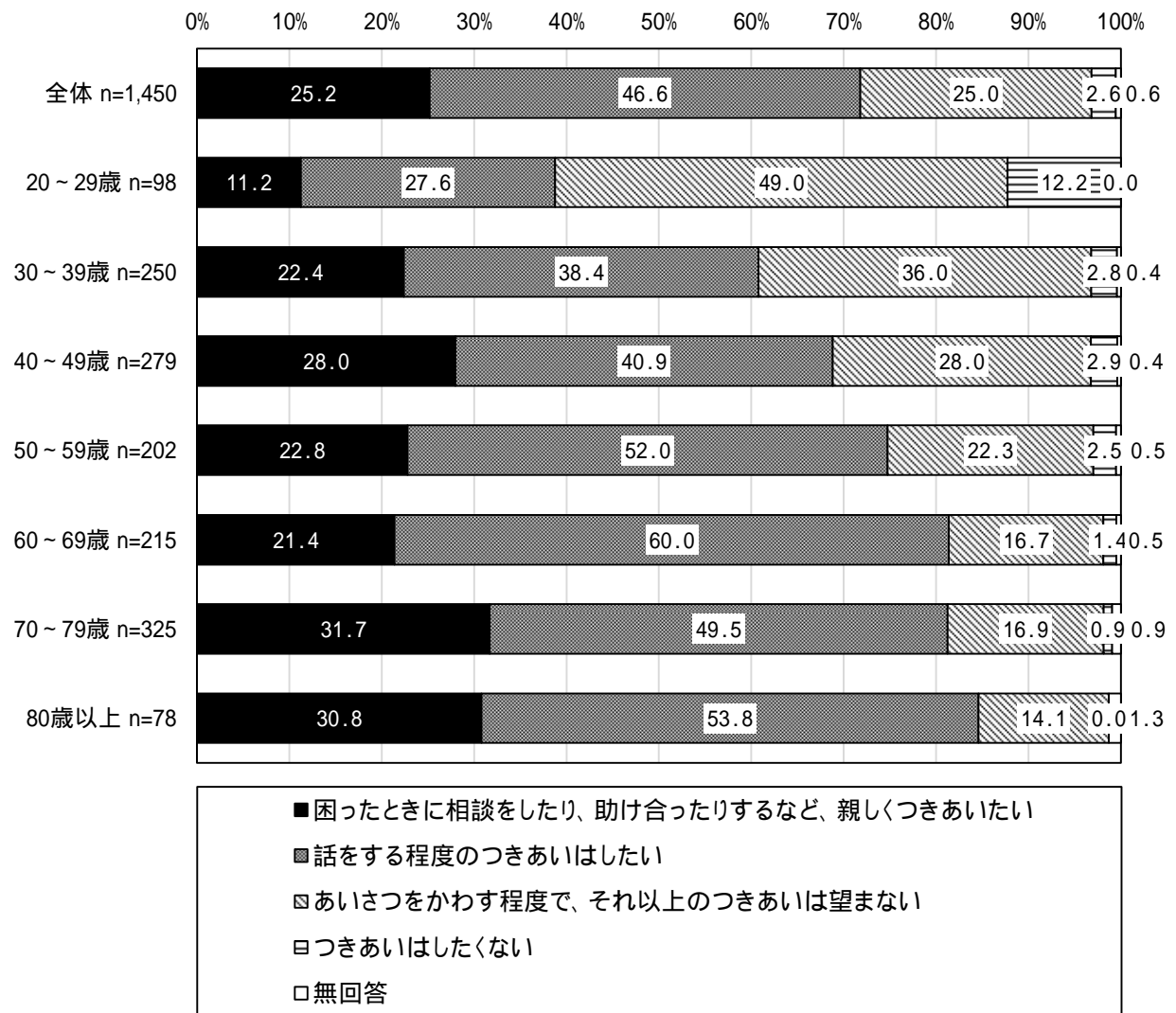
今後の近所づきあいは、「話をする程度のつきあいはしたい」が46.6%と最も高く、次いで「困ったときに相談をしたり、助け合ったりするなど、親しくつきあいたい」が25.2%、「あいさつをかわす程度で、それ以上のつきあいは望まない」が25.0%となっています。また、「つきあいはしたくない」が2.6%となっています。

また、年代別では、「40～49歳」、「70歳以上」で「困ったときに相談をしたり、助け合ったりするなど、親しくつきあいたい」の割合が増えており、より深い近所づきあいを望んでいる様子がうかがえます。

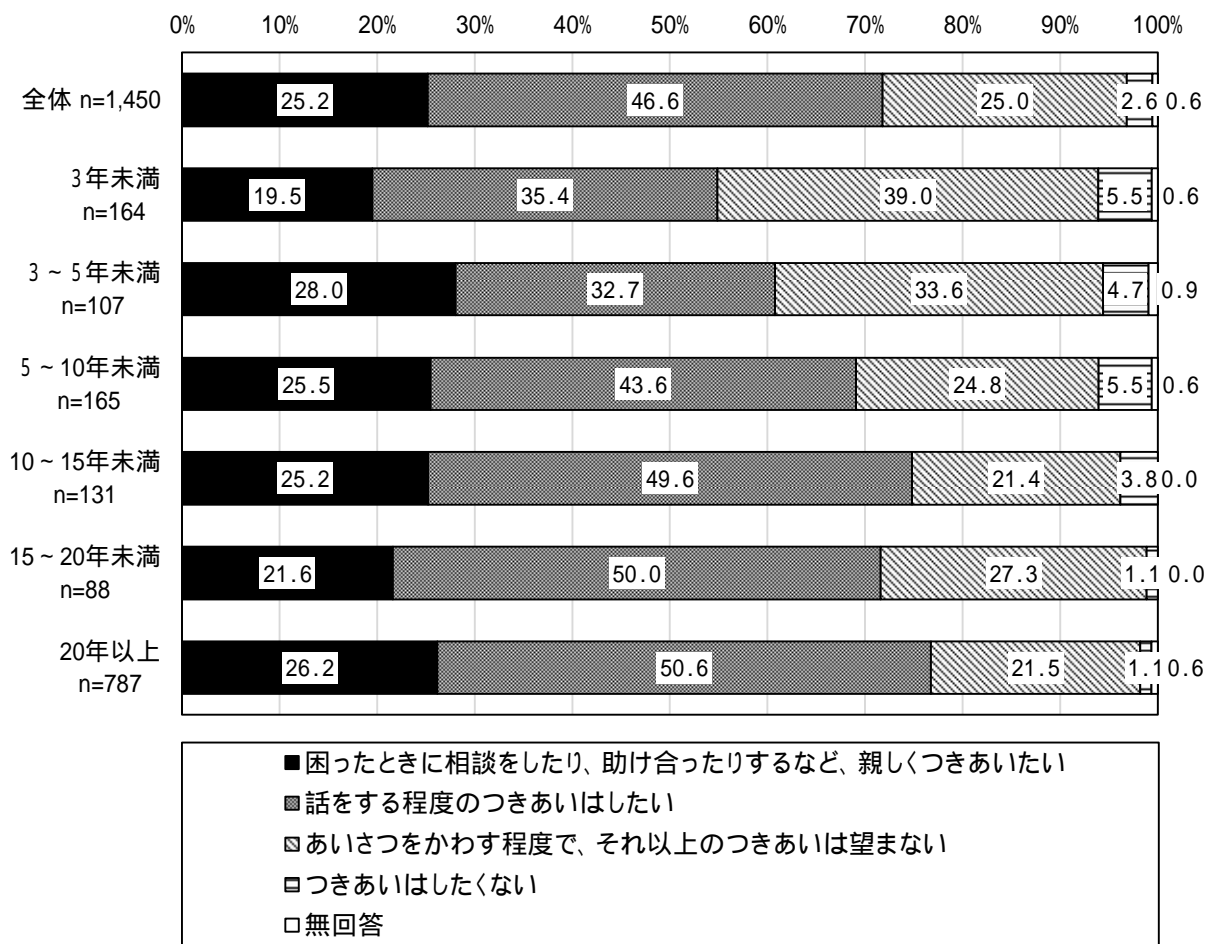
さらに、居住年数別をみると、「3～5年未満」、「20年以上」で「困ったときに相談をしたり、助け合ったりするなど、親しくつきあいたい」の割合が増えています。

前回調査との比較では、「話をする程度のつきあいはしたい」、「あいさつをかわす程度で、それ以上のつきあいは望まない」の割合が高くなっており前回より近所付き合いを望まない様子が伺えます。

年代別近所づきあい（今後）

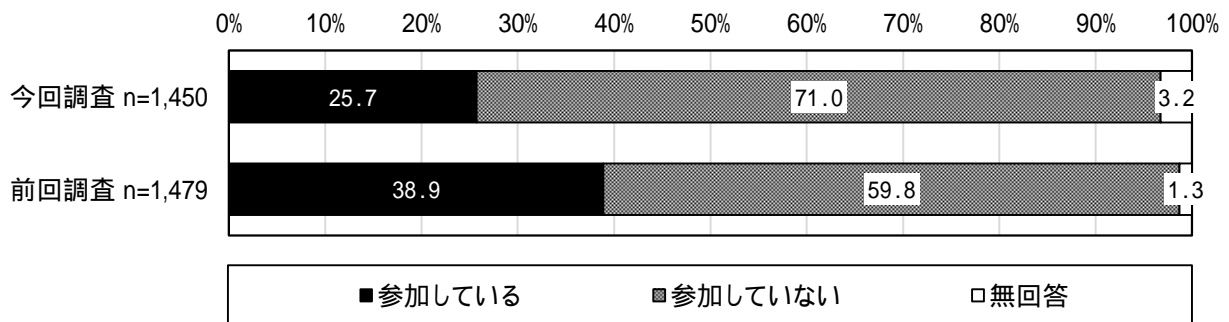


居住年数別近所づきあい(今後)



問 22 地域活動等の参加状況

あなたは、現在、地域や社会での活動（自治会、子ども会、老人クラブ、市民活動団体、ボランティアなど、主にあなたの居住地域内を活動対象とした活動）に参加していますか。
（あてはまるもの1つに ）



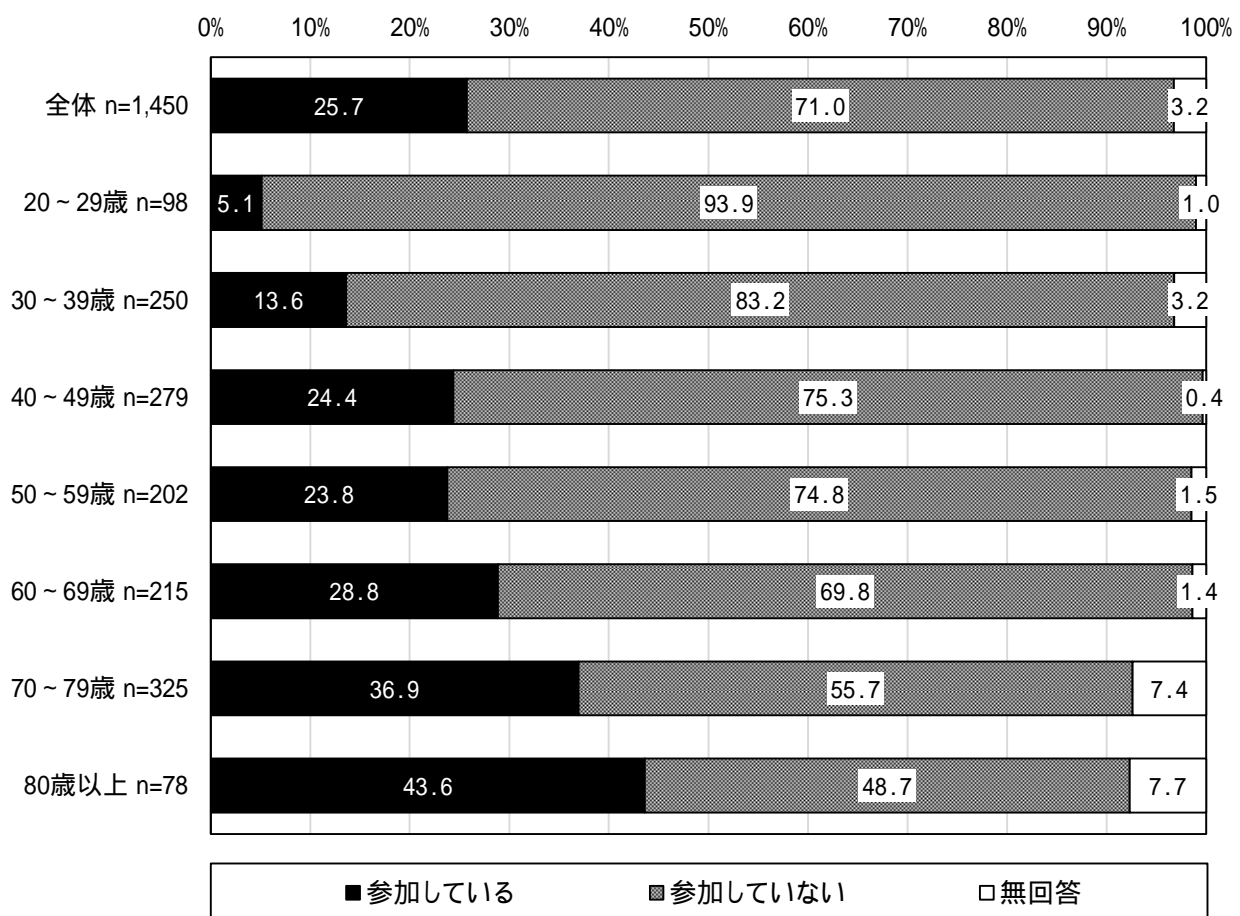
地域活動等の参加状況は、「参加している」が25.7%となっています。

また、「参加していない」が71.0%となっています。

さらに、年代別をみると、年代が上がるにつれて地域活動に「参加している」割合が高くなっています。

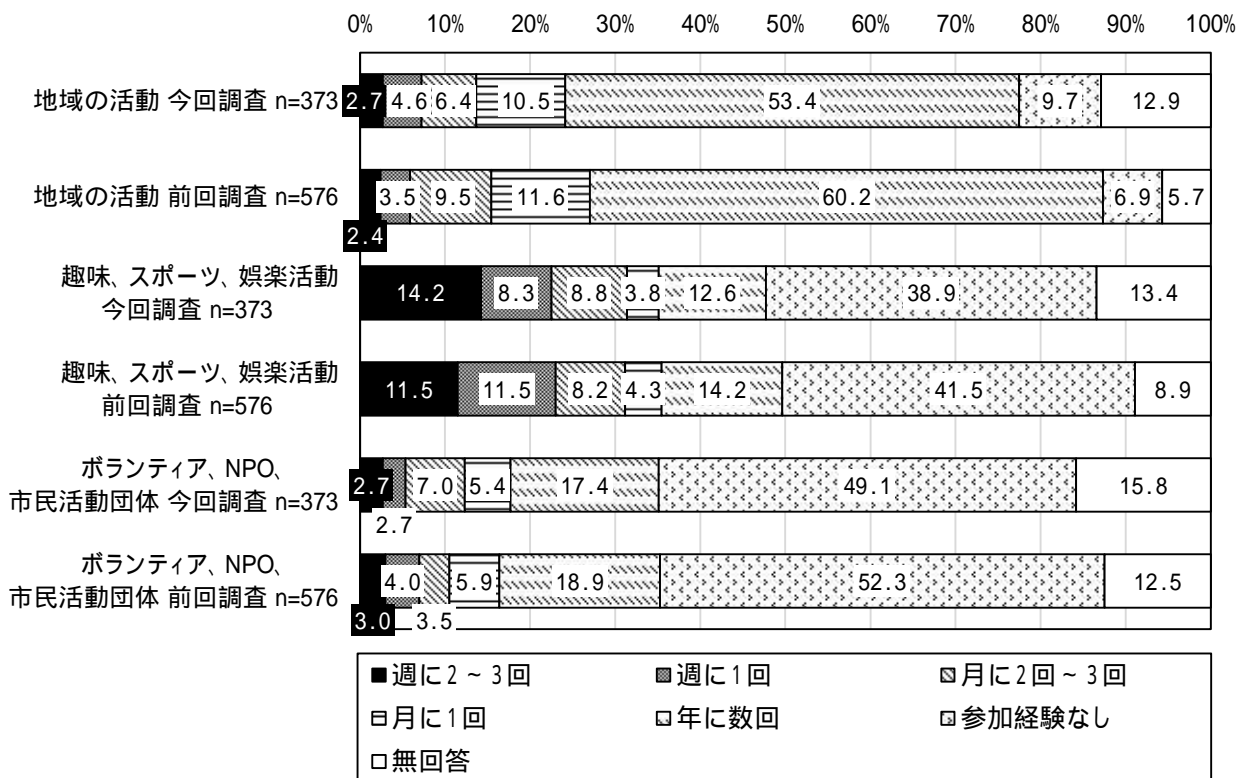
前回調査との比較では、「参加している」の割合が減少しています。

年代別地域活動等の参加状況



問 23-1 地域活動等の参加頻度

あなたは、住んでいる地域や社会の中で、次の活動にどれくらいの頻度で参加していますか。
 (から の項目について、あてはまるもの1つに)

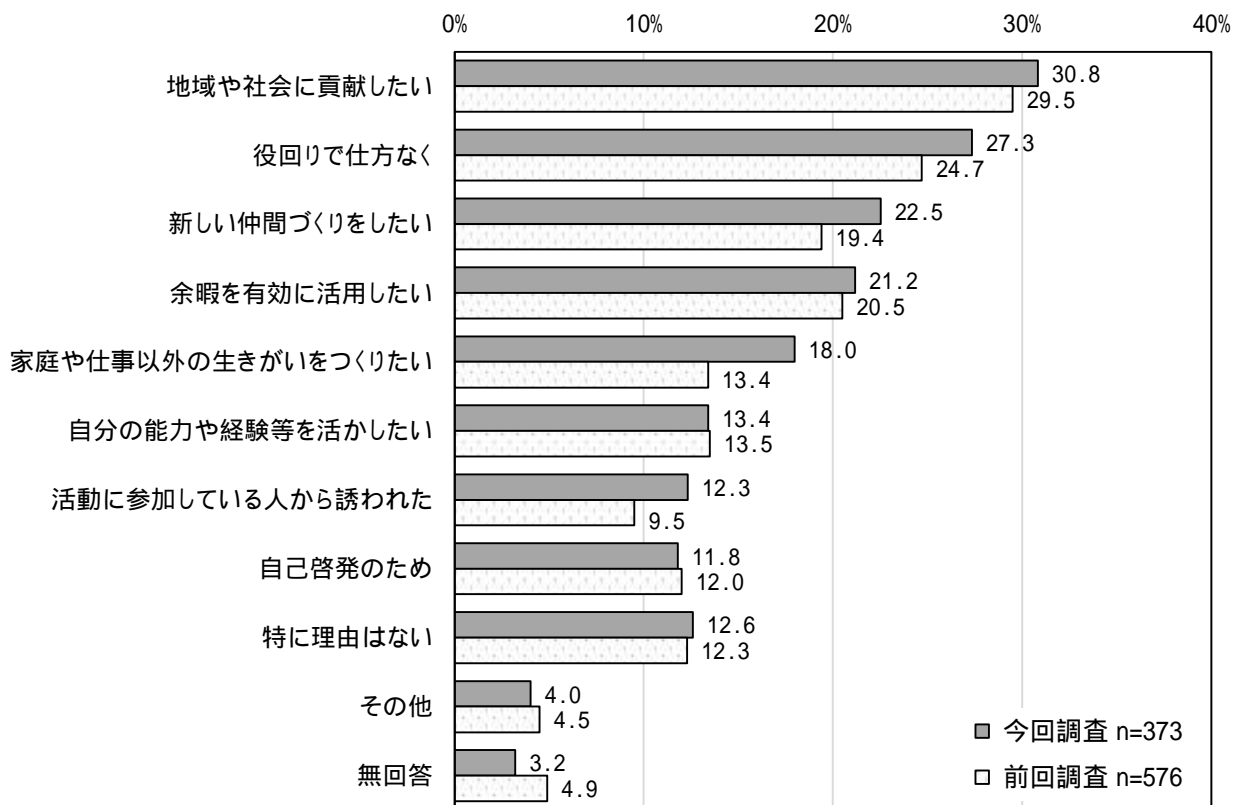


地域活動に「参加している」と回答した 373 人に、参加頻度をたずねたところ、「地域の活動(自治会、町内会、婦人会、老人会など)」では「年に数回」、「趣味、スポーツ、娯楽活動」、「ボランティア、NPO、市民活動(まちづくり・福祉活動など)」では、「参加経験なし」との回答が最も高く約半数を占めています。

前回調査との比較では、どの項目も「週に2~3回」、「週に1回」、「月に2回~3回」、「月に1回」、「年に数回」を合わせた割合は減少しています。

問 23-2 地域活動等に参加している理由

あなたが活動に参加している理由は何ですか。(あてはまるものすべてに)



地域活動に参加している理由は、「地域や社会に貢献したい」が30.8%と最も高く、次いで「役回りで仕方なく」が27.3%、「新しい仲間づくりをしたい」が22.5%となっています。

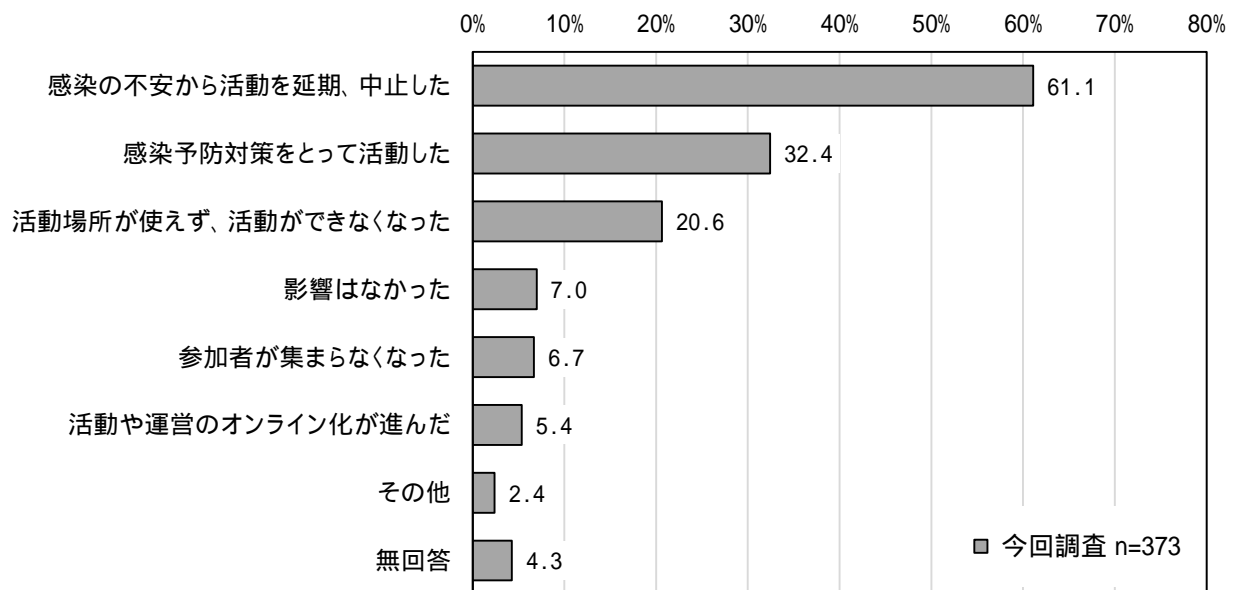
また、年代別では、20～29歳では、「地域や社会に貢献したい」、「新しい仲間づくりをしたい」、40～59歳未満では、「役回りで仕方なく」、60～69歳では「家庭や仕事以外の生きがいをつくりたい」、「新しい仲間づくりをしたい」、「役回りで仕方なく」、80歳以上では「新しい仲間づくりをしたい」、「余暇を有効に活用したい」の割合が比較的他の年代より高くなっています。

居住地区別地域活動等に参加している理由

| | | 地域や社会に貢献したい | 自分の能力や経験等を活かしたい | 新しい仲間づくりをしたい | 余暇を有効に活用したい | 家庭や仕事以外の生きがいをつくりたい | 自己啓発のため | 役回りで仕方なく | 活動に参加している人から誘われた | 特に理由はない | その他 | 無回答 |
|----------|-----------------|-------------|-----------------|--------------|-------------|--------------------|---------|----------|------------------|---------|-----|-----|
| 全体 n=373 | | 30.8 | 13.4 | 22.5 | 21.2 | 18.0 | 11.8 | 27.3 | 12.3 | 12.6 | 4.0 | 3.2 |
| 年代別 | 20～29歳 n=5 | 40.0 | 0.0 | 40.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 20.0 | 0.0 | 20.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 30～39歳 n=34 | 29.4 | 14.7 | 11.8 | 5.9 | 14.7 | 2.9 | 26.5 | 11.8 | 23.5 | 2.9 | 0.0 |
| | 40～49歳 n=68 | 25.0 | 5.9 | 10.3 | 7.4 | 7.4 | 5.9 | 39.7 | 10.3 | 17.6 | 5.9 | 2.9 |
| | 50～59歳 n=48 | 37.5 | 18.8 | 22.9 | 12.5 | 14.6 | 10.4 | 37.5 | 12.5 | 14.6 | 6.3 | 0.0 |
| | 60～69歳 n=62 | 22.6 | 14.5 | 25.8 | 19.4 | 25.8 | 16.1 | 25.8 | 16.1 | 11.3 | 3.2 | 3.2 |
| | 70～79歳 n=120 | 35.0 | 15.0 | 24.2 | 30.8 | 21.7 | 14.2 | 20.0 | 12.5 | 8.3 | 1.7 | 5.8 |
| | 80歳以上 n=34 | 35.3 | 14.7 | 41.2 | 44.1 | 23.5 | 20.6 | 20.6 | 11.8 | 5.9 | 8.8 | 2.9 |

問 23-3 新型コロナウイルスによる影響

新型コロナウイルス感染症によって活動に影響はありましたか。(あてはまるものすべてに)



新型コロナウイルスによる影響は、「感染の不安から活動を延期、中止した」が61.1%と最も高く、次いで「感染予防対策をとって活動した」が32.4%、「活動場所が使えず、活動ができなくなった」が20.6%となっています。

また、年代別では、すべての年代で「感染の不安から活動を延期、中止した」が上位にあがっています。

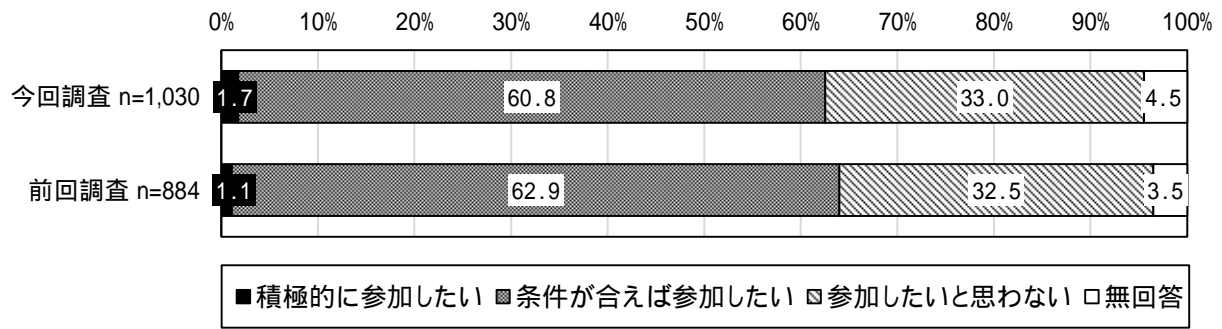
さらに、居住地区別においては、中部、東部では「活動や運営のオンライン化が進んだ」の割合が高くなっています。

年代別・居住地区別新型コロナウイルスによる影響

| | | 影響はなかった | 感染予防対策をとって活動した | 感染の不安から活動を延期、中止した | 活動場所が使えず、活動ができなくなった | 参加者が集まらなくなった | 活動や運営のオンライン化が進んだ | その他 | 無回答 |
|----------|-----------------|---------|----------------|-------------------|---------------------|--------------|------------------|-----|-----|
| 全体 n=373 | | 7.0 | 32.4 | 61.1 | 20.6 | 6.7 | 5.4 | 2.4 | 4.3 |
| 年代別 | 20～29歳 n=5 | 0.0 | 40.0 | 60.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 30～39歳 n=34 | 8.8 | 29.4 | 67.6 | 29.4 | 5.9 | 8.8 | 0.0 | 0.0 |
| | 40～49歳 n=68 | 10.3 | 22.1 | 58.8 | 14.7 | 7.4 | 7.4 | 1.5 | 5.9 |
| | 50～59歳 n=48 | 4.2 | 25.0 | 70.8 | 12.5 | 6.3 | 10.4 | 4.2 | 0.0 |
| | 60～69歳 n=62 | 8.1 | 45.2 | 54.8 | 19.4 | 3.2 | 8.1 | 3.2 | 4.8 |
| | 70～79歳 n=120 | 7.5 | 35.8 | 59.2 | 22.5 | 7.5 | 1.7 | 3.3 | 6.7 |
| | 80歳以上 n=34 | 0.0 | 32.4 | 64.7 | 32.4 | 11.8 | 0.0 | 0.0 | 2.9 |
| 地区別 | 北部 n=70 | 4.3 | 38.6 | 58.6 | 24.3 | 10.0 | 0.0 | 4.3 | 5.7 |
| | 中部 n=113 | 10.6 | 30.1 | 67.3 | 15.9 | 3.5 | 8.0 | 0.0 | 4.4 |
| | 南部 n=97 | 3.1 | 32.0 | 60.8 | 21.6 | 8.2 | 3.1 | 4.1 | 3.1 |
| | 東部 n=90 | 8.9 | 32.2 | 55.6 | 22.2 | 6.7 | 8.9 | 2.2 | 4.4 |

問 24-1 今後の地域活動等への参加意向

あなたは、今後、地域活動に参加したいと思いますか。(あてはまるもの1つに)

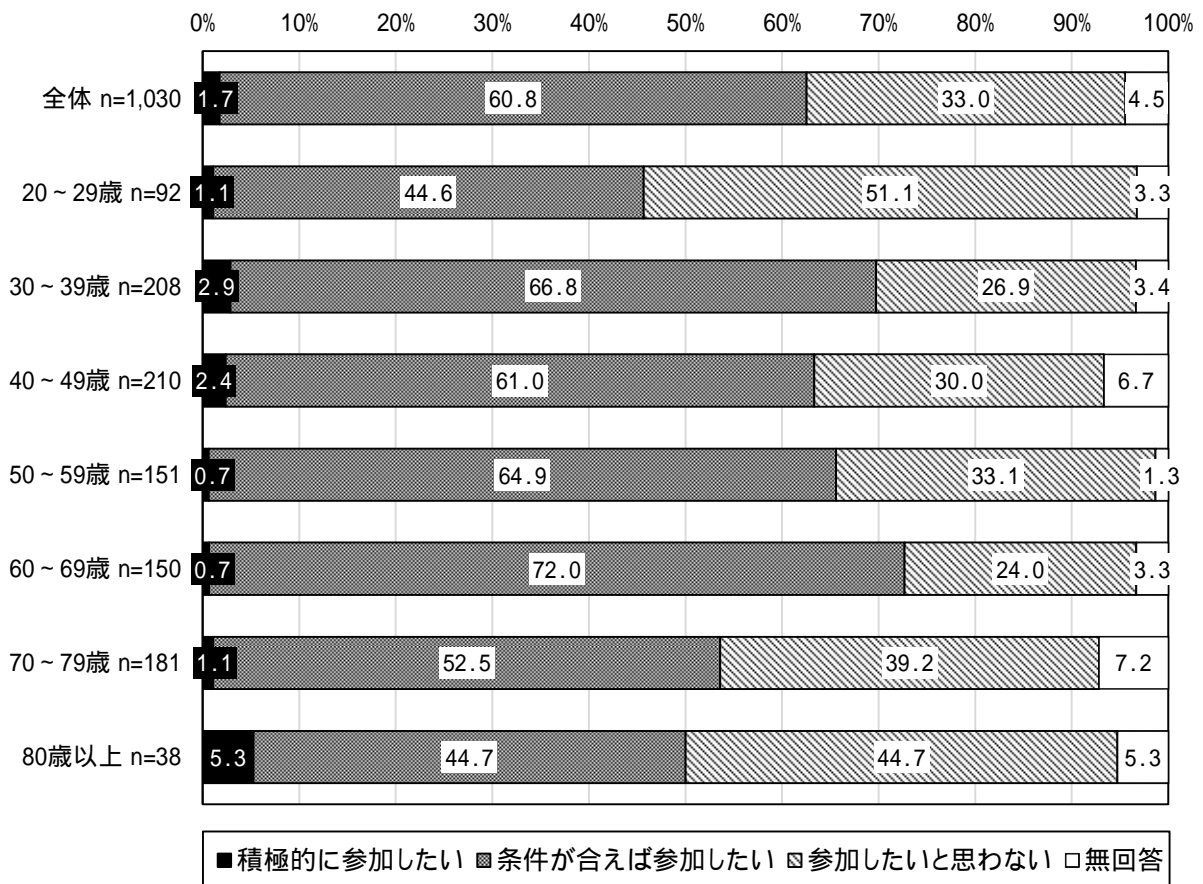


地域活動に「参加していない」と回答した 1,030 人に、今後の参加意向をたずねたところ、「条件が合えば参加したい」が 60.8%と最も高くなっています。

また、年代別では、60～69 歳が地域活動に「条件が合えば参加したい」との回答割合が高く なっており、7割を超えています。

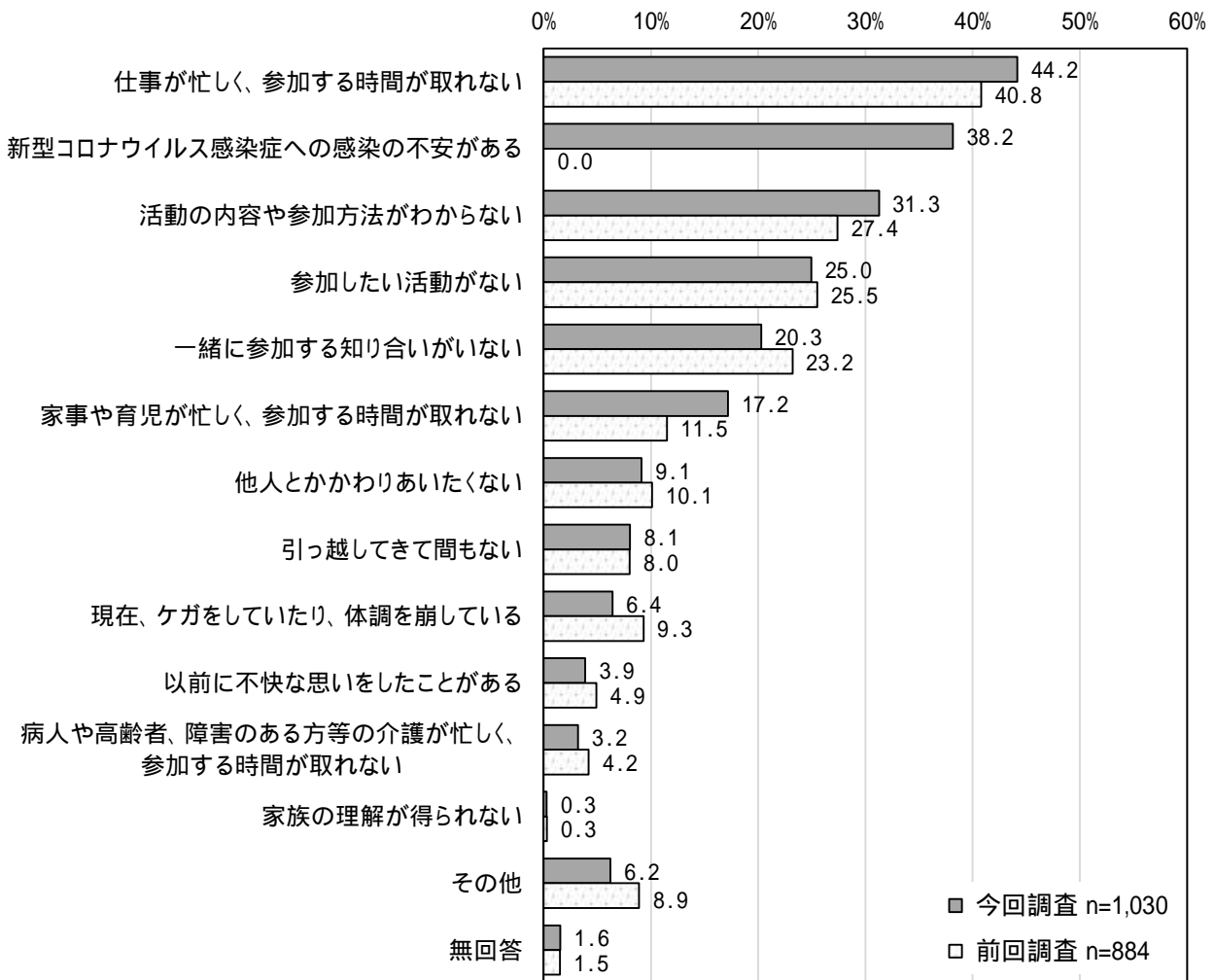
前回調査との比較では、同様の結果となっています。

年代別今後の地域活動等への参加意向



問 24-2 地域活動等に参加していない理由

あなたが活動に参加していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに)



前回調査では、「新型コロナウイルス感染症への感染の不安がある」の項目はありませんでした。

地域活動に参加していない理由は、「仕事が忙しく、参加する時間が取れない」が44.2%と最も高く、次いで「新型コロナウイルス感染症への感染の不安がある」が38.2%、「活動の内容や参加方法がわからない」が31.3%となっています。

また、年代別では、20～29歳では、「参加したい活動がない」、「新型コロナウイルス感染症への感染の不安がある」、30～39歳では、「仕事が忙しく、参加する時間が取れない」、「家事や育児が忙しく、参加する時間が取れない」、60～80歳以上では「現在、ケガをしていたり、体調を崩している」の割合が比較的他の年代より高くなっています。

さらに地域別をみると、すべての地域で「仕事が忙しく、参加する時間が取れない」が上位に挙がっています。

前回調査との比較では、同様の結果となっています。

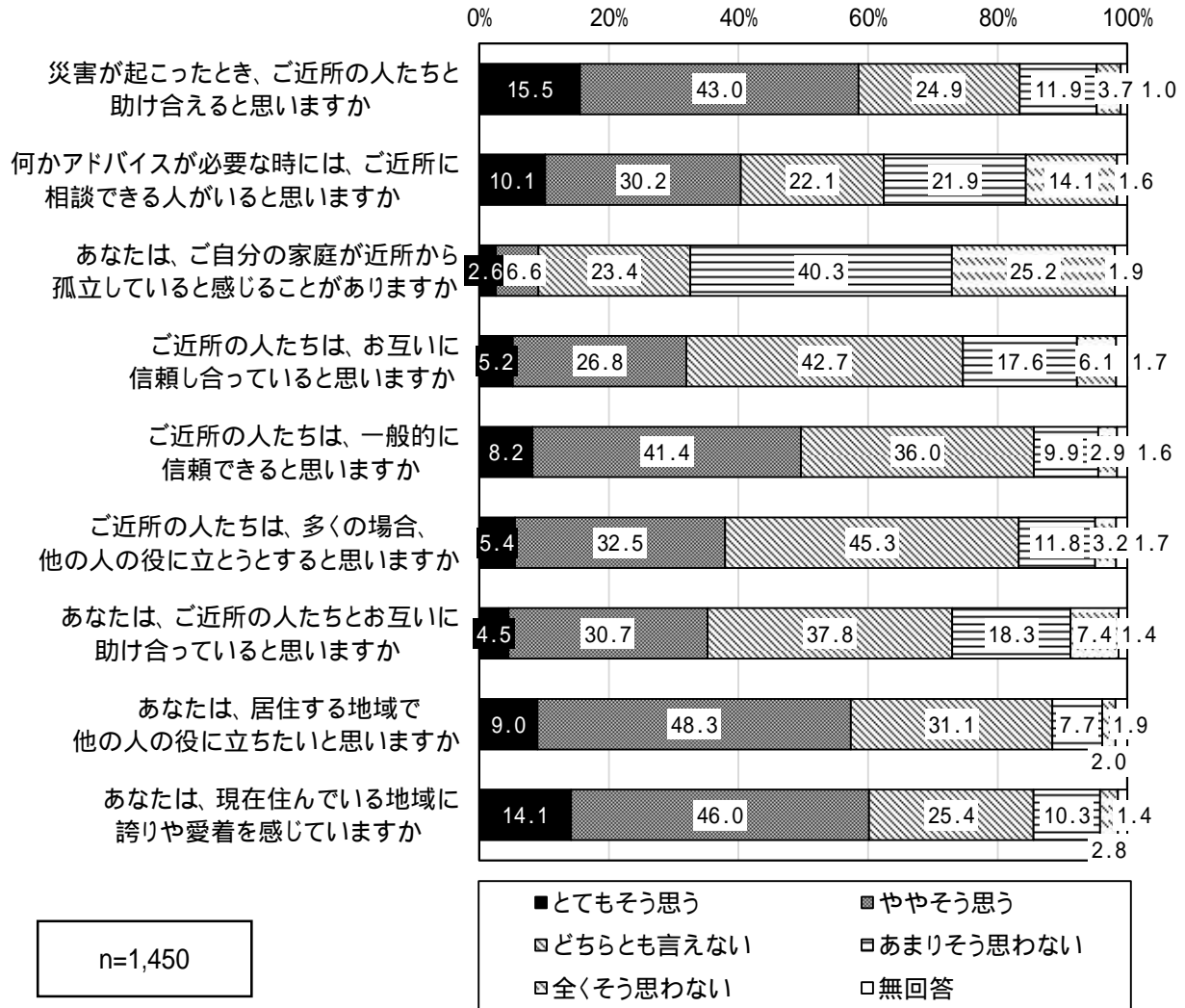
年代別・居住地区別地域活動等に参加していない理由

| | | 参加したい活動がない | 活動の内容や参加方法がわからない | 引越してきて間もない | 仕事が忙しく、参加する時間が取れない | 家事や育児が忙しく、参加する時間が取れない | 病人や高齢者、障害のある方等の介護が忙しく、参加する時間が取れない | 家族の理解が得られない | 現在、ケガをしていたり、体調を崩している | 他人とかかわりあいたくない | 以前に不快な思いをしたことがある | 一緒に参加する知り合いがない | 新型コロナウイルス感染症への感染の不安がある | その他 | 無回答 |
|------------|-----------------|------------|------------------|------------|--------------------|-----------------------|-----------------------------------|-------------|----------------------|---------------|------------------|----------------|------------------------|------|------|
| 全体 n=1,030 | | 25.0 | 31.3 | 8.1 | 44.2 | 17.2 | 3.2 | 0.3 | 6.4 | 9.1 | 3.9 | 20.3 | 38.2 | 6.2 | 1.6 |
| 年代別 | 20～29歳 n=92 | 32.6 | 42.4 | 17.4 | 51.1 | 12.0 | 0.0 | 0.0 | 4.3 | 17.4 | 1.1 | 25.0 | 48.9 | 2.2 | 1.1 |
| | 30～39歳 n=208 | 20.2 | 43.3 | 19.2 | 63.5 | 38.5 | 1.0 | 0.0 | 3.8 | 7.7 | 1.0 | 19.2 | 34.6 | 2.9 | 0.0 |
| | 40～49歳 n=210 | 22.9 | 34.3 | 6.7 | 57.6 | 30.5 | 3.3 | 0.5 | 1.4 | 7.6 | 2.9 | 21.0 | 32.9 | 4.8 | 1.0 |
| | 50～59歳 n=151 | 23.2 | 28.5 | 4.6 | 58.9 | 9.3 | 4.0 | 0.0 | 4.0 | 11.9 | 7.3 | 21.9 | 37.7 | 3.3 | 0.7 |
| | 60～69歳 n=150 | 27.3 | 24.7 | 3.3 | 26.7 | 4.7 | 6.7 | 0.0 | 9.3 | 8.0 | 3.3 | 22.0 | 41.3 | 8.0 | 1.3 |
| | 70～79歳 n=181 | 29.8 | 19.9 | 0.6 | 12.2 | 0.6 | 4.4 | 1.1 | 13.8 | 7.2 | 7.7 | 17.1 | 42.0 | 11.0 | 2.8 |
| | 80歳以上 n=38 | 18.4 | 13.2 | 0.0 | 10.5 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 15.8 | 7.9 | 2.6 | 13.2 | 31.6 | 23.7 | 13.2 |
| 地区別 | 北部 n=199 | 27.1 | 23.1 | 3.5 | 37.2 | 13.6 | 4.5 | 0.0 | 5.5 | 12.6 | 5.5 | 23.1 | 37.2 | 6.0 | 1.0 |
| | 中部 n=323 | 18.0 | 33.7 | 13.9 | 46.1 | 20.1 | 2.5 | 0.3 | 7.4 | 9.6 | 2.5 | 18.9 | 40.6 | 7.4 | 1.5 |
| | 南部 n=316 | 25.3 | 35.4 | 6.0 | 48.4 | 17.7 | 2.8 | 0.6 | 5.1 | 6.0 | 4.7 | 19.9 | 36.4 | 4.4 | 2.2 |
| | 東部 n=191 | 34.0 | 28.8 | 6.3 | 41.4 | 15.2 | 3.7 | 0.0 | 7.9 | 9.9 | 3.1 | 20.4 | 38.2 | 6.8 | 1.0 |

・住民同士の支え合い、生活上の悩みについてお伺いします。

問 25 住民同士の支え合いについて

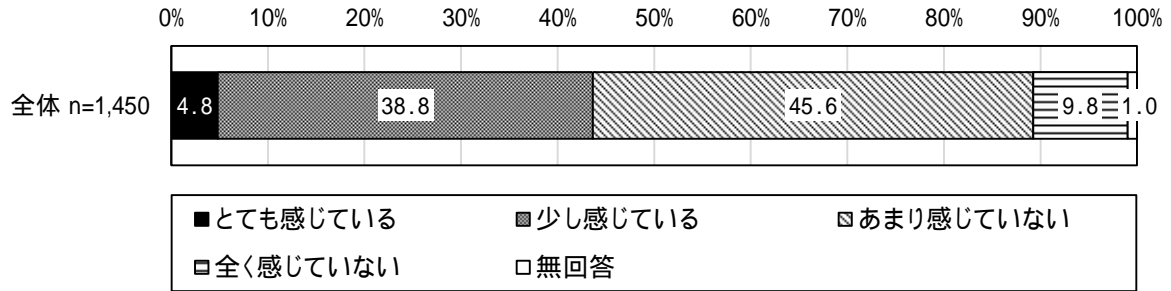
あなたは、お住まいの地域の住民同士の支えあいについて、どのように感じていますか。
 (から の項目について、あなたのお気持ちに一番近い答えの番号1つに)



地域の住民同士の支え合いは、「とてもそう思う」、「ややそう思う」を合わせた『そう思う』と回答したもので多い項目は、「災害が起こったとき、ご近所の人たちと助け合えると思いますか」(58.5%)、「ご近所の人たちは、一般的に信頼できると思いますか」(49.6%)、「あなたは、居住する地域で他の人の役に立ちたいと思いますか」(57.3%)、「あなたは、現在住んでいる地域に誇りや愛着を感じていますか」(60.1%)となっています。

問 26 お互いの生活を支えあっていると思うか

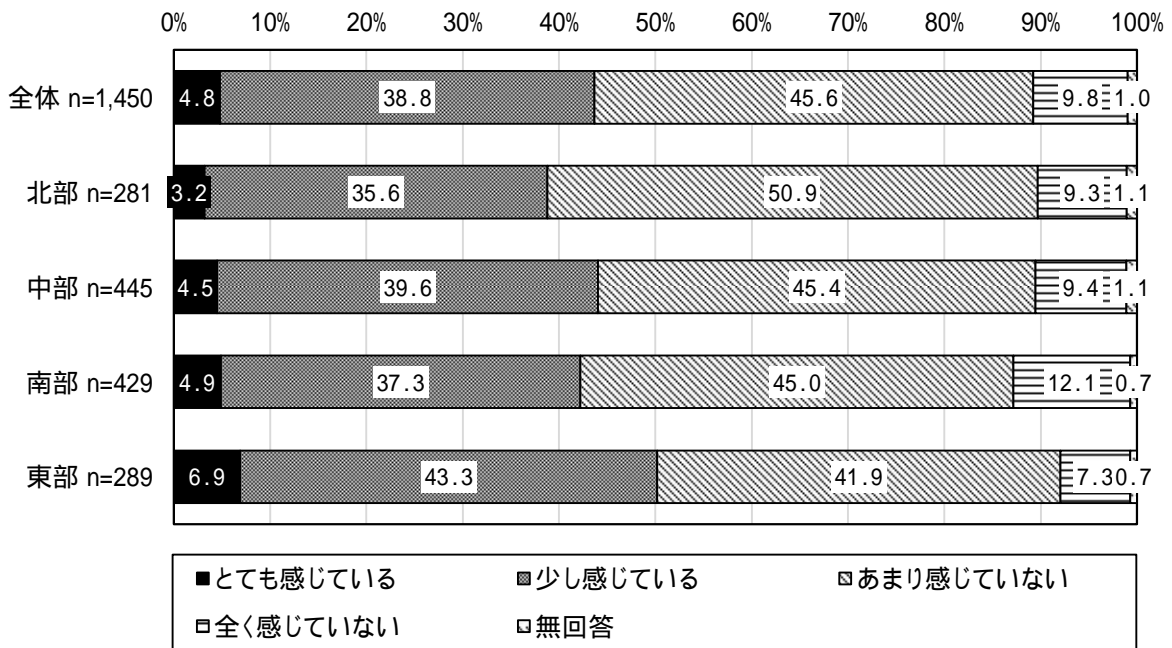
あなたのお住まいの地域では、子ども、高齢者、障害者を含めて、お互いの生活を地域全体で支えあっていると感じていますか。(あてはまるもの1つに)



お互いの生活を支えあっていると思うかは、「とても感じている」(4.8%)、「少し感じている」(38.8%)を合わせて43.6%が『感じている』と回答しています。

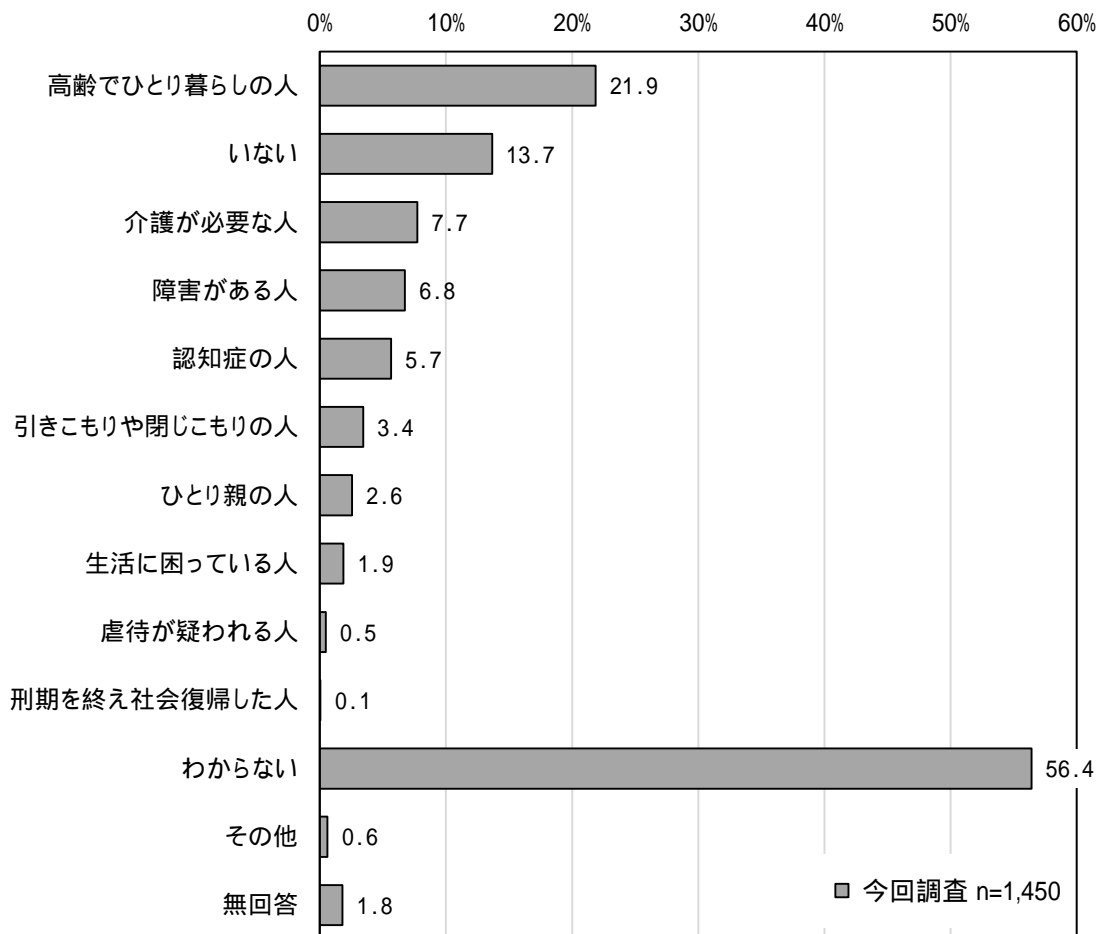
また、居住地区別では、中部、東部では『感じている』の割合が全体よりも高くなっています。

居住地区別お互いの生活を支えあっていると思うか



問 27 お住まいの地域で手助け、協力・支援が必要な人

あなたのお住まいの地域では、次のような人で周囲の手助けや協力・支援が必要な人や、気にかかる人、何らかの問題を抱えている人はいますか。(あてはまるものすべてに)



手助け、協力・支援が必要な人は、「高齢でひとり暮らしの人」が 21.9%と最も高く、次いで「いない」が 13.7%、「介護が必要な人」が 7.7%となっています。

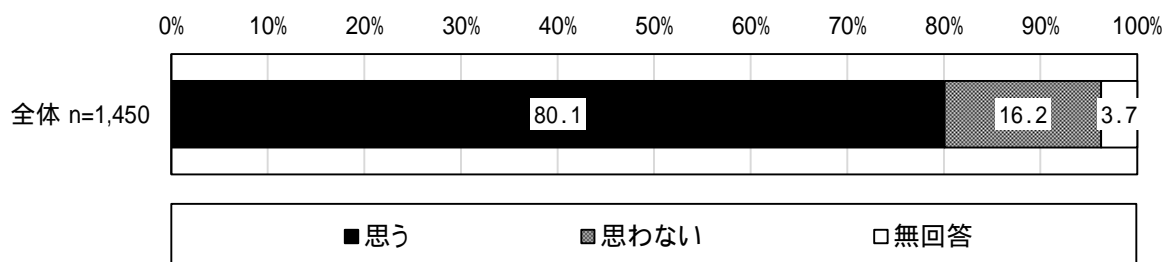
また、年代別では、年齢が挙がるごとに「高齢でひとり暮らしの人」、「認知症の人」、「介護が必要な人」の割合が高くなっています。

年代別・居住地区別お住いの地域で手助け、協力・支援が必要な人

| | | 高齢でひとり暮らしの人 | 認知症の人 | 介護が必要な人 | 障害がある人 | 引きこもりや閉じこもりの人 | 虐待が疑われる人 | 生活に困っている人 | 刑期を終え社会復帰した人 | ひとり親の人 | いない | わからない | その他 | 無回答 |
|------------|-----------------|-------------|-------|---------|--------|---------------|----------|-----------|--------------|--------|------|-------|-----|-----|
| 全体 n=1,450 | | 21.9 | 5.7 | 7.7 | 6.8 | 3.4 | 0.5 | 1.9 | 0.1 | 2.6 | 13.7 | 56.4 | 0.6 | 1.8 |
| 年代別 | 20～29歳 n=98 | 13.3 | 1.0 | 3.1 | 4.1 | 2.0 | 1.0 | 4.1 | 0.0 | 3.1 | 8.2 | 72.4 | 0.0 | 0.0 |
| | 30～39歳 n=250 | 10.8 | 3.2 | 6.0 | 2.4 | 0.8 | 0.8 | 1.6 | 0.0 | 2.4 | 11.2 | 72.0 | 0.8 | 0.8 |
| | 40～49歳 n=279 | 13.6 | 2.5 | 6.5 | 5.4 | 1.8 | 0.4 | 1.8 | 0.0 | 1.8 | 15.8 | 64.5 | 0.7 | 1.8 |
| | 50～59歳 n=202 | 22.8 | 5.9 | 6.4 | 5.9 | 4.0 | 1.0 | 2.0 | 0.0 | 4.5 | 10.4 | 55.4 | 1.0 | 1.5 |
| | 60～69歳 n=215 | 26.0 | 6.0 | 9.3 | 8.8 | 5.1 | 0.5 | 0.9 | 0.0 | 3.7 | 15.3 | 53.0 | 0.0 | 0.9 |
| | 70～79歳 n=325 | 35.1 | 9.5 | 9.8 | 10.8 | 5.5 | 0.0 | 1.8 | 0.3 | 1.5 | 15.1 | 39.1 | 0.9 | 3.7 |
| | 80歳以上 n=78 | 29.5 | 12.8 | 14.1 | 9.0 | 5.1 | 0.0 | 1.3 | 0.0 | 1.3 | 19.2 | 41.0 | 0.0 | 2.6 |
| 地区別 | 北部 n=281 | 25.3 | 6.4 | 9.3 | 7.5 | 6.4 | 0.0 | 1.4 | 0.4 | 1.8 | 15.7 | 50.5 | 0.4 | 0.7 |
| | 中部 n=445 | 19.1 | 6.1 | 7.6 | 7.2 | 1.6 | 1.1 | 1.8 | 0.0 | 2.0 | 14.2 | 57.5 | 1.3 | 2.2 |
| | 南部 n=429 | 21.9 | 4.4 | 6.5 | 7.0 | 3.0 | 0.0 | 2.6 | 0.0 | 3.7 | 13.5 | 58.3 | 0.2 | 1.9 |
| | 東部 n=289 | 22.8 | 6.2 | 8.3 | 5.2 | 4.2 | 0.7 | 1.0 | 0.0 | 2.4 | 11.4 | 57.8 | 0.3 | 1.7 |

問28 支え合い活動の必要性について

あなたは、地域社会の中で、住民同士の支え合い活動は必要だと思いますか。
(あてはまるもの1つに)

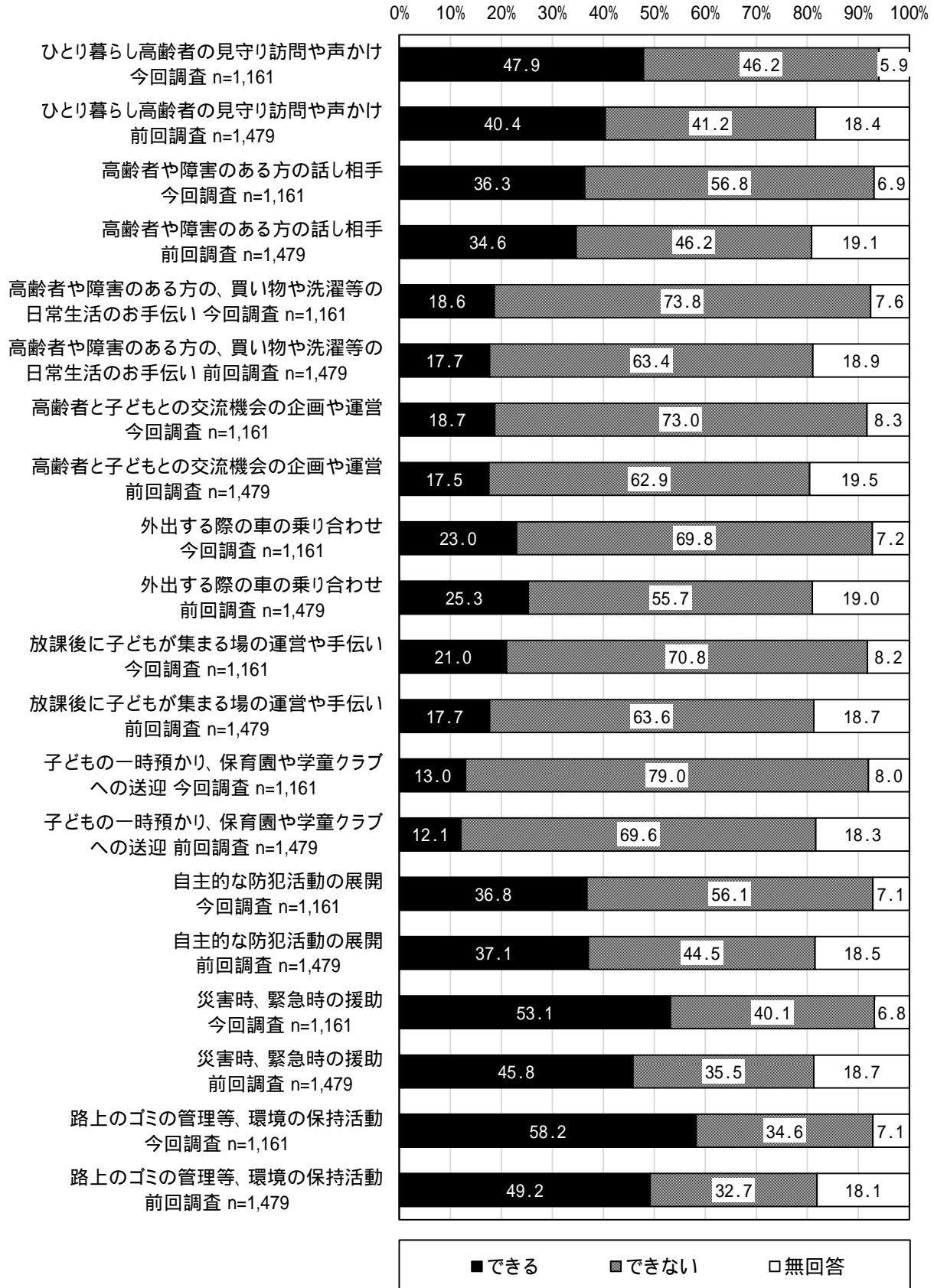


支え合い活動が必要だと思うかは、「思う」が80.1%と8割を占めています。

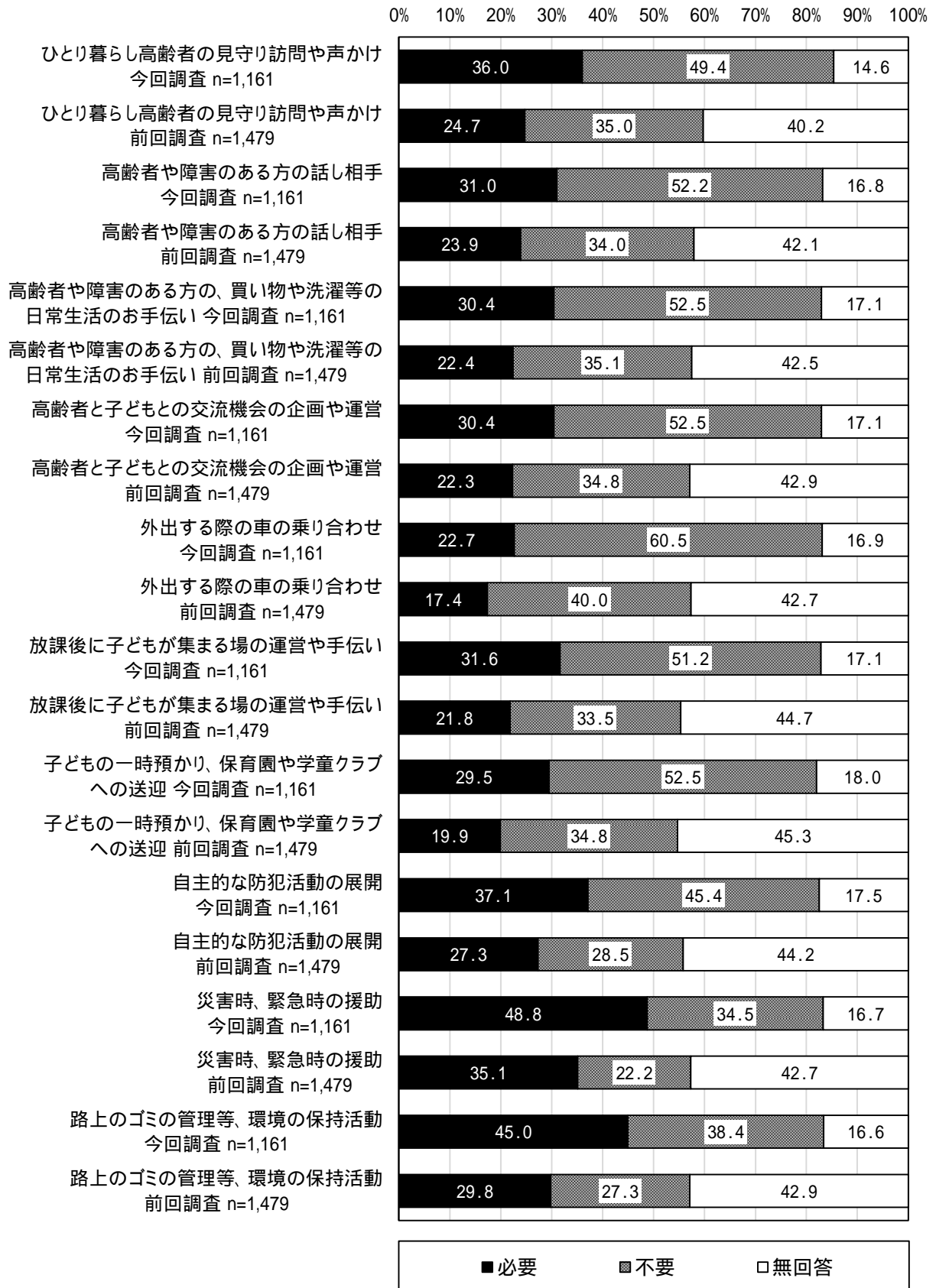
問 29 支え合い活動について

住民同士の支え合い活動として、あなたはどのようなことができると思いますか。また、隣近所の人に手助けをしてもらうとしたらどのようなことをしてほしいですか。(から の項目について、あなたのお気持ちに一番近い答えの番号を、(1)(2)それぞれ1つに)

(1) その活動ができるか



(2) 手助けが必要ですか



(1) その活動ができるか

住民同士での支え合い活動として「できる」と回答したもので多い項目は、「路上のゴミの管理等、環境の保持活動」(58.2%)、「ひとり暮らし高齢者の見守り訪問や声かけ」(47.9%)、「災害時、緊急時の援助(避難所への誘導等)」(37.1%)となっています。

前回調査との比較では、「ひとり暮らし高齢者の見守り訪問や声かけ」、「高齢者や障害のある方の話し相手」、「高齢者や障害のある方の、買い物や洗濯等の日常生活のお手伝い」、「高齢者と子どもとの交流機会の企画や運営」、「放課後に子どもが集まる場の運営や手伝い」、「子どもの一時預かり、保育園や学童クラブへの送迎」、「災害時、緊急時の援助(避難所への誘導等)」、「路上のゴミの管理等、環境の保持活動」の割合が高くなっています。

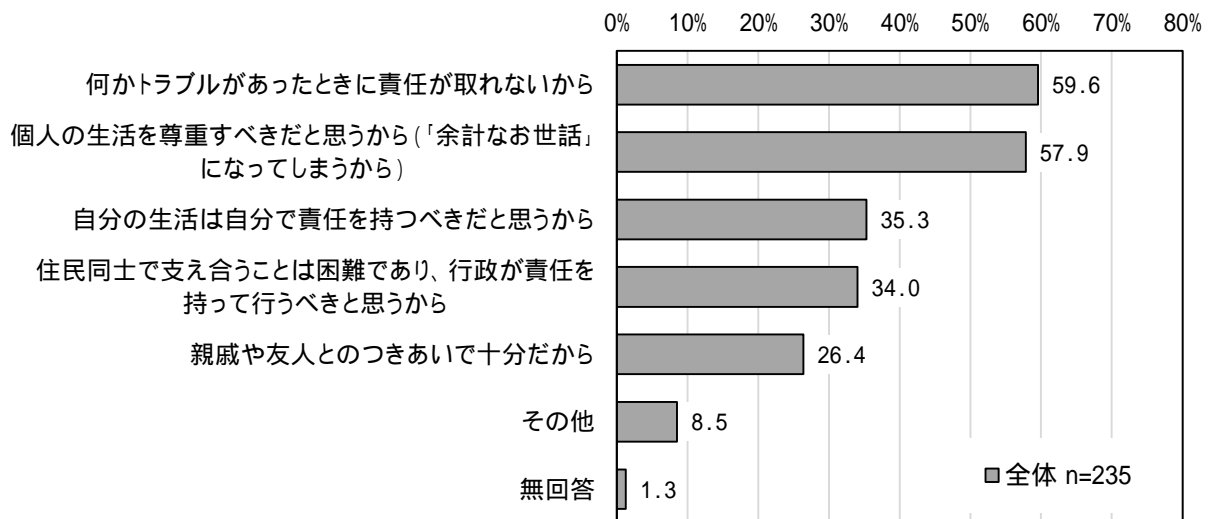
(2) 手助けが必要ですか

住民同士の支え合い活動のうち、隣近所の人から援助を受けたいものとして、「災害時、緊急時の援助(避難所への誘導等)」(48.8%)、「路上のゴミの管理等、環境の保持活動」(45.0%)、「自主的な防犯活動の展開(自治会パトロール等)」(37.1%)となっております。

前回調査との比較では、すべての項目の割合が高くなっています。

問30 支え合い活動が必要ないと思う理由

あなたが、住民同士の支え合い活動は必要ないと思う理由は何ですか。
(あてはまるものすべてに)



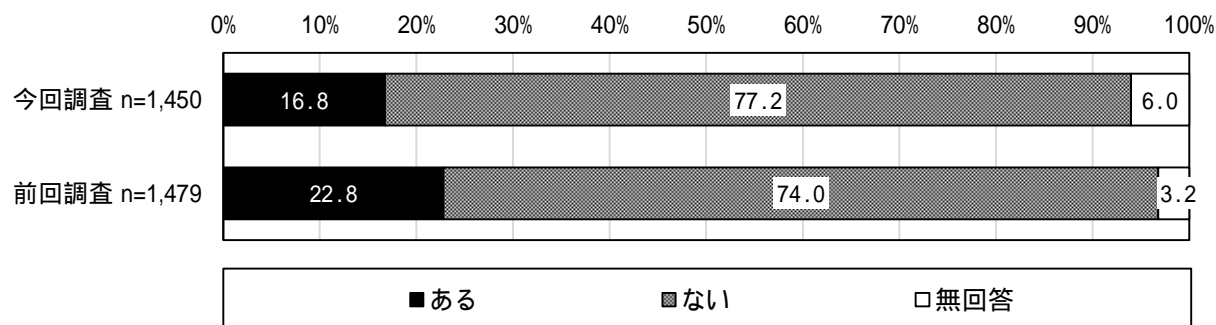
支え合い活動が必要ないと思う理由は、「何かトラブルがあったときに責任が取れないから」が59.6%と最も高く、次いで「個人の生活を尊重すべきだと思うから(「余計なお世話」になってしまうから)」が57.9%、「自分の生活は自分で責任を持つべきだと思うから」が35.3%となっています。

年代別・居住地区別支え合い活動が必要ないと思う理由

| | | 自分の生活は自分で責任を 持つべきだと思っから | 個人の生活を尊重すべきだと思っから （「余計なお世話」になっってしまうから） | 住民同士で支え合うことは困難であり、 行政が責任を持っ行って行っべきと思っから | 親戚や友人とのつきあいで十分だから | 何かトラブルがあったときに責任が 取れないから | その他 | 無回答 |
|------------|----------------|----------------------------|---|--|-------------------|----------------------------|------|-----|
| 全体 n=235 | | 35.3 | 57.9 | 34.0 | 26.4 | 59.6 | 8.5 | 1.3 |
| 年代別 | 20～29歳 n=25 | 32.0 | 56.0 | 28.0 | 32.0 | 60.0 | 16.0 | 0.0 |
| | 30～39歳 n=50 | 24.0 | 40.0 | 32.0 | 34.0 | 62.0 | 16.0 | 2.0 |
| | 40～49歳 n=46 | 28.3 | 58.7 | 26.1 | 19.6 | 60.9 | 6.5 | 0.0 |
| | 50～59歳 n=35 | 34.3 | 68.6 | 37.1 | 20.0 | 68.6 | 8.6 | 0.0 |
| | 60～69歳 n=25 | 32.0 | 72.0 | 36.0 | 24.0 | 44.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 70～79歳 n=42 | 59.5 | 69.0 | 42.9 | 26.2 | 69.0 | 2.4 | 2.4 |
| | 80歳以上 n=12 | 41.7 | 33.3 | 41.7 | 33.3 | 16.7 | 8.3 | 8.3 |
| | 地区別 | 北部 n=48 | 43.8 | 64.6 | 35.4 | 27.1 | 64.6 | 2.1 |
| 中部 n=74 | | 28.4 | 52.7 | 33.8 | 20.3 | 54.1 | 6.8 | 2.7 |
| 南部 n=64 | | 42.2 | 59.4 | 40.6 | 31.3 | 57.8 | 14.1 | 0.0 |
| 東部 n=49 | | 28.6 | 57.1 | 24.5 | 28.6 | 65.3 | 10.2 | 2.0 |

問 31 日常生活で困っていること

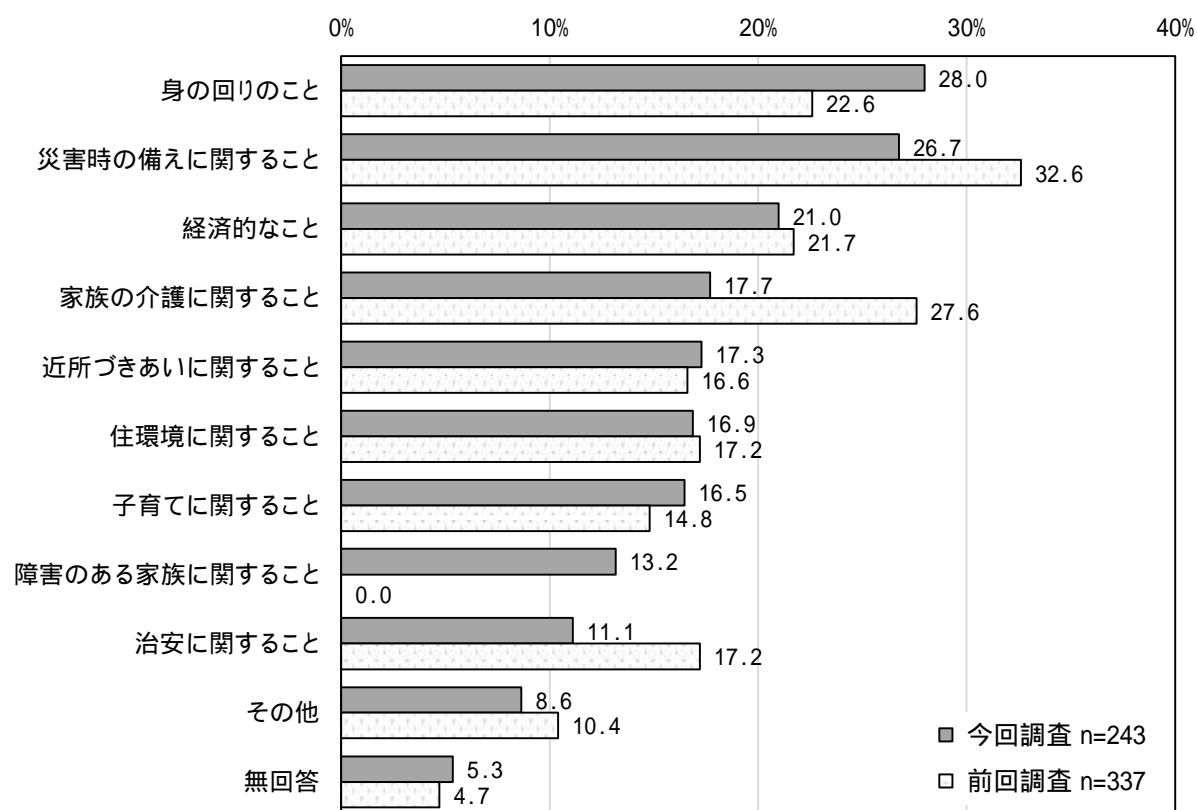
あなたやあなたの身近な人が、日常生活で何か困っていることはありますか。
 (あてはまるもの1つに)



日常生活での困りごとが、「ない」と回答した人は77.2%で、「ある」(16.8%)と回答した人の4倍以上となっています。

問 32-1 日常生活で困っている内容

あなたや身近な人が、日常生活で困っていることはどのようなことですか。
 (あてはまるものすべてに)



前回調査では、「障がいのある家族に関すること」の項目はありませんでした。

日常生活の困りごとは、「身の回りのこと」が28.0%と最も高く、次いで「災害時の備えに関すること」が26.7%、「経済的なこと」が21.0%となっています。

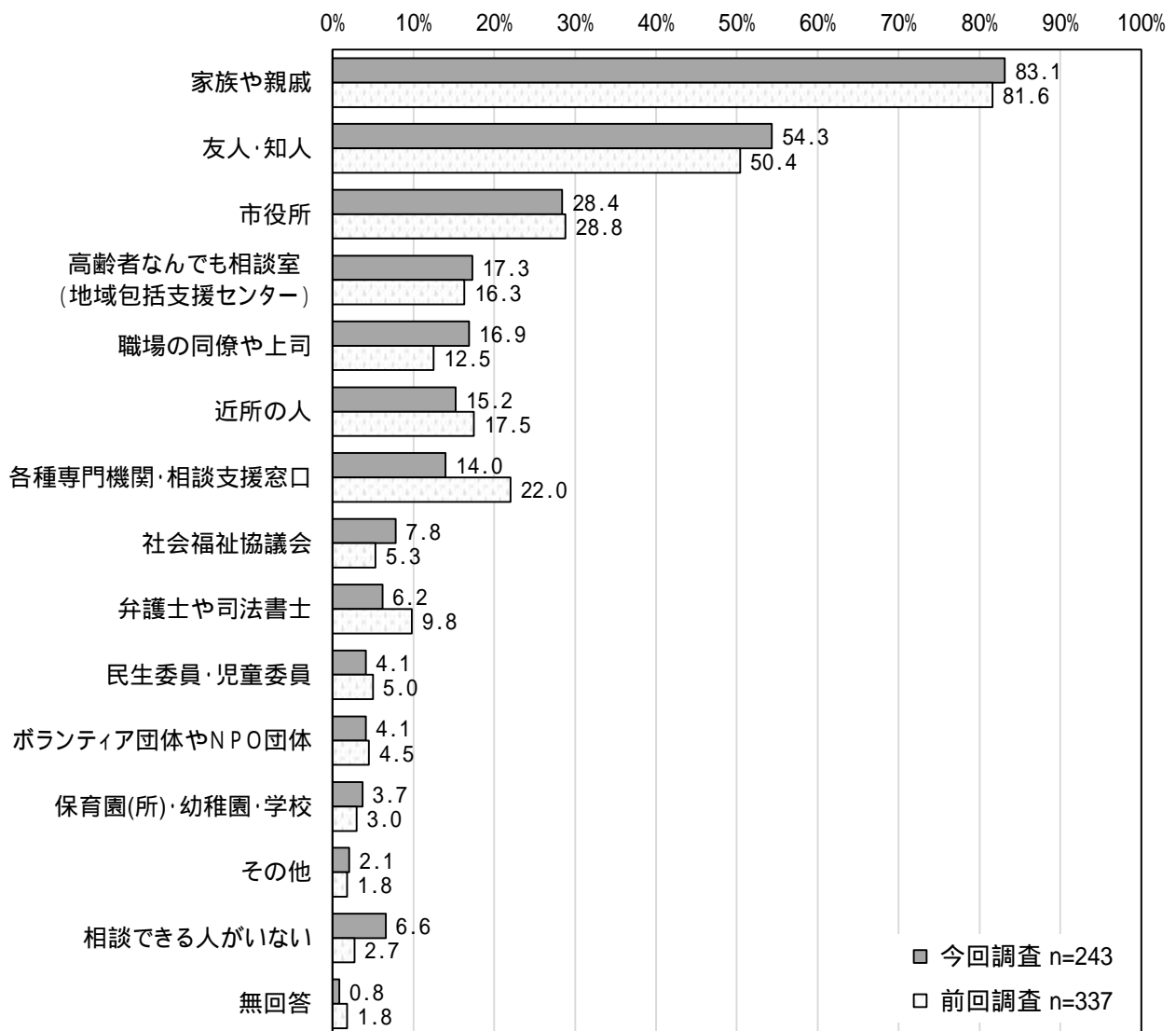
前回調査をみると、「災害時の備えに関すること」が32.6%と最も高く、次いで「家族の介護に関すること」が27.6%、「身の回りのこと」が22.6%となっています。

年代別・居住地区別日常生活で困っている内容

| | | 身の回りのこと | 子育てに関すること | 家族の介護に関すること | 障害のある家族に関すること | 経済的なこと | 住環境に関すること | 治安に関すること | 災害時の備えに関すること | 近所づきあいに関すること | その他 | 無回答 |
|----------|----------------|---------|-----------|-------------|---------------|--------|-----------|----------|--------------|--------------|------|------|
| 全体 n=243 | | 28.0 | 16.5 | 17.7 | 13.2 | 21.0 | 16.9 | 11.1 | 26.7 | 17.3 | 8.6 | 5.3 |
| 年代別 | 20～29歳 n=21 | 28.6 | 33.3 | 4.8 | 4.8 | 61.9 | 14.3 | 14.3 | 28.6 | 14.3 | 9.5 | 4.8 |
| | 30～39歳 n=42 | 21.4 | 33.3 | 14.3 | 16.7 | 11.9 | 7.1 | 16.7 | 31.0 | 26.2 | 9.5 | 7.1 |
| | 40～49歳 n=50 | 18.0 | 24.0 | 20.0 | 18.0 | 24.0 | 14.0 | 6.0 | 26.0 | 10.0 | 10.0 | 8.0 |
| | 50～59歳 n=42 | 33.3 | 7.1 | 19.0 | 16.7 | 26.2 | 16.7 | 7.1 | 19.0 | 16.7 | 4.8 | 2.4 |
| | 60～69歳 n=31 | 29.0 | 9.7 | 19.4 | 12.9 | 6.5 | 22.6 | 12.9 | 22.6 | 22.6 | 12.9 | 0.0 |
| | 70～79歳 n=38 | 34.2 | 2.6 | 23.7 | 7.9 | 10.5 | 21.1 | 10.5 | 23.7 | 18.4 | 7.9 | 5.3 |
| | 80歳以上 n=19 | 42.1 | 0.0 | 15.8 | 5.3 | 21.1 | 31.6 | 15.8 | 47.4 | 10.5 | 5.3 | 10.5 |
| 地区別 | 北部 n=50 | 22.0 | 14.0 | 18.0 | 14.0 | 30.0 | 26.0 | 14.0 | 22.0 | 20.0 | 10.0 | 2.0 |
| | 中部 n=70 | 27.1 | 20.0 | 14.3 | 11.4 | 21.4 | 12.9 | 11.4 | 22.9 | 22.9 | 8.6 | 10.0 |
| | 南部 n=70 | 34.3 | 20.0 | 15.7 | 18.6 | 17.1 | 12.9 | 7.1 | 34.3 | 12.9 | 8.6 | 5.7 |
| | 東部 n=52 | 26.9 | 9.6 | 25.0 | 7.7 | 17.3 | 19.2 | 13.5 | 25.0 | 13.5 | 7.7 | 1.9 |

問 32-2 困ったときの相談相手

あなたは日常生活で困った時、誰に相談しようと思いますか。(あてはまるものすべてに)

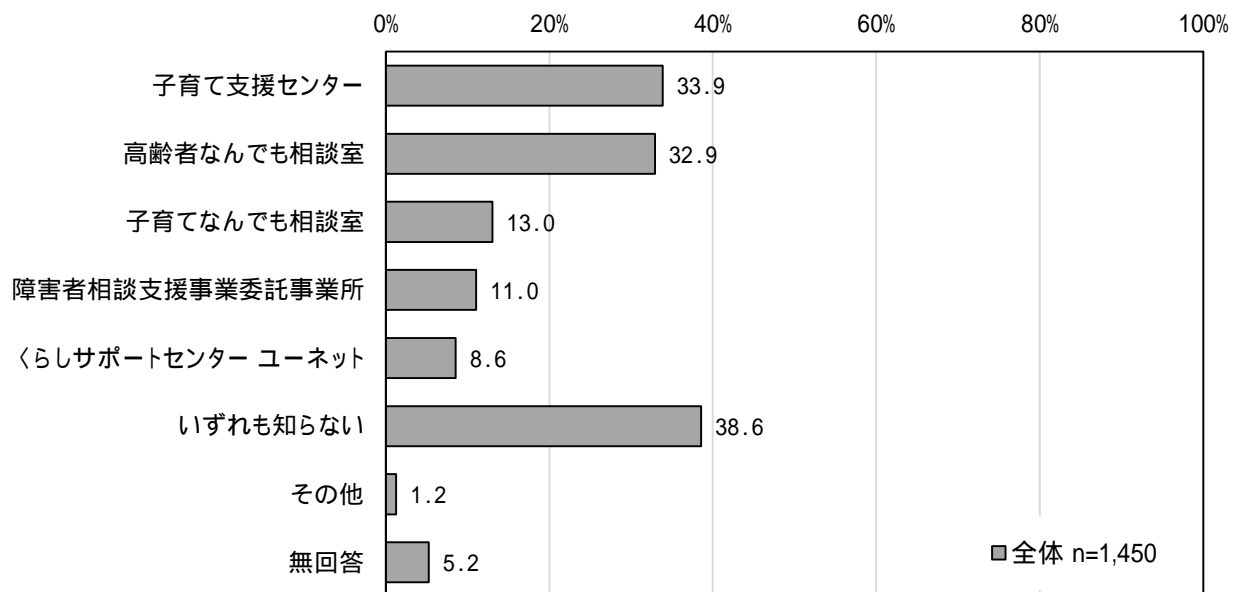


困ったときの相談相手は、「家族や親戚」が83.1%と最も高く、次いで「友人・知人」が54.3%、「市役所」が28.4%となっています。

前回調査との比較では、上位三項目について前回と同様の結果となっています。

問 33 相談支援窓口

あなたは、次の相談支援窓口を知っていますか。(あてはまるものすべてに)



相談支援窓口を知っていますかは、「子育て支援センター」が33.9%と最も高く、次いで「高齢者なんでも相談室」が32.9%、「子育てなんでも相談室」が13.0%となっています。

また、年代別では、20～59歳では、「子育て支援センター」、50～80歳以上では、「高齢者なんでも相談室」の割合が他の年代より高くなっています。

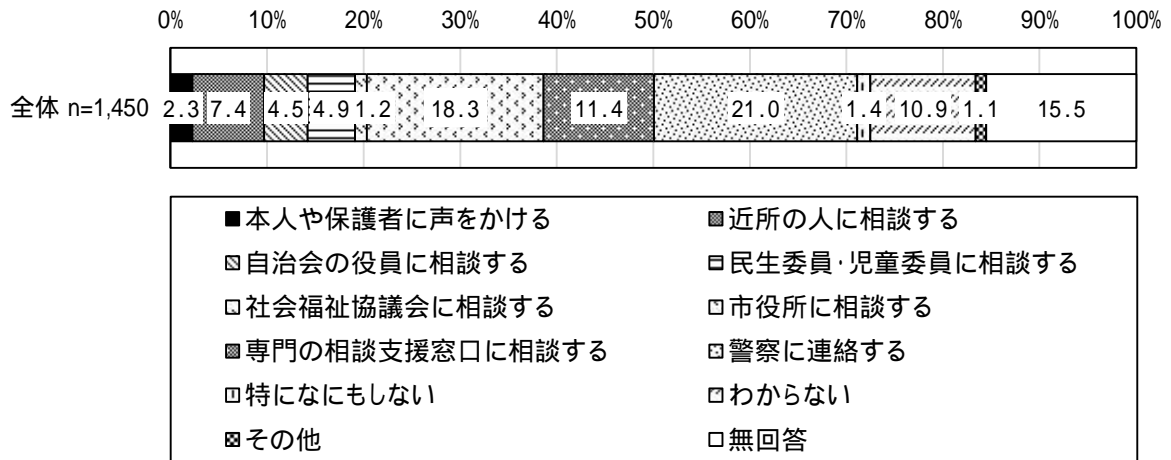
さらに、地区別をみると、北部では「高齢者なんでも相談室」、中部、東部では「子育て支援センター」、南部では「障害者相談支援事業委託事業所」の割合が他の地区より高くなっています。

年代別・居住地区別相談支援窓口

| | | 高齢者なんでも相談室 | 障害者相談支援事業委託事業所 | くらしサポートセンター・ユースネット | 子育て支援センター | 子育てなんでも相談室 | いずれも知らない | その他 | 無回答 |
|------------|-----------------|------------|----------------|--------------------|-----------|------------|----------|-----|------|
| 全体 n=1,450 | | 32.9 | 11.0 | 8.6 | 33.9 | 13.0 | 38.6 | 1.2 | 5.2 |
| 年代別 | 20～29歳 n=98 | 10.2 | 8.2 | 4.1 | 32.7 | 11.2 | 59.2 | 0.0 | 1.0 |
| | 30～39歳 n=250 | 10.8 | 3.2 | 4.4 | 52.4 | 20.4 | 38.8 | 0.8 | 2.0 |
| | 40～49歳 n=279 | 22.2 | 8.6 | 8.2 | 49.5 | 16.5 | 40.5 | 0.4 | 3.6 |
| | 50～59歳 n=202 | 35.1 | 14.9 | 10.4 | 39.1 | 12.4 | 39.1 | 0.5 | 3.5 |
| | 60～69歳 n=215 | 45.6 | 15.3 | 13.5 | 22.8 | 12.6 | 38.1 | 1.9 | 4.2 |
| | 70～79歳 n=325 | 51.4 | 13.8 | 8.9 | 15.1 | 6.8 | 32.6 | 2.5 | 10.2 |
| | 80歳以上 n=78 | 51.3 | 15.4 | 9.0 | 16.7 | 9.0 | 29.5 | 2.6 | 14.1 |
| 地区別 | 北部 n=281 | 44.5 | 11.0 | 9.6 | 26.3 | 8.5 | 34.5 | 1.1 | 6.0 |
| | 中部 n=445 | 25.6 | 9.4 | 7.2 | 37.8 | 14.2 | 41.6 | 0.9 | 3.4 |
| | 南部 n=429 | 30.8 | 12.4 | 8.4 | 32.2 | 13.8 | 41.0 | 1.4 | 6.3 |
| | 東部 n=289 | 35.6 | 11.8 | 9.7 | 38.4 | 14.9 | 34.3 | 1.7 | 5.5 |

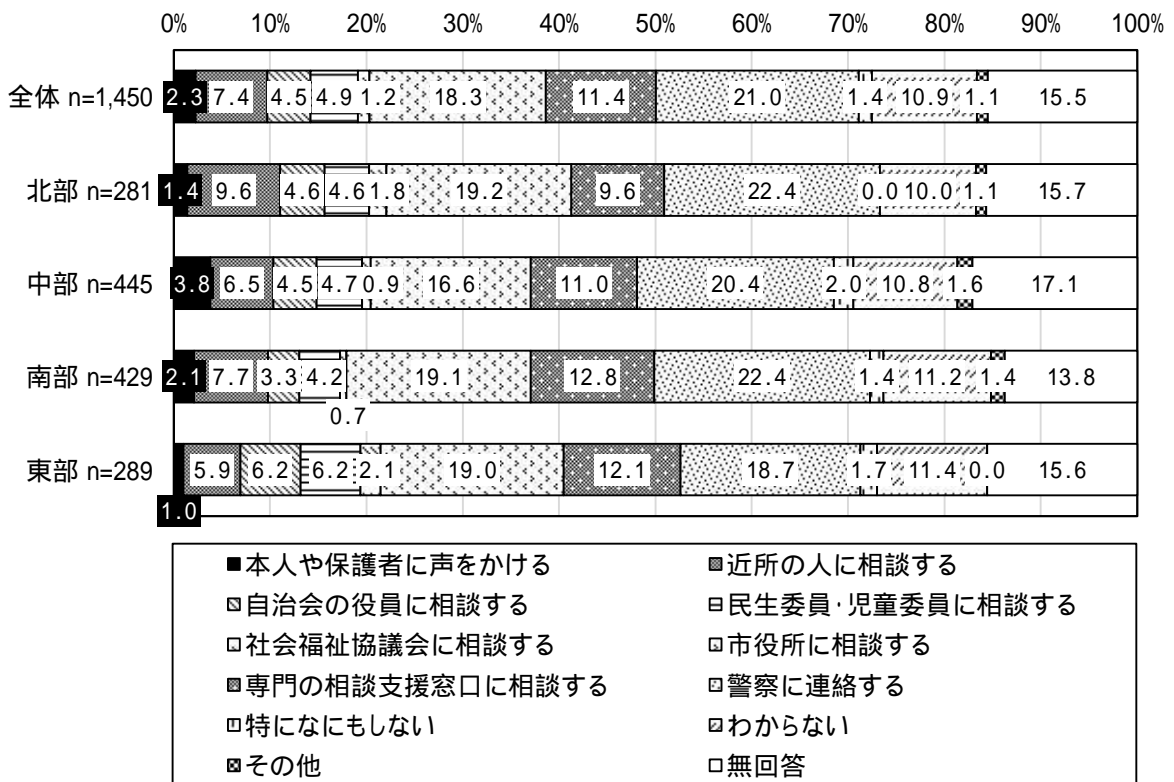
問 34 虐待疑いの発見時の対応

もし、あなたの周辺で児童や高齢者等に対して虐待などが疑われる状況を知ったら、あなたはどのように対応しますか。(あてはまるもの1つに)



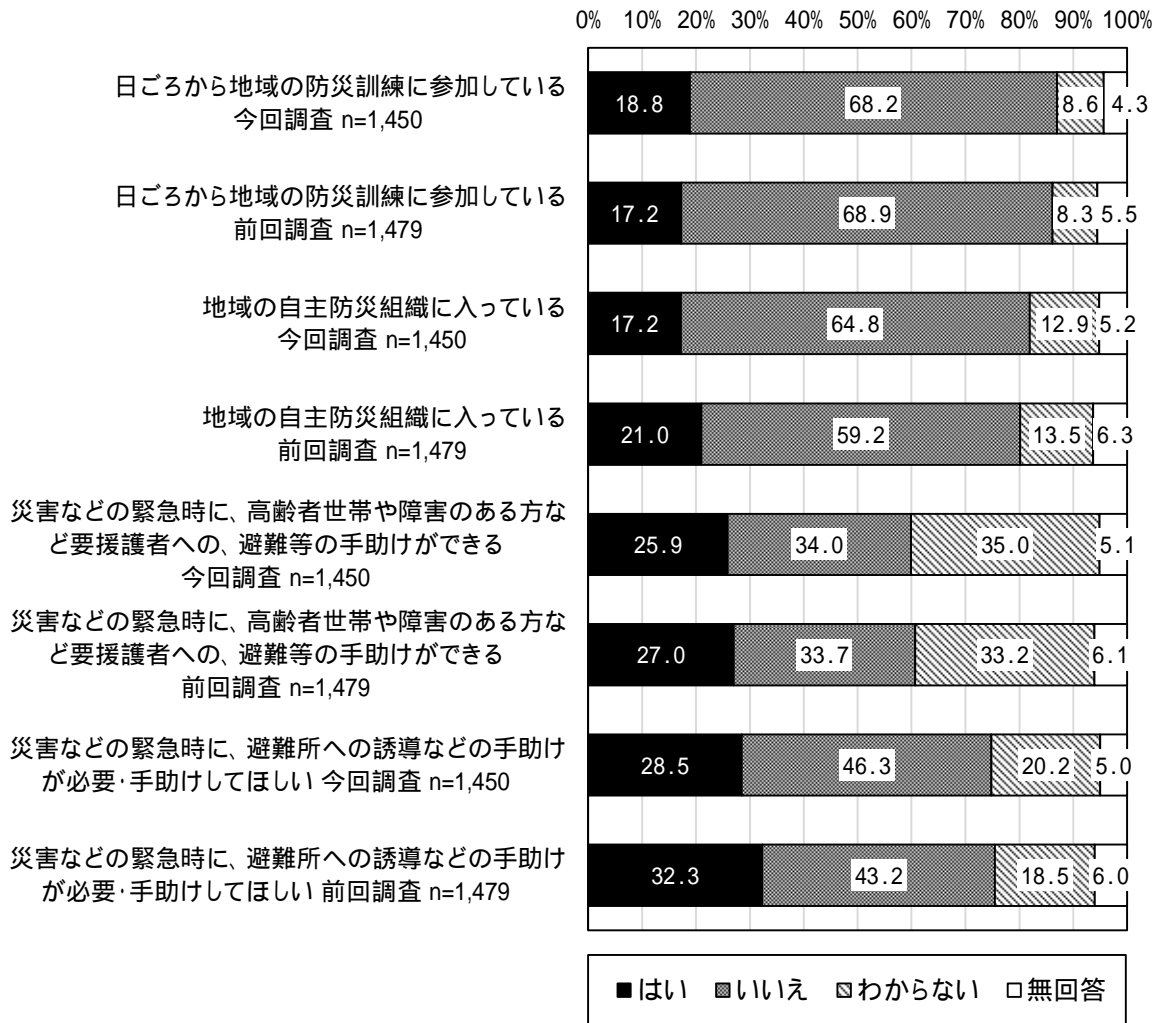
虐待疑いの発見時の対応は、「警察に連絡する」が21.0%と最も高く、次いで「市役所に相談する」が18.3%、「専門の相談支援窓口相談する」が11.4%となっています。

居住地区別虐待疑いの発見時の対応



問 35 緊急時の対応

防災活動や災害など緊急時の対応について、あなたの取組や考えはどれですか。
 (あてはまるもの1つに)

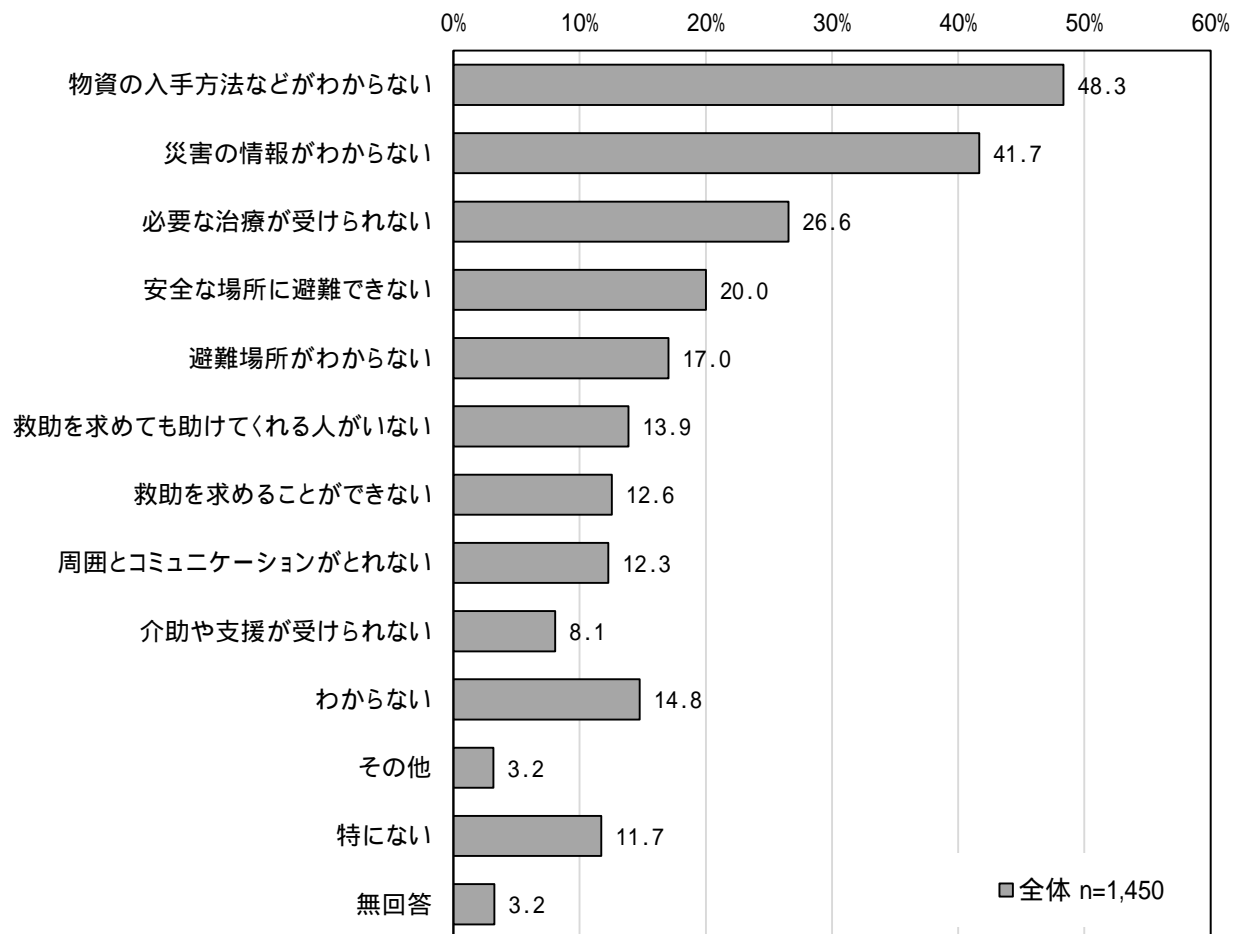


防災活動や災害などの緊急時の取組や考え方は、「日ごろから地域の防災訓練に参加している」、「地域の自主防災組織に入っている」が2割程度取り組んでいることがうかがえます。また、「災害などの緊急時に、高齢者世帯や障害のある方など要援護者への、避難等の手助けができる」、「災害などの緊急時に、避難所への誘導などの手助けが必要・手助けしてほしい」では3割が取り組んでいると回答しています。

前回調査との比較では、「地域の自主防災組織に入っている」、「災害などの緊急時に、高齢者世帯や障がいのある方など要援護者への、避難等の手助けができる」、「災害などの緊急時に、避難所への誘導などの手助けが必要・手助けしてほしい」の割合が減少しています。

問 36 災害時に困ること

あなたは、地震などの災害が発生した時に、困ることはどのようなことだと思いますか。
 (あてはまるものすべてに)



災害時に困ることは、「物資の入手方法などがわからない」が48.3%と最も高く、次いで「災害の情報がわからない」が41.7%、「必要な治療が受けられない」が26.6%となっています。

また、年代別では、20～79歳では「物資の入手方法などがわからない」、80歳以上では「災害の情報がわからない」が上位に挙がっています。

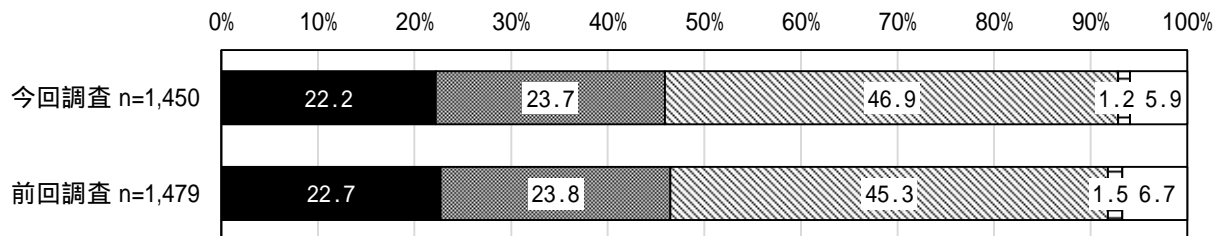
さらに、地区別をみると、すべての地区で「物資の入手方法などがわからない」が上位に挙がっています。

年代別・居住地区別災害時に困ること

| | | 災害の情報がわからない | 安全な場所に避難できない | 救助を求めることができない | 救助を求めても助けてくれる人がいない | 避難場所がわからない | 物資の入手方法などがわからない | 介助や支援が受けられない | 必要な治療が受けられない | 周囲とコミュニケーションがとれない | わからない | その他 | 特にない | 無回答 |
|------------|-----------------|-------------|--------------|---------------|--------------------|------------|-----------------|--------------|--------------|-------------------|-------|-----|------|------|
| 全体 n=1,450 | | 41.7 | 20.0 | 12.6 | 13.9 | 17.0 | 48.3 | 8.1 | 26.6 | 12.3 | 14.8 | 3.2 | 11.7 | 3.2 |
| 年代別 | 20～29歳 n=98 | 29.6 | 20.4 | 13.3 | 12.2 | 23.5 | 53.1 | 6.1 | 22.4 | 15.3 | 16.3 | 5.1 | 6.1 | 1.0 |
| | 30～39歳 n=250 | 40.4 | 24.0 | 14.4 | 16.8 | 27.6 | 56.4 | 6.8 | 22.0 | 18.4 | 12.8 | 3.2 | 7.2 | 0.4 |
| | 40～49歳 n=279 | 41.2 | 18.3 | 11.5 | 16.1 | 17.2 | 55.9 | 7.5 | 30.8 | 12.5 | 12.5 | 2.9 | 12.5 | 2.9 |
| | 50～59歳 n=202 | 43.6 | 15.3 | 13.9 | 14.4 | 13.4 | 45.5 | 8.4 | 32.7 | 13.9 | 14.9 | 1.5 | 13.9 | 0.5 |
| | 60～69歳 n=215 | 42.8 | 19.5 | 10.7 | 15.8 | 12.1 | 47.4 | 8.8 | 27.9 | 7.4 | 15.8 | 3.3 | 13.5 | 2.3 |
| | 70～79歳 n=325 | 44.3 | 20.6 | 12.3 | 9.8 | 13.5 | 41.2 | 8.6 | 24.6 | 9.8 | 16.6 | 3.7 | 12.3 | 7.1 |
| | 80歳以上 n=78 | 42.3 | 24.4 | 11.5 | 9.0 | 11.5 | 30.8 | 11.5 | 20.5 | 7.7 | 15.4 | 3.8 | 17.9 | 10.3 |
| 地区別 | 北部 n=281 | 45.9 | 16.4 | 11.7 | 13.2 | 13.5 | 47.0 | 7.1 | 29.5 | 9.3 | 15.3 | 2.8 | 12.8 | 3.9 |
| | 中部 n=445 | 38.4 | 18.9 | 12.6 | 15.5 | 18.7 | 51.5 | 9.0 | 25.8 | 14.8 | 14.8 | 2.9 | 12.4 | 2.2 |
| | 南部 n=429 | 41.3 | 23.8 | 13.5 | 15.4 | 20.0 | 47.3 | 9.3 | 26.1 | 12.6 | 13.1 | 3.0 | 10.3 | 2.6 |
| | 東部 n=289 | 42.9 | 19.7 | 11.4 | 10.0 | 13.5 | 47.4 | 5.9 | 26.0 | 10.7 | 16.3 | 4.2 | 12.1 | 4.5 |

問 37 災害時要援護者について

ひとり暮らし高齢者や障害のある方など、普段から住民同士の支え合いや災害時や緊急時に支援を必要とする人について、所在（個人情報）や状態を把握して登録する制度があります。この情報把握の方法として、あなたが望ましいと思うものをお聞かせください。（あてはまるもの1つに）



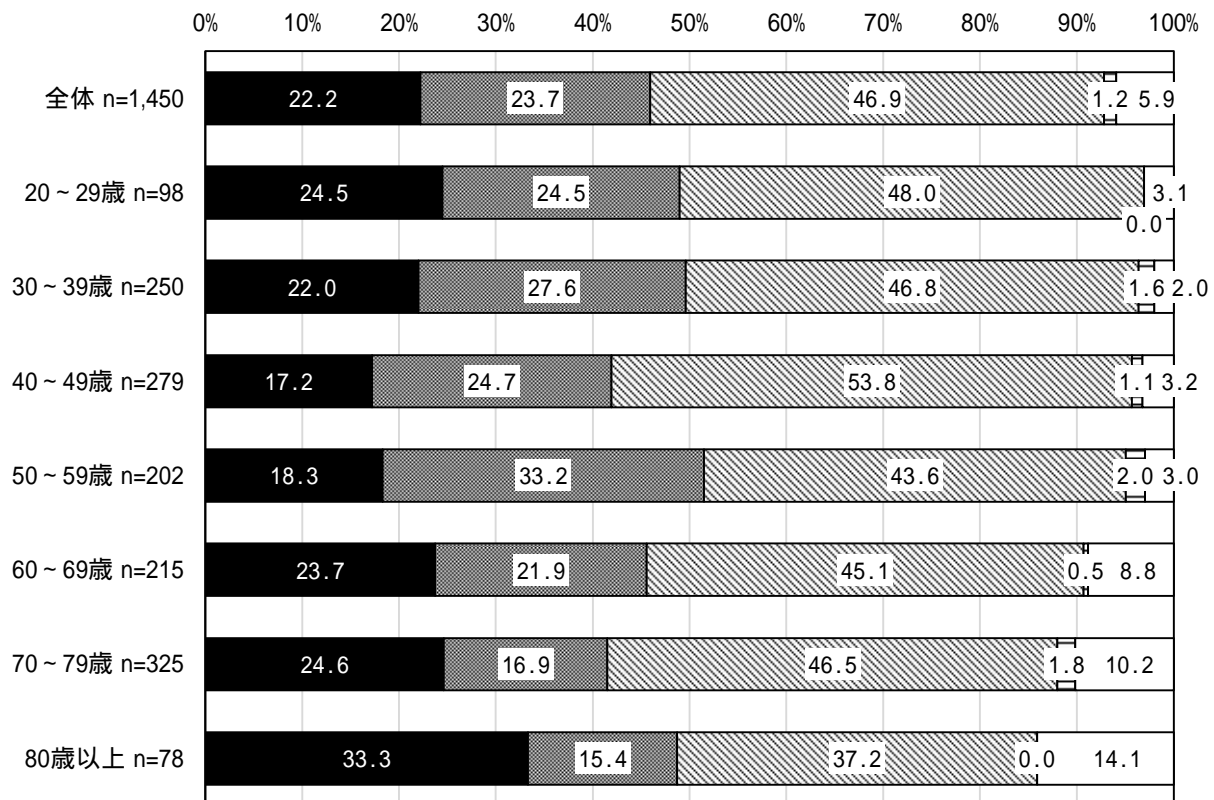
- 援助を必要とする人の自発性を尊重するため、広報等で制度をお知らせし、希望者の申し出により登録する方法
- ▣ 戸別に援助が必要と思われる人を訪問し、制度をお知らせすると同時に、情報登録への同意を求める方法
- ▤ 援助を必要とする人の情報の漏れをなくすため、登録を望まない申出をした人を除き、福祉部局等で収集した情報を市役所、消防、民生委員、自治会等で共有する方法
- その他
- 無回答

災害時や緊急時に備え、援助を必要とする人の個人情報の収集方法や登録方法についてたずねたところ、「援助を必要とする人の情報の漏れをなくすため、登録を望まない申出をした人を除き、福祉部局等で収集した情報を市役所、消防、民生委員、自治会等で共有する方法」（以下「全登録型」）が望ましいと46.9%の人が回答しています。一方、「戸別に援助が必要と思われる人を訪問し、制度をお知らせすると同時に、情報登録への同意を求める方法」（以下「戸別訪問型」）が望ましいと回答した人は23.7%にのぼり、回答が分かれる結果となっています。（「援助を必要とする人の自発性を尊重するため、広報等で制度をお知らせし、希望者の申し出により登録する方法」は以下「希望申請型」とします。）

また、年代別では50～59歳までは全登録型の割合が高いものの、年齢が上がるにつれて希望申請型が高くなっています。

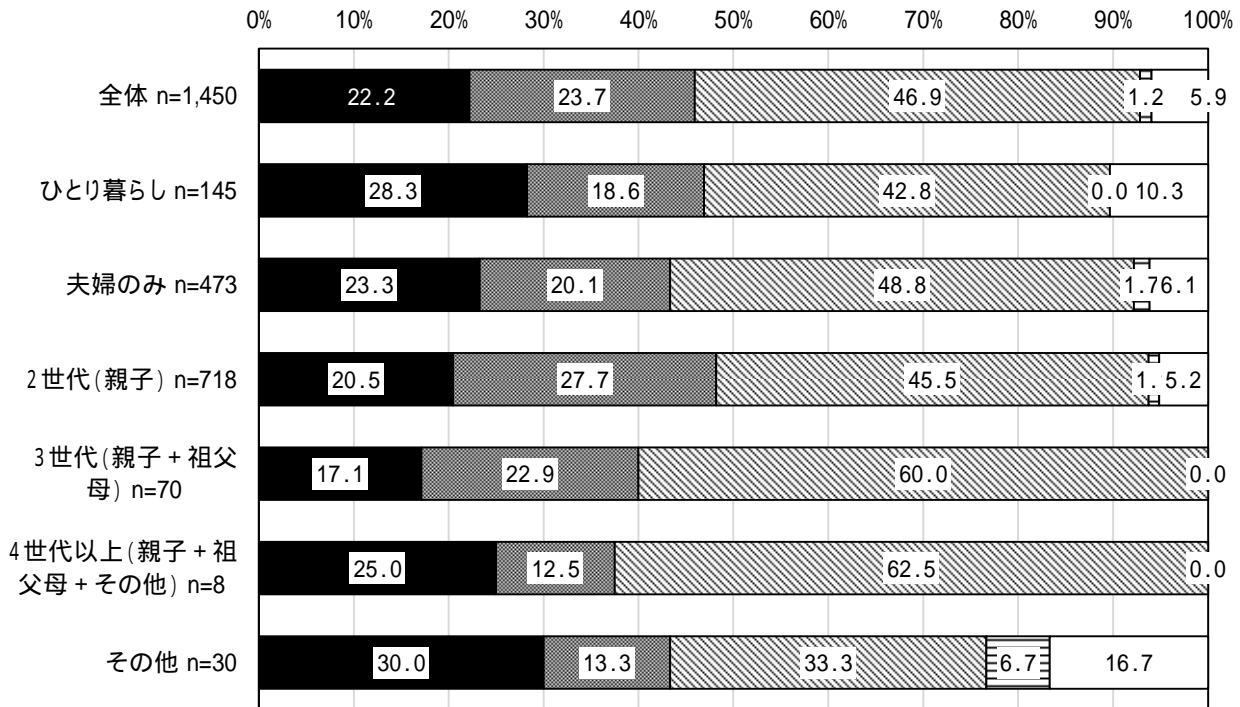
さらに、居住者別をみると、ひとり暮らし世帯、4世代世帯で希望申請型の割合が他の居住者より高くなっています。

年代別災害時要援護者について



- 援助を必要とする人の自発性を尊重するため、広報等で制度をお知らせし、希望者の申し出により登録する方法
- ▣ 戸別に援助が必要と思われる人を訪問し、制度をお知らせすると同時に、情報登録への同意を求める方法
- ▤ 援助を必要とする人の情報の漏れをなくするため、登録を望まない申出をした人を除き、福祉部局等で収集した情報を市役所、消防、民生委員、自治会等で共有する方法
- その他
- 無回答

居住者別災害時要援護者について

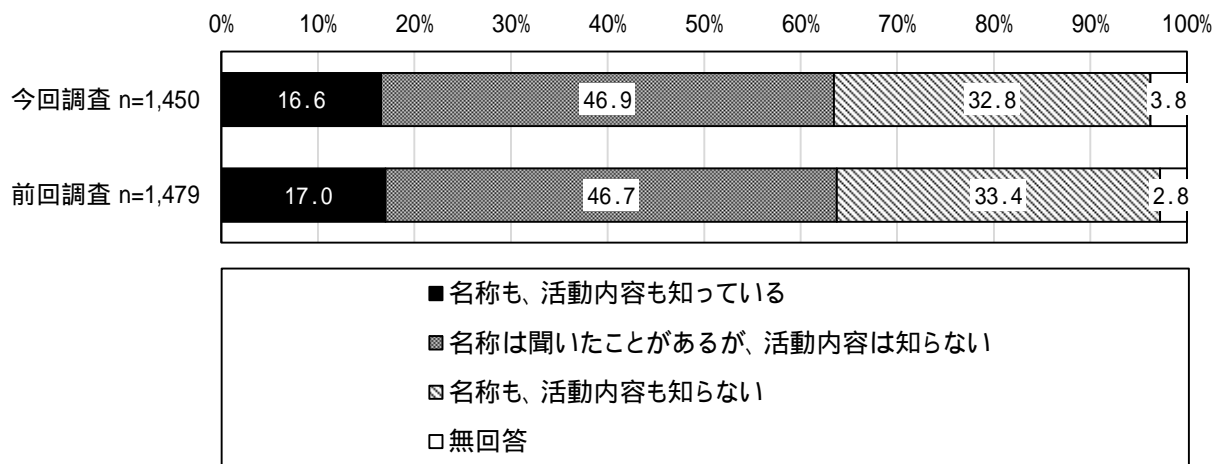


- 援助を必要とする人の自発性を尊重するため、広報等で制度をお知らせし、希望者の申し出により登録する方法
- ▨ 戸別に援助が必要と思われる人を訪問し、制度をお知らせすると同時に、情報登録への同意を求める方法
- ▩ 援助を必要とする人の情報の漏れをなくするため、登録を望まない申出をした人を除き、福祉部局等で収集した情報を市役所、消防、民生委員、自治会等で共有する方法
- ▨ その他
- 無回答

地域福祉にかかわる団体や制度、今後の地域福祉についてお伺いします。

問 38-1 流山市社会福祉協議会の認知度

流山市社会福祉協議会についてご存知ですか。(あてはまるもの1つに)



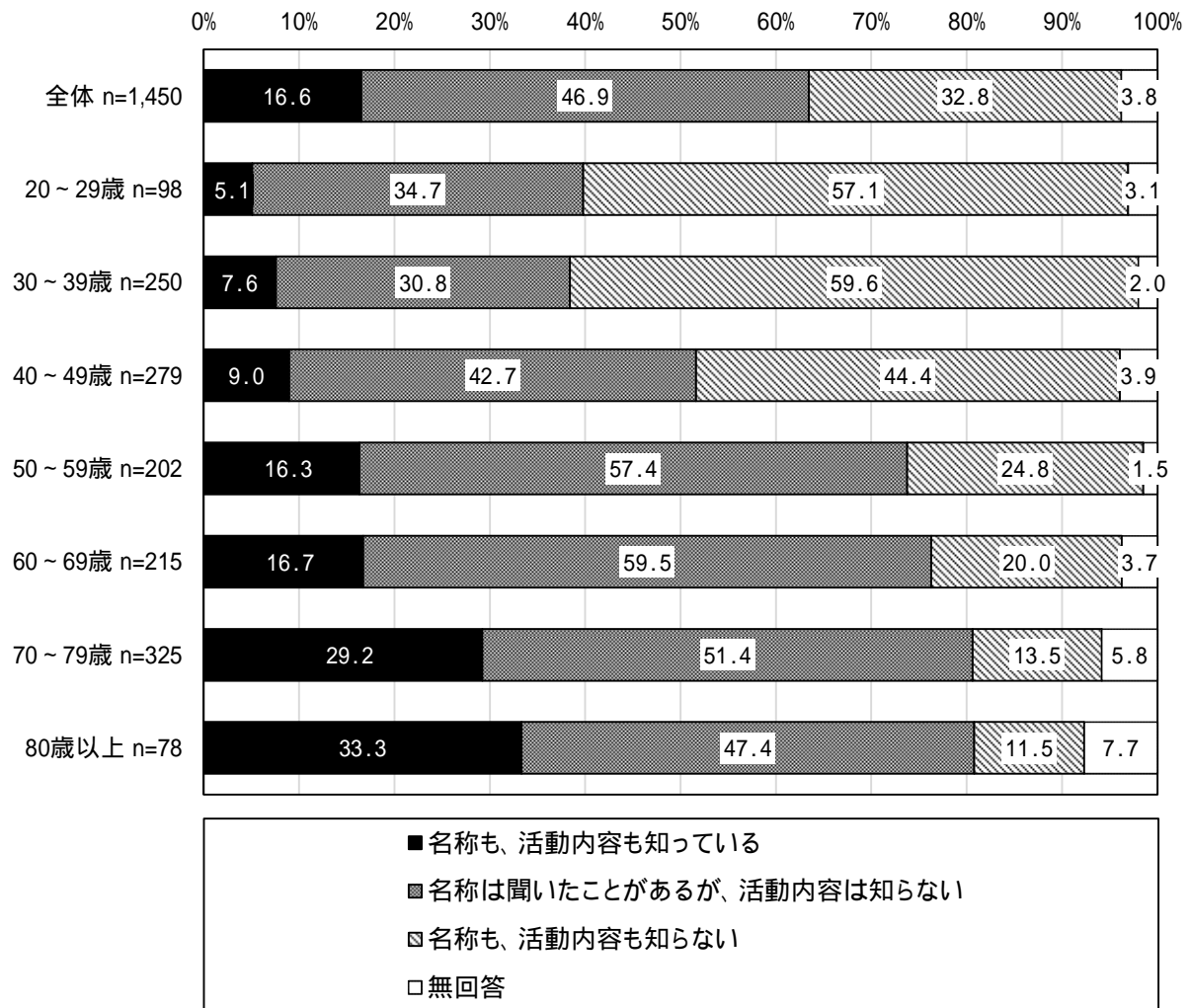
「流山市社会福祉協議会」の認知度は、「名称は聞いたことがあるが、活動内容は知らない」が46.9%と最も高く、「名称も、活動内容も知っている」は16.6%にとどまっています。

また、「名称も、活動内容も知らない」は32.8%と社会福祉協議会を知らない方が3割程度います。

さらに、年代別をみると、年齢が上がるにつれて認知度も高くなっている様子がうかがえます。

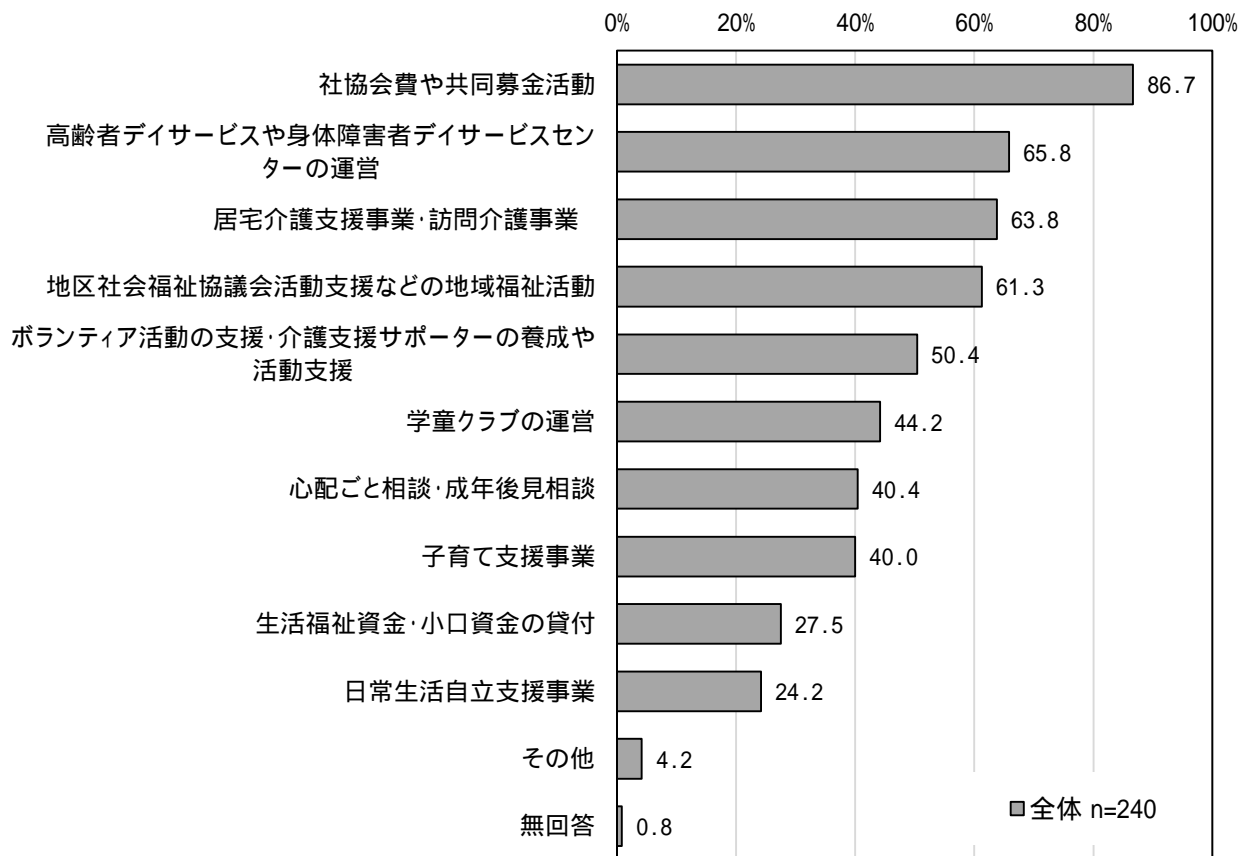
前回調査との比較では、前回と同様の結果となっています。

年代別流山市社会福祉協議会の認知度



問 38-2 社会福祉協議会の活動の認知度

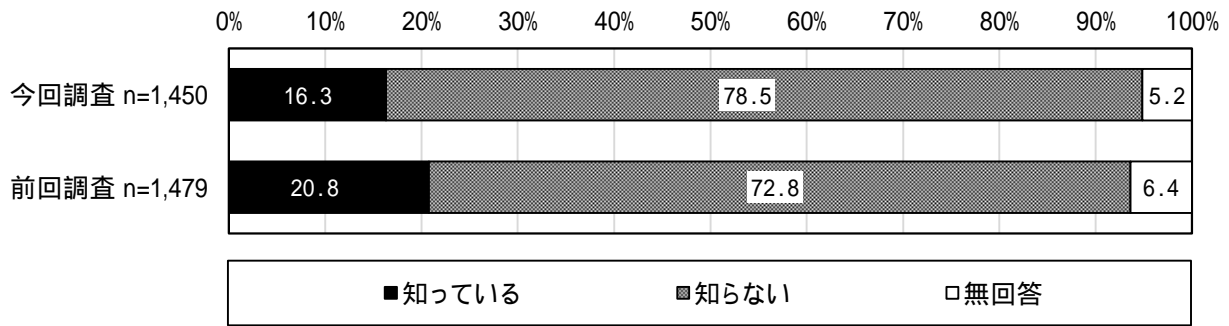
流山市社会福祉協議会の活動として、ご存知のものについてお聞かせください。
 (あてはまるものすべてに)



「流山市社会福祉協議会」の名称も活動も大体知っているとは回答した 240 人に、社会福祉協議会の活動で知っているものについてたずねたところ、「社協会費や共同募金活動」が 86.7%と最も高く、次いで、「高齢者デイサービスや身体障害者デイサービスセンターの運営」が 65.8%、「居宅介護支援事業・訪問介護事業」が 63.8%なっています。

問 39-1 民生委員・児童委員の認知度

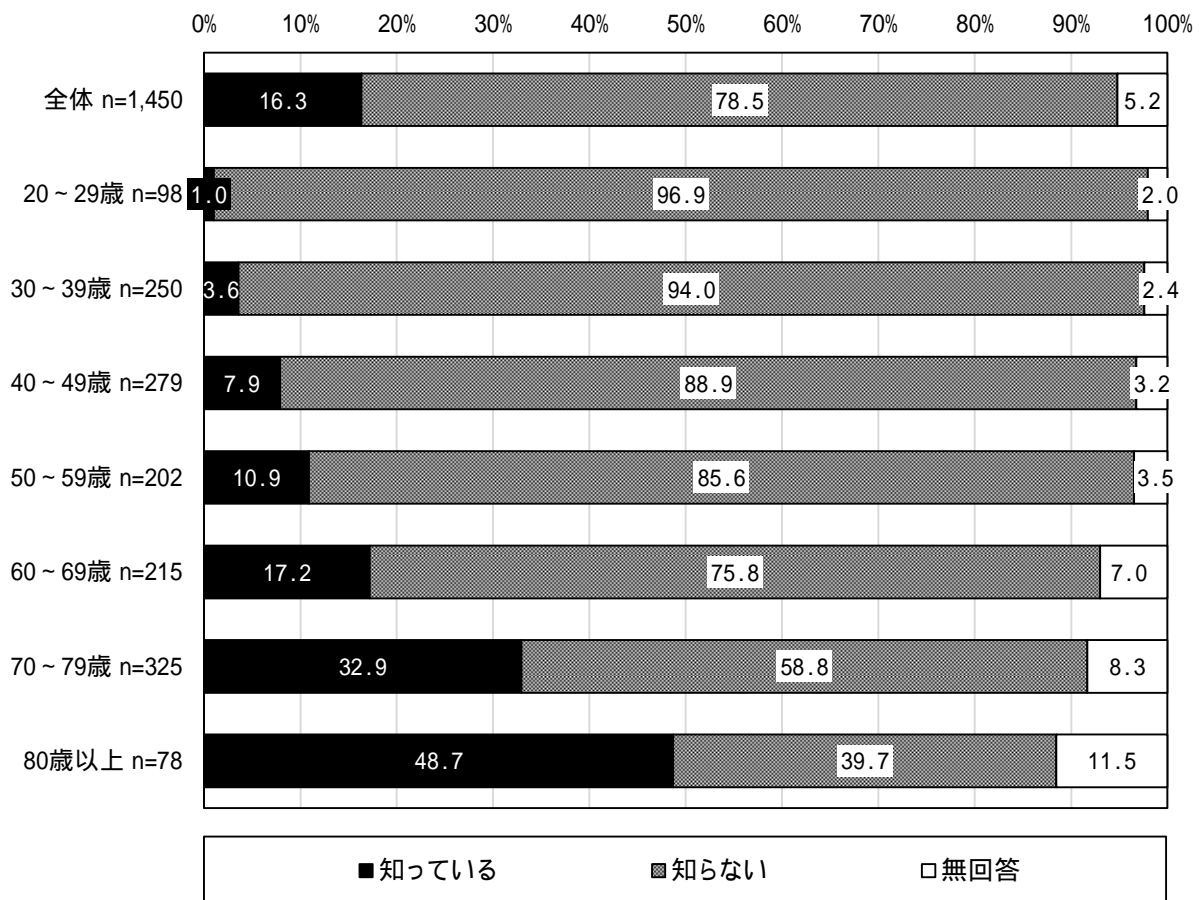
お住まいの地域の民生委員・児童委員が誰かご存知ですか。(あてはまるもの1つに)



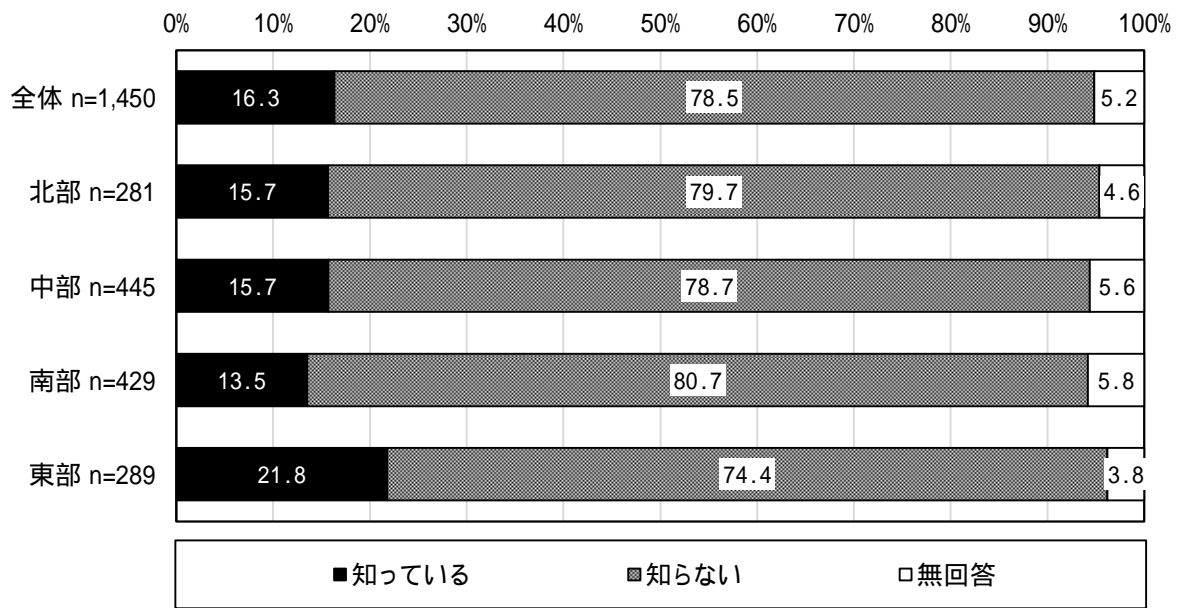
居住地区の担当民生委員・児童委員が誰であるかの認知度は、「知らない」が78.5%と過半数を占めています。

また、年代別では、年齢が上がるにつれて「知っている」の割合が高くなっています。さらに、居住地区別をみると、東部が他の地区と比べて認知度が高くなっています。前回調査との比較では、「知っている」の割合が減少しています。

年代別民生委員・児童委員の認知度

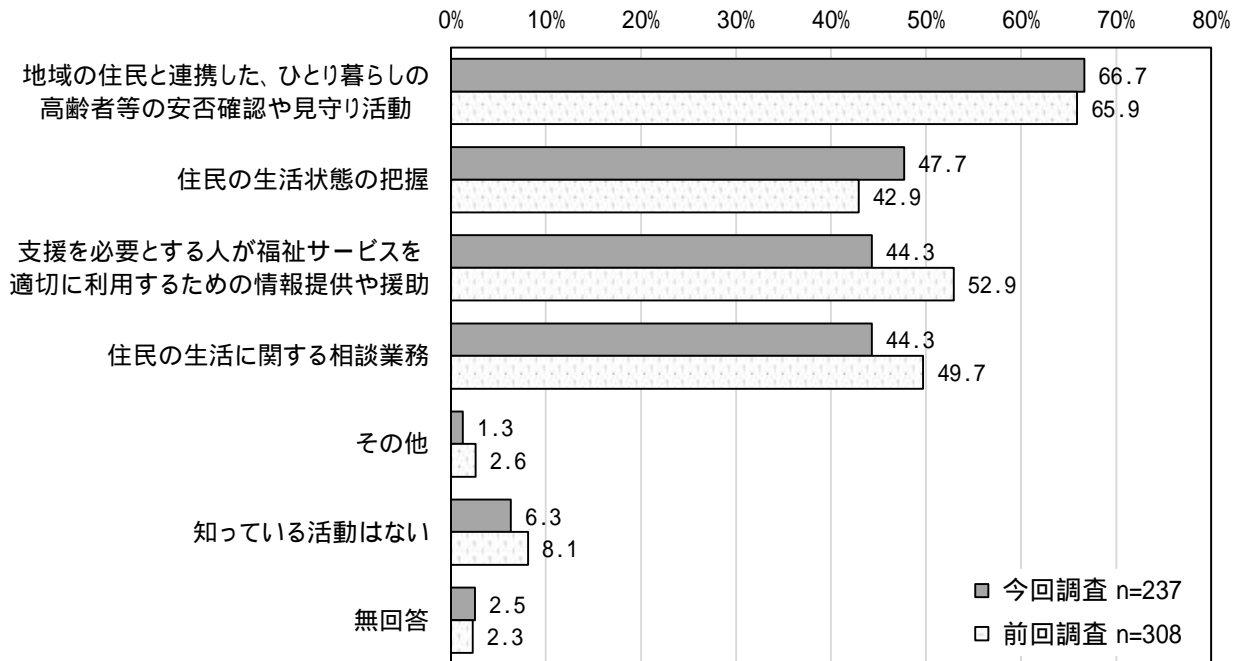


居住地区別民生委員・児童委員の認知度



問 39-2 民生委員・児童委員の活動

民生委員・児童委員の活動として、ご存知のものについてお聞かせください。
 (あてはまるものすべてに)

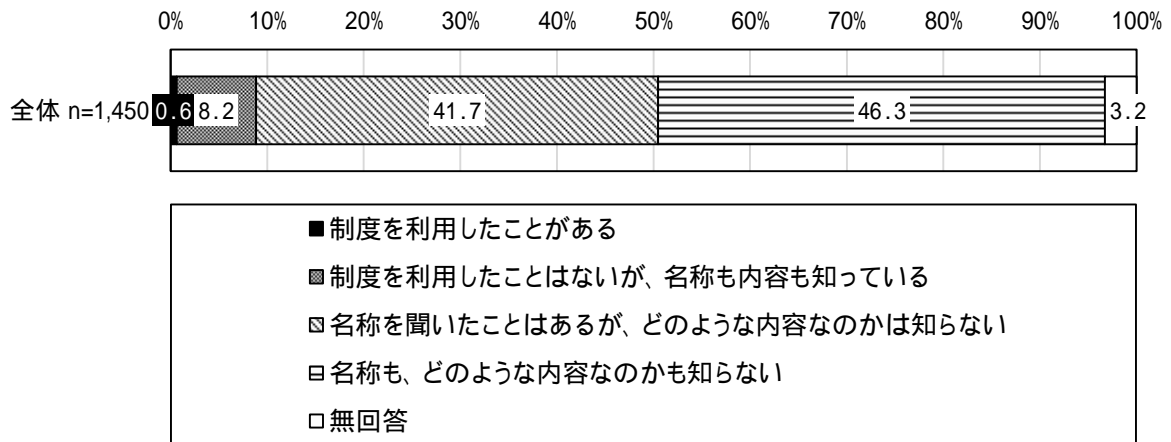


民生委員・児童委員が行っている活動として知っているものは、「地域の住民と連携した、ひとり暮らしの高齢者等の安否確認や見守り活動」が 66.7%で最も高く、次いで「住民の生活状態の把握」が 47.7%、「支援を必要とする人が福祉サービスを適切に利用するための情報提供や援助」、「住民の生活に関する相談業務」がともに 44.3%となっています。

一方、「知っている活動はない」は 6.3%と少なからず見受けられます。

問 40 生活困窮者自立支援制度の認知度

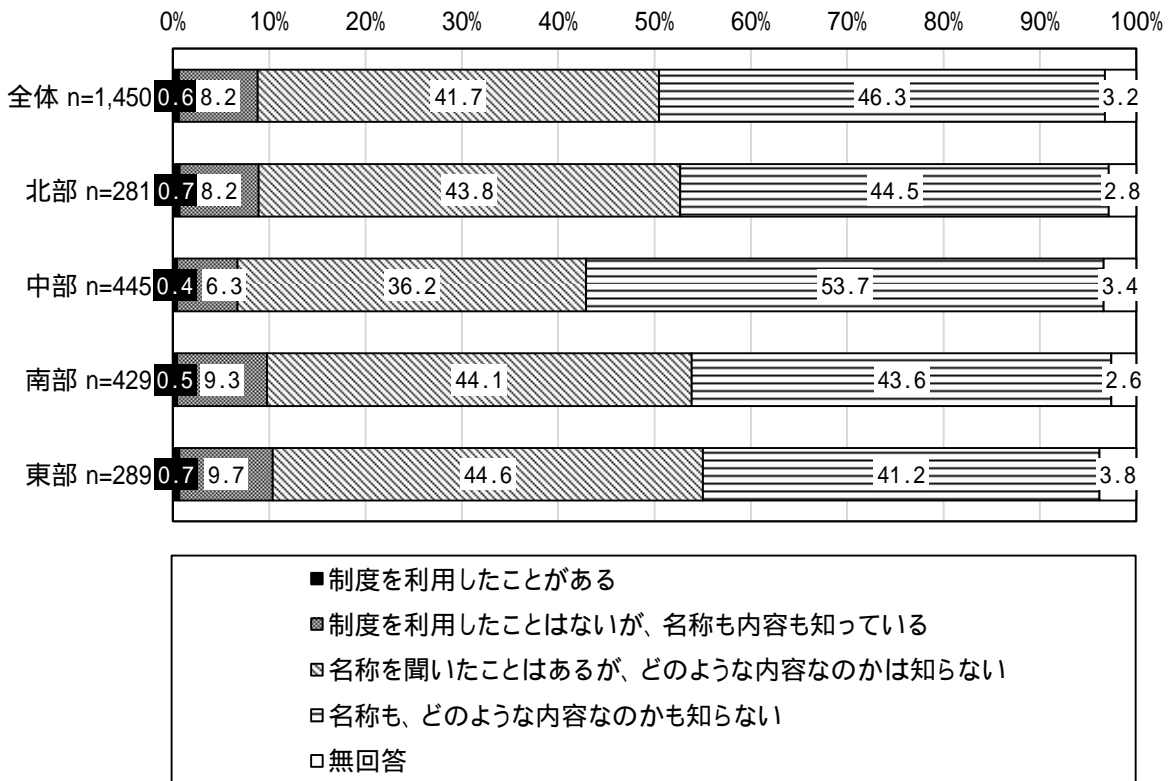
あなたは、生活困窮者自立支援制度についてご存知ですか。(あてはまるもの1つに)



生活困窮者自立支援制度は、「名称も、どのような内容なのかも知らない」が46.3%と最も高く、「制度を利用したことはないが、名称も内容も知っている」は8.2%にとどまっています。

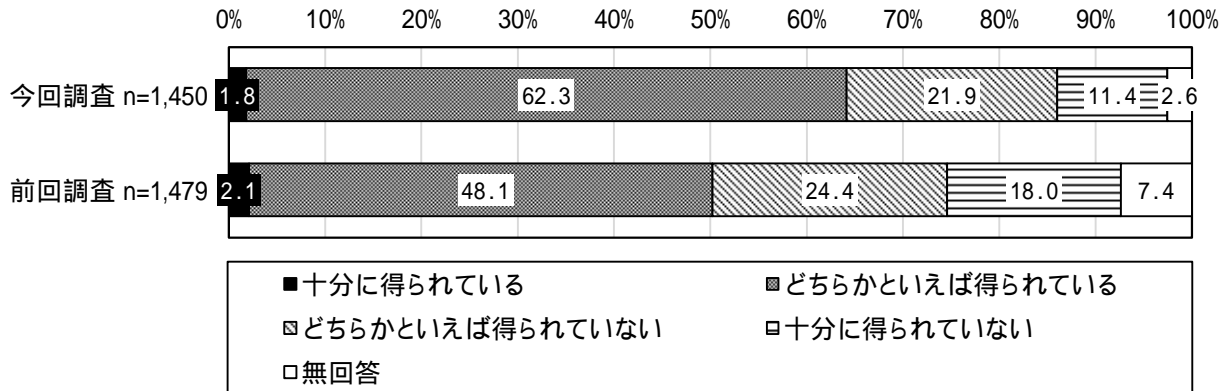
また、居住地区別では、すべての地区で「制度を利用したことがある」、「制度を利用したことはないが、名称も内容も知っている」を合わせた『知っている』が約1割となっています。

居住地区別生活困窮者自立支援制度の認知度



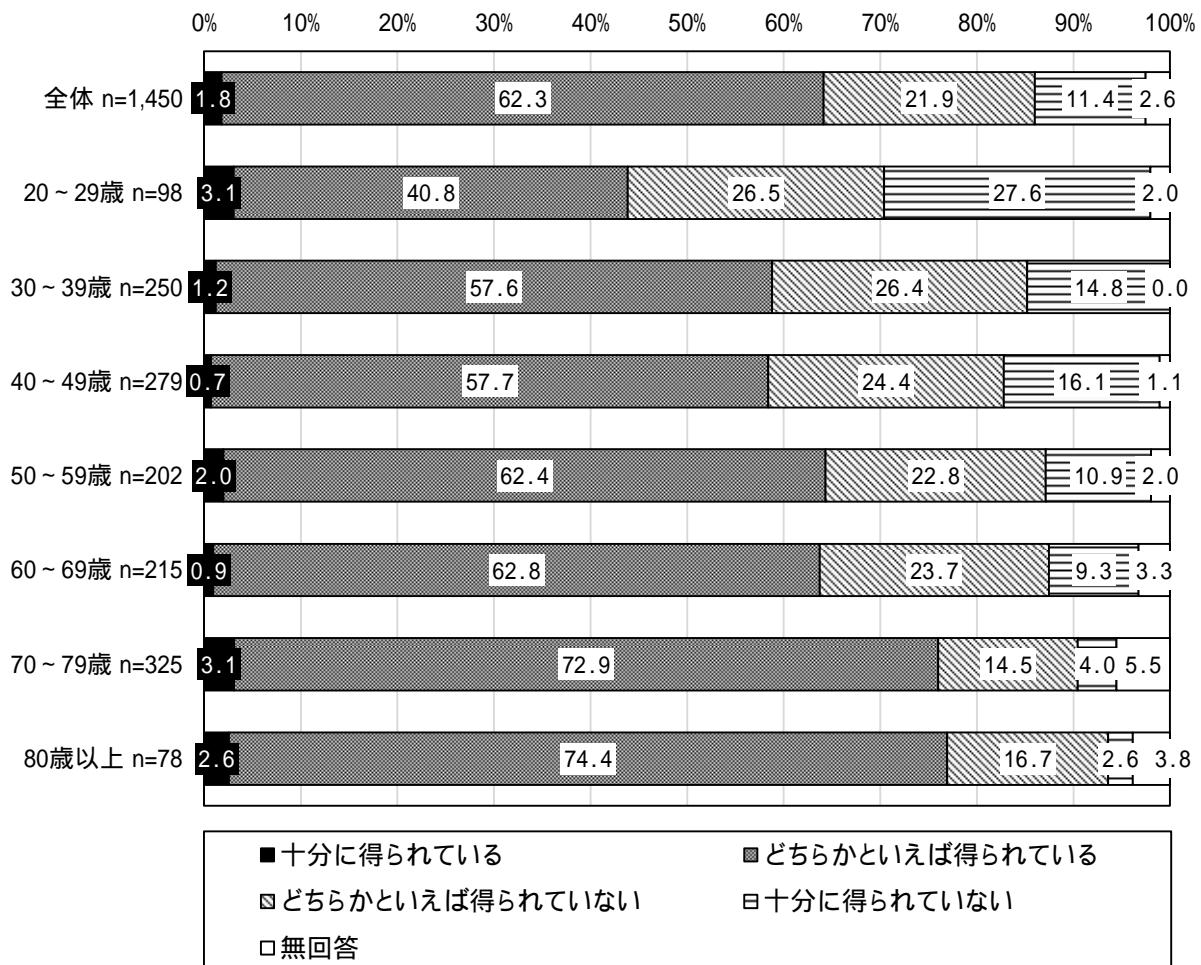
問 41 地域や社会の情報の取得状況

あなたは、地域や社会に関する情報を十分に得られていると思いますか。
 (あてはまるもの1つに、「3」「4」を選んだ場合はその理由も教えてください)



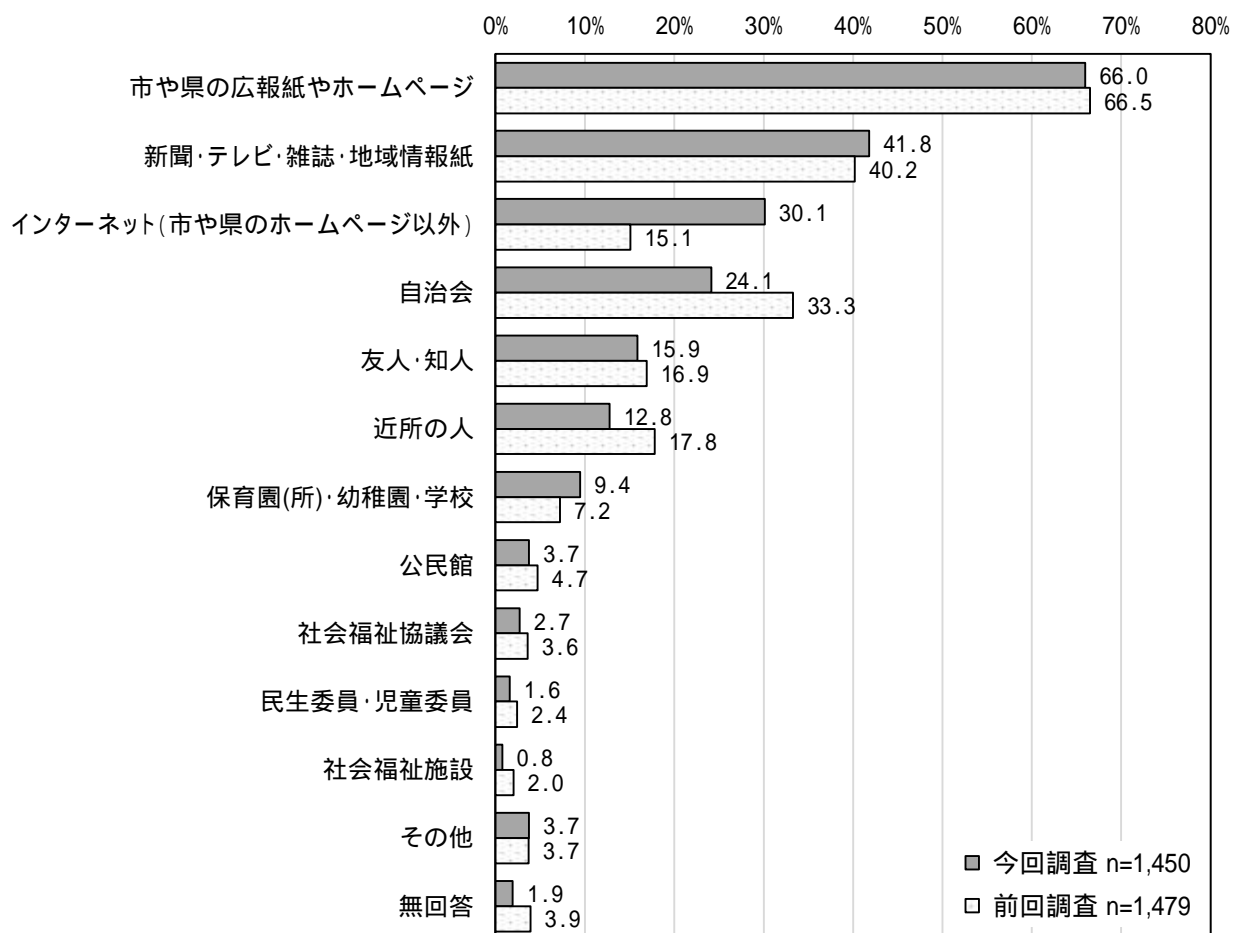
地域や社会に関する情報は、「十分に得られている」(1.8%)、「どちらかといえば得られている」(62.3%)を合わせて64.1%が情報を『得られている』と回答しています。
 また、年代別では、「十分に得られていない」が、20～29歳で高くみられます。
 前回調査との比較では、『得られている』の割合が高くなっています

年代別地域や生活の情報の取得状況



問 42 地域や社会の情報の入手方法

あなたは、地域や社会に関する情報をどこから入手していますか。(あてはまるものすべてに)



地域や社会に関する情報の入手方法は、「市や県の広報紙やホームページ」が66.0%と最も高く、次いで「新聞・テレビ・雑誌・地域情報紙」が41.8%、「インターネット(市や県のホームページ以外)」が30.1%となっています。

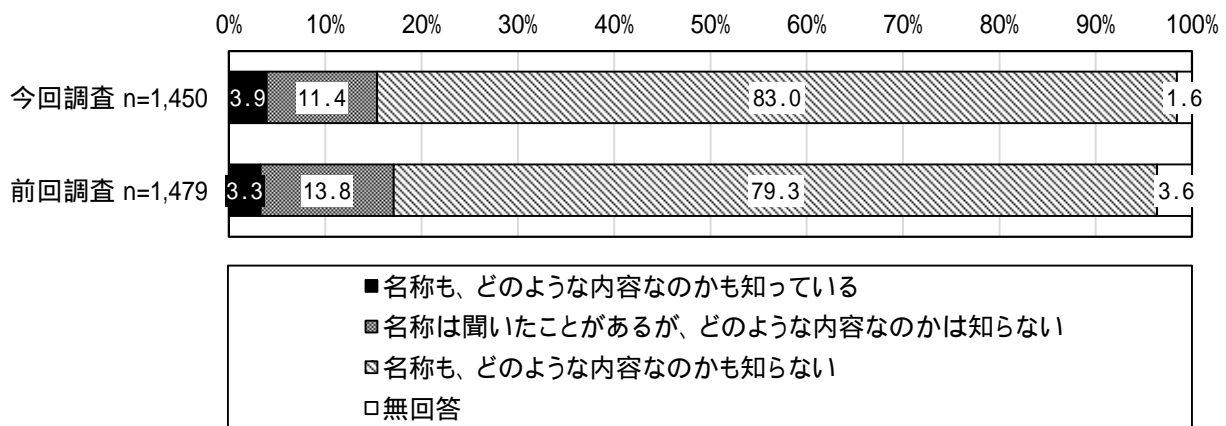
また、年代別では、20～49歳では、「インターネット(市や県のホームページ以外)」、60～69歳では「自治会」、「新聞・テレビ・雑誌・地域情報紙」の割合が比較的高く、すべての年代で「市や県の広報紙やホームページ」が上位に挙がっています。

年代別・居住地区別地域の地域や社会の情報の入手方法

| | | 市や県の広報紙やホームページ | 公民館 | 社会福祉協議会 | 社会福祉施設 | 民生委員・児童委員 | 自治会 | 近所の人 | 友人・知人 | 保育園(所)・幼稚園・学校 | 新聞・テレビ・雑誌・ 地域情報紙 | インターネット (市や県のホームページ以外) | その他 | 無回答 |
|------------|-----------------|----------------|-----|---------|--------|-----------|------|------|-------|---------------|---------------------|---------------------------|-----|-----|
| 全体 n=1,450 | | 66.0 | 3.7 | 2.7 | 0.8 | 1.6 | 24.1 | 12.8 | 15.9 | 9.4 | 41.8 | 30.1 | 3.7 | 1.9 |
| 年代別 | 20～29歳 n=98 | 48.0 | 3.1 | 1.0 | 1.0 | 0.0 | 7.1 | 6.1 | 14.3 | 5.1 | 35.7 | 44.9 | 9.2 | 2.0 |
| | 30～39歳 n=250 | 58.0 | 2.4 | 0.4 | 0.4 | 0.0 | 9.6 | 11.2 | 16.8 | 23.6 | 32.8 | 45.2 | 4.8 | 3.2 |
| | 40～49歳 n=279 | 58.8 | 2.5 | 0.0 | 0.0 | 0.7 | 16.5 | 14.3 | 14.7 | 22.2 | 31.9 | 41.2 | 5.7 | 1.8 |
| | 50～59歳 n=202 | 67.3 | 1.5 | 1.0 | 1.0 | 0.5 | 18.3 | 8.9 | 16.3 | 2.0 | 43.1 | 32.2 | 4.5 | 0.5 |
| | 60～69歳 n=215 | 74.0 | 2.8 | 1.9 | 0.5 | 0.9 | 29.3 | 13.0 | 15.3 | 1.4 | 48.4 | 24.7 | 0.9 | 2.3 |
| | 70～79歳 n=325 | 75.1 | 7.1 | 6.8 | 0.9 | 4.3 | 41.8 | 15.1 | 16.0 | 0.9 | 48.9 | 12.9 | 1.8 | 1.8 |
| | 80歳以上 n=78 | 75.6 | 6.4 | 11.5 | 3.8 | 5.1 | 47.4 | 19.2 | 19.2 | 1.3 | 62.8 | 6.4 | 0.0 | 1.3 |

問 43 福祉サービスの第三者評価の認知度

あなたは、福祉サービスの第三者評価 についてご存知ですか。(あてはまるもの1つに)

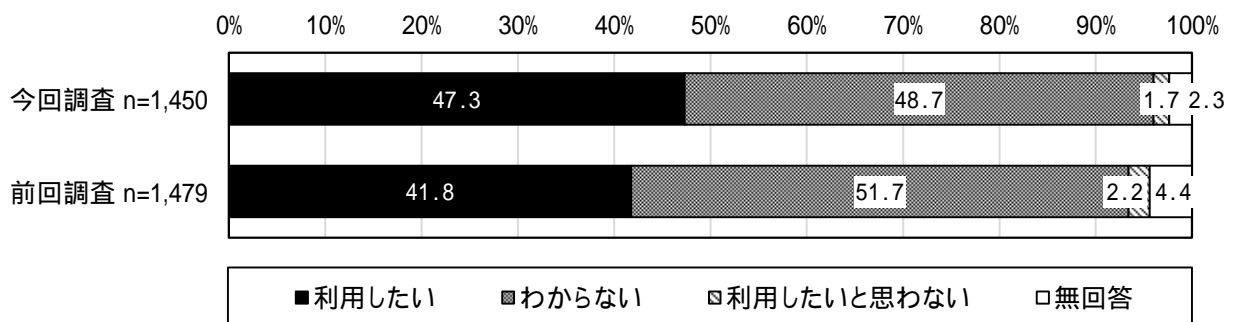


福祉サービスの第三者評価は、「名称も、どのような内容なのかも知らない」が83.0%を占め、多くの人が福祉サービスの第三者評価を知らない現状が浮き彫りとなっています。

前回調査との比較では、前回と同様の結果となっています。

問 44 福祉サービスの第三者評価の評価結果の利用希望

あなたは、福祉サービス事業者(施設)を選ぶときに、第三者評価の評価結果を利用したいと思いますか。(あてはまるもの1つに、「3」を選んだ場合はその理由も教えてください)



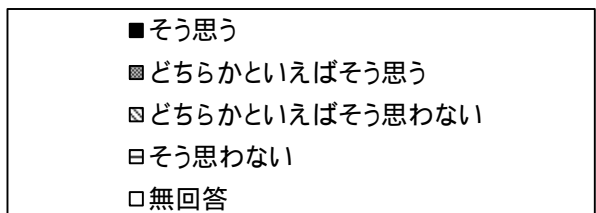
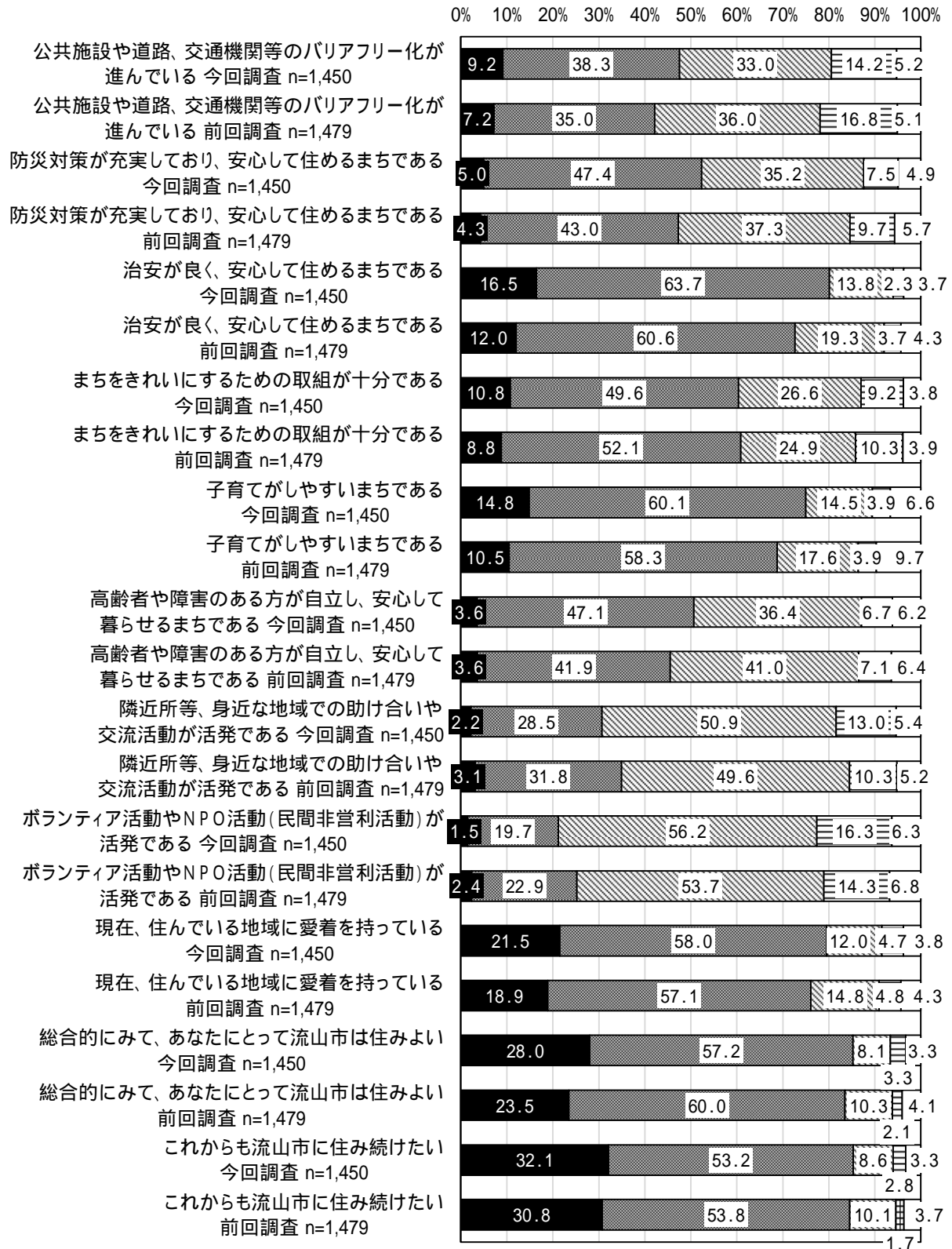
福祉サービス事業者(施設)を選ぶときに、第三者評価による評価結果を利用したいかたずねたところ、「わからない」が48.7%と最も高くなっています。また、「利用したい」が47.3%であるのに対し、「利用したいと思わない」はわずか1.7%であり、利用したいという意向が大きく上回っています。

前回調査との比較では、「利用したい」の割合が高くなっています。

問 45 お住まいの地域や周辺の環境

あなたがお住まいの地域や周辺の環境について、どのように思いますか。

(から の項目について、あなたのお気持ちに一番近い答えの番号1つに)



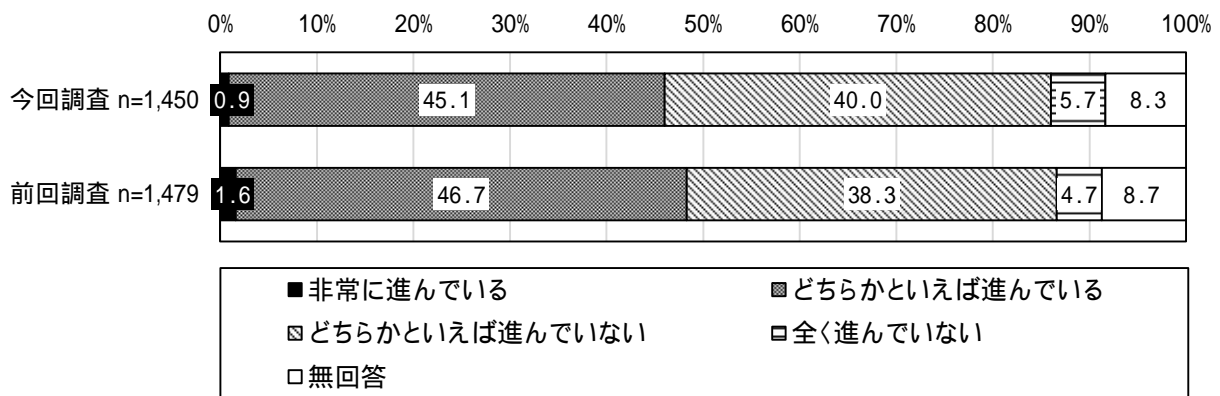
居住している地域や周辺の環境は、「治安が良く、安心して住めるまちである」、「現在、住んでいる地域に愛着を持っている」、「総合的にみて、あなたにとって流山市は住みよい」、「これからも流山市に住み続けたい」で「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合が高く、住み続けたいまちであることがわかります。

一方、「隣近所等、身近な地域での助け合いや交流活動が活発である」や「ボランティア活動やNPO活動(民間非営利活動)が活発である」などは低く、地域福祉推進の必要性が表れています。

前回調査との比較では、「公共施設や道路、交通機関等のバリアフリー化が進んでいる」、「防災対策が充実しており、安心して住めるまちである」、「治安が良く、安心して住めるまちである」、「子育てがしやすいまちである」、「高齢者や障害のある方が自立し、安心して暮らせるまちである」、「現在、住んでいる地域に愛着を持っている」、「総合的にみて、あなたにとって流山市は住みよい」、「これからも流山市に住み続けたい」の割合が高くなっています。

問 46 市民と行政の協働(パートナーシップ)

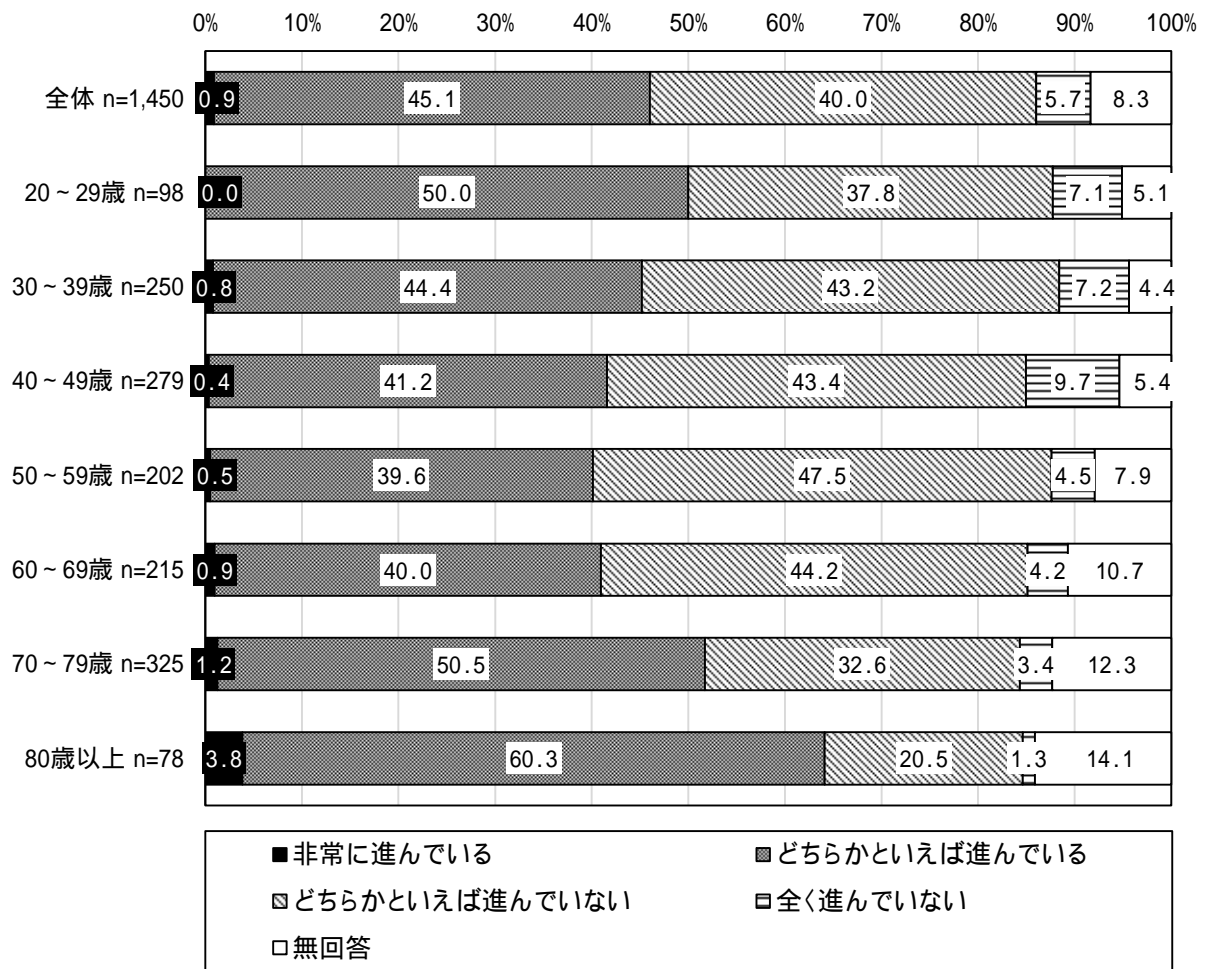
あなたは、流山市の地域福祉に関する市民と行政の協働(パートナーシップ)について、どのように感じていますか。(あてはまるもの1つに)



流山市の地区福祉に関する市民と行政の協働(パートナーシップ)は、「非常に進んでいる」(0.9%)、「どちらかといえば進んでいる」(45.1%)を合わせて46.0%が、協働が『進んでいる』と回答しています。

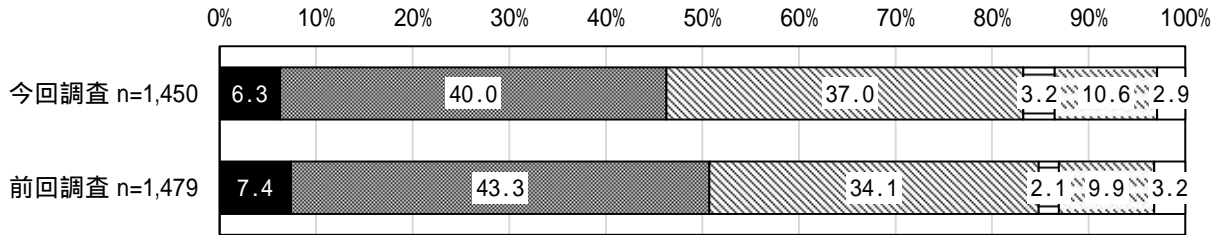
また、年代別では、30~69歳で「どちらかといえば進んでいない」と感じている人の割合が4割を超えています。

年代別市民と行政の協働（パートナーシップ）



問 47 市民と行政との関係

地域での福祉活動を充実させていくうえで、市民と行政との関係はどのようなかたちが望ましいと思いますか。(あてはまるもの1つに)

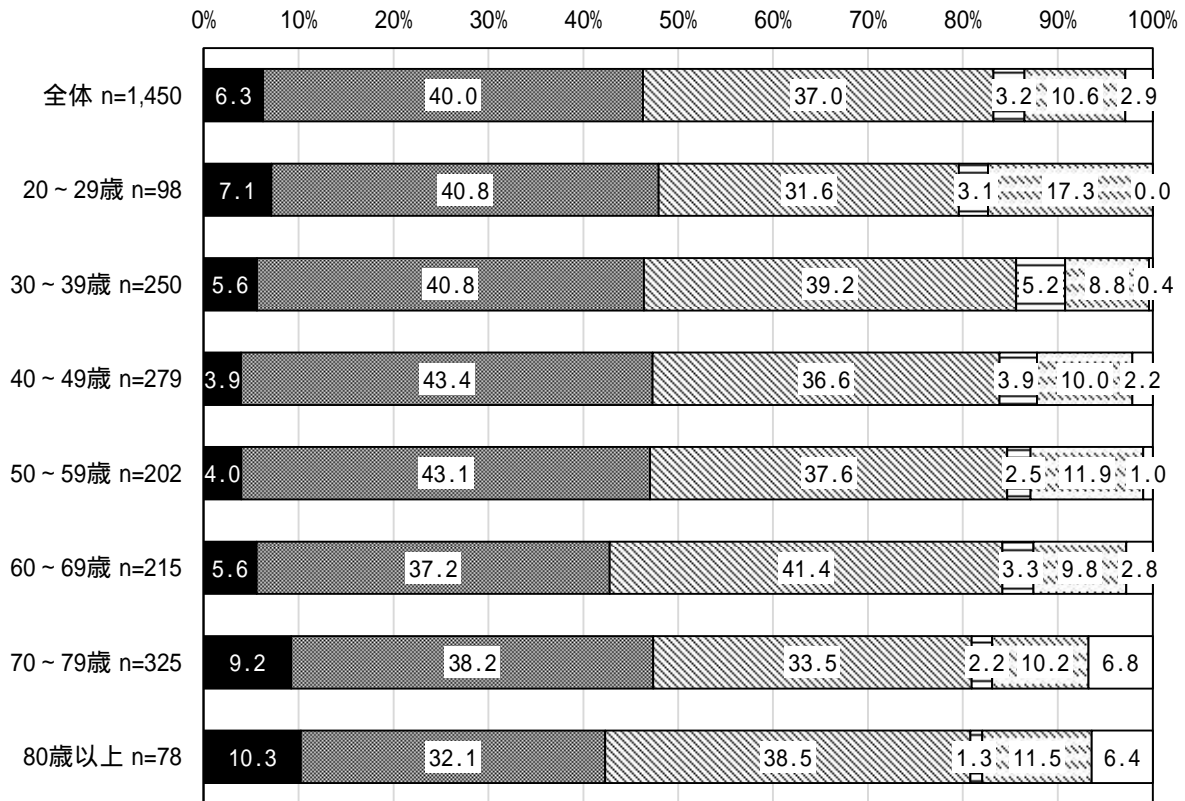


- 住民主導型
(家庭や地域をはじめ住民同士で助け合い、手の届かない部分は行政が援助する)
- ▣ 住民・行政協調型
(住民も行政も同じ立場で協力し合い、ともに取り組む必要がある)
- ▤ 行政主導型
(福祉に関することは行政が行うべきだが、手の届かない部分は住民が協力する)
- 行政単独型
(福祉を充実する責任は行政にあり、住民が協力する必要はない)
- わからない
- 無回答

市民と行政との関係は、住民も行政も同じ立場で協力し合い、ともに取り組む必要があるとする「住民・行政協調型」が 40.0%を占め最も高いものの、福祉に関することは行政が行うべきだが、手の届かない部分は住民が協力するとする「行政主導型」も 37.0%と高くなっています。

また、年代別では、70～79 歳では、「住民主導型」の割合が他の世代より高くなっています。

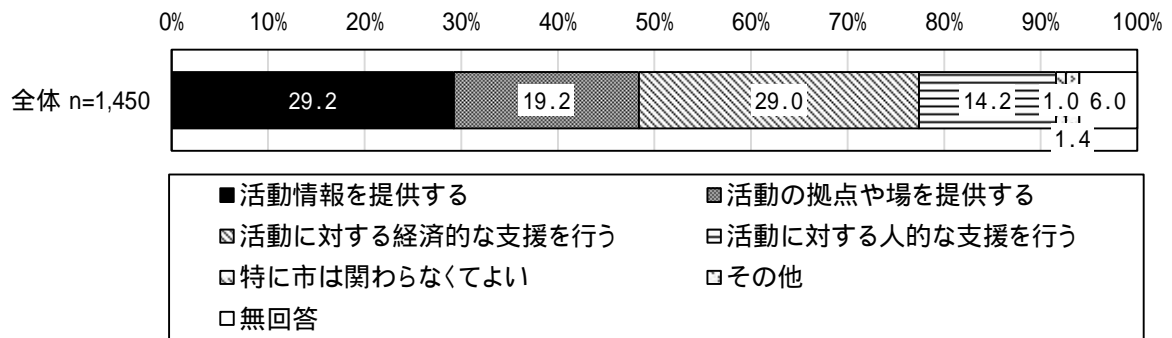
年代別市民と行政の関係



- 住民主導型
(家庭や地域をはじめ住民同士で助け合い、手の届かない部分は行政が援助する)
- 住民・行政協調型
(住民も行政も同じ立場で協力し合い、ともに取り組む必要がある)
- 行政主導型
(福祉に関することは行政が行うべきだが、手の届かない部分は住民が協力する)
- 行政単独型
(福祉を充実する責任は行政にあり、住民が協力する必要はない)
- わからない
- 無回答

問 48 福祉活動に対する支援

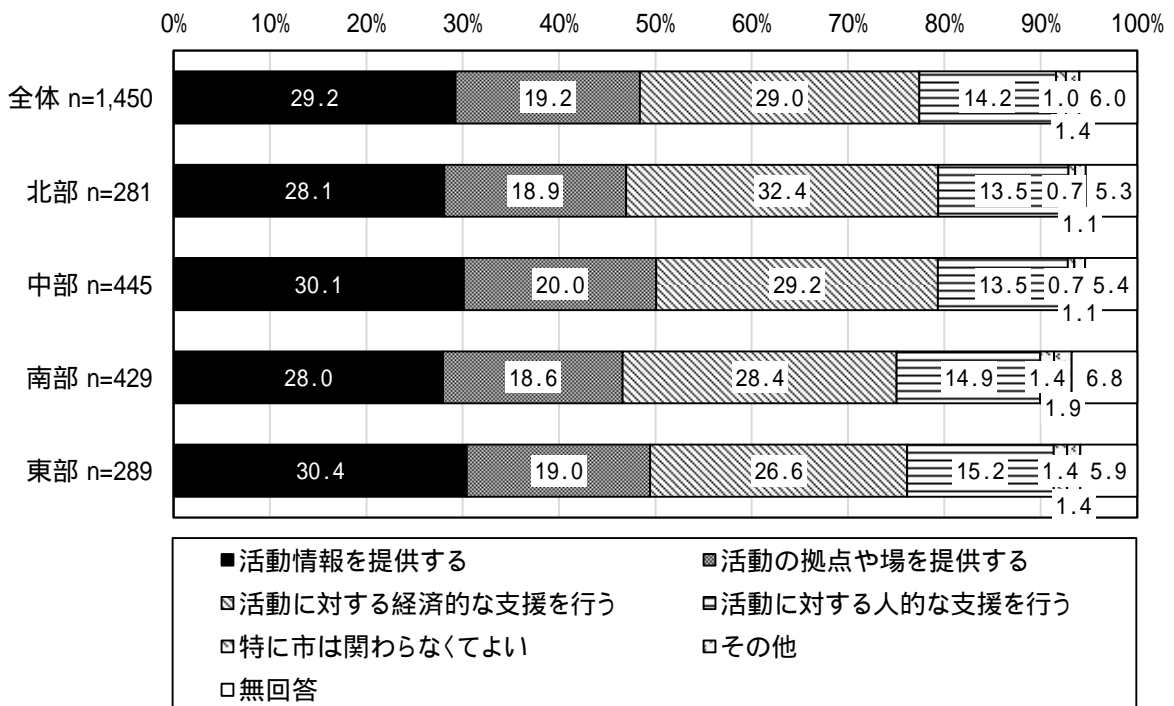
あなたは、地域での福祉活動に対し行政からどのような支援が最も必要だと思いますか。
 (あてはまるもの1つに)



福祉活動に対する支援は、「活動情報を提供する」が29.2%で最も高く、次いで「活動に対する経済的な支援を行う」が29.0%、「活動の拠点や場を提供する」が19.2%となっています。

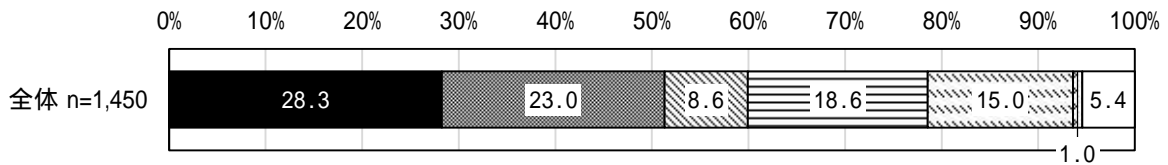
また、居住地区別では、北部、南部では、「活動に対する経済的な支援を行う」の割合が最も高く、中部、東部では、「活動情報を提供する」の割合が、最も高くなっています。

居住地区別福祉活動に対する支援



問 49 相談支援体制の充実

地域共生社会では、様々な生活課題に制度の枠を超えて横断的に対応する相談支援体制が求められます。流山市がそうした相談支援を充実していくうえで、どのような取組に最も力を入れるべきだと思いますか。(あてはまるもの1つに)



- 市役所で多様な相談を総合的に受けられるようにする
- 身近なところで相談できるよう、地域で活動している人や事業所等の相談を充実する
- 相談が必要な人を発見し、窓口につなぐ取組を充実する
- 相談を支援に結び付けられるよう、関係者間のネットワークを充実する
- 相談がしやすいよう、窓口の開設時間の延長や相談を受ける方法の見直しを行う
- その他
- 無回答

相談支援体制の充実は、「市役所で多様な相談を総合的に受けられるようにする」が28.3%で最も高く、次いで「身近なところで相談できるよう、地域で活動している人や事業所等の相談を充実する」が23.0%、「相談を支援に結び付けられるよう、関係者間のネットワークを充実する」が18.6%となっています。

問 50 安心して生活するための取組

誰もが住み慣れた地域で安心して生活していくために、どのような取組が必要だと思いますか。
 (あてはまるものすべてに)



誰もが住み慣れた地域で安心して生活していくためには、「災害に強いまちづくりをすすめる」が57.0%と最も高く、次いで、「安心して子どもを産み育てられる子育て環境を充実させる」が54.7%、「防犯体制が整ったまちづくりをすすめる」が50.9%となっています。

また、年代別では、全体と同様の傾向がうかがえますが20～39歳では「安心して子どもを産み育てられる子育て環境を充実させる」、「手当など金銭的な援助を充実させる」と回答する割合が高くなっています。年齢が上がるにつれて、「隣近所など、周囲の理解と協力による

見守りなどの支援を行う」、「高齢者への支援（介護や生活・自立支援・生きがい対策）を充実させる」といった回答も高くなる傾向がうかがえます。

さらに、居住地区別をみると全体と同様の傾向がうかがえますが、北部では「生活困窮者に対する相談体制の整備や住まいの確保などの支援を充実させる」、中部では、「安心して子どもを産み育てられる子育て環境を充実させる」、南部では、「災害に強いまちづくりをすすめる」、東部では「保健事業（健（検）診・予防接種等）や感染症対策、地域医療体制などを充実させる」が比較的他の地区より高くなっています。

年代別・地区別安心して生活するための取組

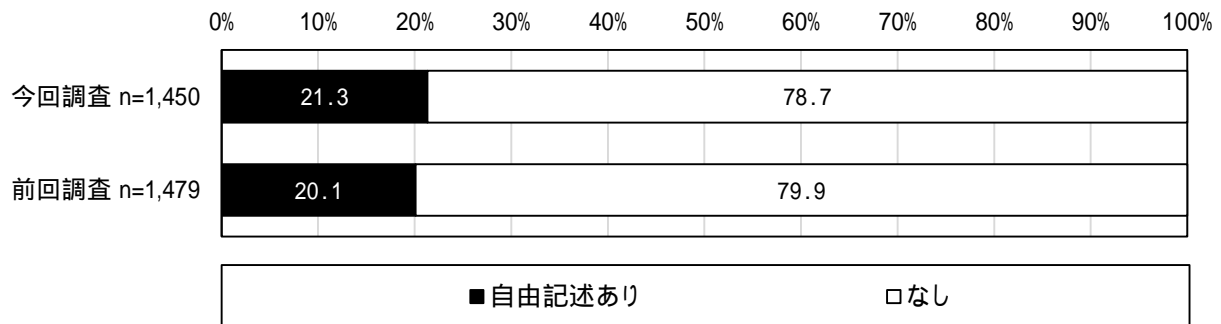
| | | 隣近所など、周囲の理解と協力による見守りなどの支援を行う | 地域活動（自治会等）を充実させる | ボランティア団体やNPO法人など市民活動を充実させる | 高齢者や障害のある方が地域で活動できる機会をつくる | 人が集まり、気軽に相談できる場を充実させる | 健康や福祉についての情報提供を充実させる | 住民がお互いに支え合い助け合えるまちづくりをすすめる（住民同士や行政との協力等） | 健康づくりや生きがいがづくりの活動が盛んなまちづくりをすすめる | 自宅での生活を支援する在宅福祉サービスを充実させる | 高齢者への支援（介護や生活・自立支援・生きがい対策）を充実させる | 障害のある方への支援（介護や生活・自立支援）を充実させる | 成年後見制度の周知や市民後見人の育成など、権利を守るための支援を充実させる | 安心して子どもを生み育てられる子育て環境を充実させる | 虐待に関する相談体制の整備など虐待防止の取組をすすめる |
|------------|-----------------|------------------------------|------------------|----------------------------|---------------------------|-----------------------|----------------------|--|---------------------------------|---------------------------|----------------------------------|------------------------------|---------------------------------------|----------------------------|-----------------------------|
| 全体 n=1,450 | | 36.4 | 23.7 | 17.0 | 32.0 | 35.0 | 40.7 | 28.4 | 34.3 | 35.1 | 46.8 | 36.9 | 11.0 | 54.7 | 26.0 |
| 年代別 | 20～29歳 n=98 | 34.7 | 17.3 | 15.3 | 27.6 | 38.8 | 35.7 | 20.4 | 27.6 | 20.4 | 29.6 | 35.7 | 17.3 | 64.3 | 34.7 |
| | 30～39歳 n=250 | 34.0 | 17.2 | 14.8 | 27.2 | 37.2 | 34.0 | 28.0 | 33.6 | 27.2 | 38.0 | 35.6 | 8.0 | 75.2 | 31.6 |
| | 40～49歳 n=279 | 33.7 | 16.8 | 15.1 | 34.4 | 35.1 | 37.3 | 25.1 | 28.7 | 30.8 | 43.7 | 37.3 | 6.5 | 58.4 | 24.7 |
| | 50～59歳 n=202 | 30.2 | 16.3 | 21.8 | 34.7 | 30.2 | 39.6 | 27.7 | 33.2 | 46.0 | 55.0 | 41.6 | 15.3 | 48.0 | 26.7 |
| | 60～69歳 n=215 | 40.0 | 26.0 | 20.0 | 34.9 | 35.8 | 52.6 | 29.8 | 40.9 | 40.9 | 53.5 | 38.1 | 11.2 | 51.6 | 24.7 |
| | 70～79歳 n=325 | 40.3 | 33.2 | 15.4 | 32.0 | 33.8 | 41.5 | 32.0 | 36.0 | 37.5 | 48.9 | 34.5 | 11.4 | 42.8 | 22.8 |
| | 80歳以上 n=78 | 44.9 | 47.4 | 20.5 | 29.5 | 37.2 | 46.2 | 35.9 | 42.3 | 38.5 | 59.0 | 34.6 | 15.4 | 39.7 | 16.7 |
| 地区別 | 北部 n=281 | 34.5 | 21.7 | 15.7 | 32.0 | 32.0 | 42.3 | 27.8 | 34.5 | 38.1 | 45.9 | 36.7 | 11.7 | 50.9 | 24.9 |
| | 中部 n=445 | 41.1 | 25.6 | 19.6 | 34.2 | 36.6 | 42.7 | 29.2 | 39.8 | 33.7 | 45.8 | 37.5 | 11.5 | 59.6 | 28.5 |
| | 南部 n=429 | 34.5 | 20.5 | 17.2 | 31.9 | 36.8 | 37.1 | 27.0 | 31.0 | 33.6 | 47.1 | 37.1 | 11.0 | 54.8 | 24.2 |
| | 東部 n=289 | 33.9 | 27.0 | 14.2 | 28.7 | 32.9 | 40.8 | 30.1 | 30.8 | 36.3 | 49.1 | 35.6 | 9.7 | 51.2 | 25.6 |

年代別・地区別安心して生活するための取組

| | | 福祉サービス提供事業者の育成や連携をすすめる | 手当など金銭的な援助を充実させる | 生活困窮者に対する相談体制の整備や住まいの確保などの支援を充実させる | 就労に関する相談体制の整備や情報の提供などの支援を充実させる | 罪を犯した人の立ち直りを支え、社会復帰ができるよう支援を行う | 交通の利便性の確保をすすめる | 公共施設や交通機関、道路の段差解消など、バリアフリー化をすすめる | 災害に強いまちづくりをすすめる | 防犯体制が整ったまちづくりをすすめる | 保健事業（健検・予防接種等）や感染症対策、地域医療体制などを充実させる | その他 | 特にない | 無回答 |
|------------|-----------------|------------------------|------------------|------------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|----------------|----------------------------------|-----------------|--------------------|-------------------------------------|-----|------|-----|
| 全体 n=1,450 | | 21.2 | 31.4 | 22.0 | 20.9 | 9.7 | 40.6 | 41.0 | 57.0 | 50.9 | 50.8 | 1.8 | 1.7 | 2.3 |
| 年代別 | 20～29歳 n=98 | 20.4 | 58.2 | 23.5 | 28.6 | 11.2 | 45.9 | 42.9 | 59.2 | 57.1 | 52.0 | 2.0 | 3.1 | 1.0 |
| | 30～39歳 n=250 | 18.4 | 44.4 | 18.4 | 19.2 | 9.2 | 43.6 | 47.2 | 59.2 | 51.6 | 48.8 | 2.0 | 0.8 | 0.8 |
| | 40～49歳 n=279 | 20.1 | 33.3 | 15.4 | 16.8 | 7.5 | 40.5 | 39.1 | 57.0 | 53.8 | 48.0 | 1.8 | 1.4 | 1.4 |
| | 50～59歳 n=202 | 22.8 | 29.2 | 26.2 | 31.7 | 9.9 | 39.1 | 40.1 | 61.4 | 52.5 | 46.5 | 1.0 | 1.5 | 2.5 |
| | 60～69歳 n=215 | 26.0 | 22.8 | 24.2 | 18.1 | 10.7 | 38.1 | 42.3 | 60.9 | 49.8 | 55.3 | 1.4 | 2.3 | 2.8 |
| | 70～79歳 n=325 | 20.3 | 20.0 | 25.5 | 19.1 | 10.2 | 38.2 | 38.2 | 52.0 | 46.2 | 52.6 | 2.2 | 1.5 | 4.0 |
| | 80歳以上 n=78 | 23.1 | 26.9 | 24.4 | 17.9 | 11.5 | 46.2 | 37.2 | 44.9 | 51.3 | 56.4 | 2.6 | 2.6 | 2.6 |
| 地区別 | 北部 n=281 | 16.7 | 28.8 | 24.2 | 21.0 | 8.5 | 38.4 | 37.4 | 51.2 | 49.5 | 50.9 | 1.4 | 2.8 | 2.5 |
| | 中部 n=445 | 23.8 | 33.9 | 20.4 | 20.7 | 10.8 | 40.4 | 42.7 | 55.5 | 55.3 | 54.8 | 2.5 | 1.1 | 1.8 |
| | 南部 n=429 | 20.7 | 32.9 | 23.8 | 20.7 | 10.3 | 38.0 | 41.0 | 64.3 | 49.4 | 46.4 | 1.6 | 0.9 | 2.3 |
| | 東部 n=289 | 22.5 | 28.0 | 20.1 | 21.5 | 8.3 | 47.4 | 42.2 | 53.6 | 48.4 | 50.9 | 1.4 | 2.4 | 2.4 |

問 51 自由記述

あなたは、地域での福祉活動に対し行政からどのような支援が最も必要だと思いますか。
 (あてはまるもの1つに)



自由記述は、309人(21.3%)から回答がありました。

北部

| | |
|-------------------|---|
| 男/20～29歳 | 運河駅にホームドアの設置等含め運河駅東口の歩行者用信号機の設置。最後に、ぜひ実行の方よろしくお願ひいたします。 |
| 男/20～29歳 | 高齢に向けてスマホ教室を開き市全体でIT化を進める。 |
| 女/20～29歳 | 近所の公民館に出入りするお年寄りの運転が危なっかしくて心配。軽い交通誘導をして欲しい。交通量の多い道に出る時、角の家の植木が長くて安全確認が出来ない事がある。できれば植木を切っ欲しいが誰に相談すれば良いか。近所の子どもがいわゆる「道路族」で車に対する警戒心が全くない。ご近所さんなので言いにくい警察に言うのは大げさな気がする。誰に言えば対応してもらえるのか。 |
| 女/20～29歳 | コロナに関する支援制度や給付金等、市で行っているものがほとんどなくて困っています。市役所に問い合わせても市が何かやっていることはないと言われてました。他の市(県内)では対応が早かったり相談等も出来ましたが流山市は何一つとして助成制度や支援制度が無く、とても残念で失望しました。どの年代、家族構成の市民も平等に受けられる制度を作っ欲しいです。市内にあるお店(飲食店や自営業等)にも何かしら支援をして欲しいです(コロナ関連)。そういった支援が有るならば市民全員が分かるようにアナウンスをして欲しいです。コロナで生活が苦しくなっている人が沢山います。是非検討して下さい。お年寄りばかりではなく働く若者向けの制度も有ると有り難いです。 |
| 女/20～29歳 | 引きこもりの友人の母親が市に支援をお願いしても担当の方が次々変ってしまい、また初めからの対応になってしまい変化が現れないと言っていました。 |
| 答えたくない /30～39歳 | おおたかの森付近だけでなく流山市全体の活性化をお願いしたい。そして、税を上げるのではなく住みやすさを考えて欲しい。住民が増えているのはおおたか、初石、西平井など偏りすぎる。道や交通面でも土地や空き家の整理も、市全体を行ってほしい。 |

| | |
|----------|--|
| 男/30～39歳 | 産前、産後の講習会(両親学級、離乳食講座など)は、仕事や子育て等で会場に行けない場合もあるので、オンラインあるいはインターネット動画配信としてほしい。 |
| 女/30～39歳 | 公共機関をバリアフリーにしてほしい。高齢者の在宅支援をしてほしい。 |
| 女/30～39歳 | 夏はとても暑くて外で子どもを遊ばせるのが危険です。室内で体を動かせる施設がおおたかの森駅周辺にあるとよいです。 |
| 女/30～39歳 | 医療従事者なので福祉サービスについて多少知識があるが、そうでない人が情報を細かく把握するのは難しいと感じる。コロナ感染者情報が毎日メールで送られてくるのが大変有難く、今後もぜひ継続してほしい。 |
| 男/40～49歳 | 近所に一人暮らしの高齢者が増えている。心配な人もいるし、しっかりしてる人もいるが、声をかけてよいのか考えてしまう。生活保護を不当に受けているのではないかと思う人がいる。きちんと聞き取りをしてほしい。自治体ごとに全体を把握してくれている人がいれば、その人がみんなに声掛けなどの要望を発信してくれればよいと思う。 |
| 男/40～49歳 | 行政に意見や要望するばかりでなく、自助・公助の意識を市民各自が持つべき。老若男女が自立することが大事。税金をきちんと納め、行政の援助や支援を受けずに懸命に頑張っている市民が不平等さを感じず、納得できる福祉を望む。若い時に自分の都合で仕事を転々とした、納付すべき年金を納めずにいた、若気の至りで先のことも考えず子どもを産んだ等その結果、生活保護になり、高齢になって経済的に困窮する、シングルマザーになって自立できない。だから行政に「助けてください」は間違っていると思う。若い時から嫌なことがあっても仕事を頑張って、将来に備えて頑張っている人が、馬鹿馬鹿しく思えるような支援はいかがかと思う。 |
| 男/40～49歳 | 高齢者施設入所等に関わる金銭面の援助。福祉、高齢者施設で働く方の待遇の向上。 |
| 男/40～49歳 | 行政がこの様なアンケートを行うなどの意識を持ったことを喜ばしく思う。人員、予算、場所等を確保して高齢者を中心に時間に余裕がある世代が担って欲しい。 |
| 男/40～49歳 | できる事なら訪問して安否確認や困ったことの手助けをしてもらえれば助かると思いますが、このご時世で訪問するのにあたって詐欺事件が多発している為、信用性に欠けるところがネックです。 |

| | |
|----------|--|
| 女/40～49歳 | 乳幼児、小さな子どもの育児に対する大変さは注目もあり理解もあり、支援を受けたり相談できる所があるように感じ、私自身もこれまでの生活の中で不安を感じた事はありません。しかし40代に入り子どもの成長に伴い子育ての難しさや経済的な負担は大きくなっていますが、支えは薄くなってきているように感じます。加えて親世代が高齢となり様々な心配や負担を抱えるようになりました。児童手当を中学生まで頂いていますが本当に必要になってくるのは高校生以上です。せめて18歳までの支給が叶わないかと思います。育児には手が離れてきますが親に介護が必要になってきて、働きたくても思うように働けない状況です。40～50代の世代では同様の問題を抱えている家族があるのでは...と思います。 |
| 女/50～59歳 | 特にありませんが、コロナが落ち着いたら、皆で集まれる楽しい場所があると良いですね。 |
| 女/50～59歳 | 小中学生のうちに地域福祉に馴染みがなければ、福祉の存在を知る機会がないと思います。(その後学業や仕事・遊びに忙殺され、困った事があってはじめてその存在を思い出す)。 |
| 女/50～59歳 | 道路や公園など、街灯(電気)が暗いので明るくして欲しいですね。 |
| 女/50～59歳 | 自治会も高齢化が進み、何をやるというわけではなく、自治会館の存続と自治会費の管理が主な仕事になっている。認知症だと思われる方が近所にもいて、何もされていない。老老介護では、他人の世話すらできる体力はない。自分のことで精一杯の状況。離れて生活している子や兄弟姉妹は連絡をとったりしてあげているんだろうか、近所同士で助け合うまえに、自分の家族を守る責任を、若い世代に伝えるべきだと思う。 |
| 女/50～59歳 | このアンケートに参加出来て感謝いたします(知らない事も有ったので)。コロナウイルスで生活費を稼ぐのに必死です(遠くにいる親の所にも通っているの)。最近一番気になるのは子どもの事件、それと親の子どもに対する虐待です。母親学級等で、虐待された子どもはどうなるのかを教えてくださいたいです。一人親も多いので行政で出来る事は知らせてあげると良いと思います。困った時の相談窓口などは自治会のものが貼ってあるボードみたいなものがあると良いと思います(相談窓口が電話がつながると良いのですが)。流山市は子育てしやすいまちのイメージが有るので、公園の所などに情報があると良いと思います。(コロナウイルスの相談窓口なども) |
| 女/50～59歳 | 地域福祉に対して全く無関心だったことに気付いた。もう少し関心を持って情報を得たいと思った。 |
| 女/50～59歳 | ここ数年で空き家が目立つようになってきました。防犯上からも、あまり良いものではないと思います。 |
| 女/50～59歳 | 道が悪い。子どもやお年寄りが安心して歩ける道が少ない。車イスやベビーカーで通るのが難しいデコボコの道が多い。新しい街にばかりお金を使わず昔からの街も施設等設置して欲しい。 |

| | |
|----------|---|
| 女/50～59歳 | 福祉について、多くの人は自分が困ったり体が不自由になったり、高齢になったりと、何か必要になった時に初めて知ったり、調べたりすると思います(家族も含めて)。その時になって慌てて相談という事にならないように、または相談がしやすかったり、何時でも出来たりすることが、必要だと思う。 |
| 女/50～59歳 | 今回このアンケートをするにあたり、かなり考えて丸をする問がありました。これだけスラスラと回答出来ないという事は、自分が日頃いかに地域福祉の事など頭のない日常を過ごしているかという事を実感しました。実際に自分が地域福祉に貢献できるゆとりのある方や福祉を必要とする状態にある方が、アンケートに真剣に向き合えたのではないかと思います。色々な年齢の方をお願いしているアンケートだと思いますので、私のようなものがいてもいいのかなとは思いますが、何年前にもこの様なアンケートに答えた記憶が有り、その時もかなり考えて丸をつけました。ランダムに選出されているのかとは思いますが、私は2度目なのに周りには一度もこの様なアンケートが来ていない方もいます。偏りのないようお願いしたいです。 |
| 男/60～69歳 | 生活保護費が十分ではない。これでは文化的な生活などできない。食うだけの生活では夢も希望もないです。 |
| 男/60～69歳 | 地域福祉に関することはあまり考えていませんでしたが、近年のコロナ感染状況を見ていると、高齢者、障害者などの生活弱者の生活が厳しい状況が続いています。市政の力で弱者に優しい政策をよろしく願います。自殺者も増えています。過去に記憶のない疫病が蔓延していますが、市民への協力をもっとアピールしたほうが良いと思います。例えば、野田市の方で仕事をしていますが、拡声器スピーカーでコロナウイルス拡散防止の放送が頻繁にメッセージされます。それを聞いて気を付けなければと思いました。市の方も色々大変な状況だと思いますが、コロナ拡散防止のアピールが市民に届いていないと思います。よろしく願います。 |
| 男/60～69歳 | 江戸川台東が活気がない(駅前など)。商業街など、商業的に活発な地域となるよう、地域活性化を図ってほしい。おおたかの森は人口増で活気があり、うらやましいと思える。 |
| 男/60～69歳 | 特になし |
| 女/60～69歳 | 問50に関して、「当てはまるものすべてに」とあったので、全てに丸がついてしまいました。「誰もが住み慣れた…」というくりだったので、「あなたにとって」とか、「年齢によって」とかのくりだったら、チェックするポイントも異なっていたと思います。流山がとても好きです。より良い街になるよう、行政の取り組みに期待しています。 |

| | |
|----------|--|
| 女/60～69歳 | 地域での助け合いを活発化させるための取り組み、社会構造や人々の暮らしの変化による支えあいの基盤の弱まり、自治会活動の省略化。近所との協力はゴミ0の日が唯一の日と感じるこの頃です(昨年はコロナでそれさえもありませんでしたが)。「大変だからやりたくない」と思っても、いざ参加してやってみたら、「みんなと(誰かと一緒に)頑張ったからできた、楽しかった」という体験こそがやっぱり必要なのだと思います。行政から地域に役割を振ることも大事ですね。「参加と協力が必要不可欠」を強調してください。 |
| 女/60～69歳 | 高齢者が多い地域と若い人達の多い地域がありますが、高齢者が外に出られるよう、市内バスを増やして欲しい。 |
| 女/60～69歳 | 個人的なことですが、一人暮らしでこの先不安があります。一度、行政等でアドバイスをもらいたい。 |
| 女/60～69歳 | 全国ほとんどのに市立病院があると思いますが、流山市が運営する総合病院、ないですよ。このコロナ禍、病院が少ないと不安です。いつでも受け入れてもらえる医療機関の充実を希望します。それから、保育器のある NICU の設備のある病院は愛友会病院だけです。それも3器しかないですよ。他の市の病院へ行かなくてはならないのは、とても不便です。 |
| 女/60～69歳 | 流山市としても広域にわたり、情報や公共施設の所在が一方に偏り、場所を探すのに苦労するし使用したいと思わない。市民バスが運行を隔々までする必要があり、運河駅などには来ていない。地域での差が有り過ぎる。 |
| 女/60～69歳 | シングルマザーの経験があります。離婚をしたその月から経済的に大変になるのに、結婚していた時の1年の収入が基準になり援助を受けられないと言われたことがあります(他の市ですが)。本当に困っている人の立場に沿った対応を望みます。経済的に困っている若い方がたくさんいると思います。地域の人や近所の人は経済的な助けは出来ません。でも、生きていく上で経済的支援は確実に必要です。何がその人に必要なのかを考え対応できる行政にして下さい。 |
| 女/60～69歳 | 細かい福祉サービスをいろいろ作っても、実際にはそれを利用する際の交通の利便性が悪かったり、防犯防災等に不安がある状態では住み心地の良い成果は得られないと思うので、行政には基本的な事を確認し整えて欲しい。 |
| 女/60～69歳 | 建物の内部に障害者用のトイレ、階段には両脇に手摺が必要。これから高齢者が増えるので道路でこぼこは無くす。歩道は広くする。健常者の意識を変えて欲しい。高齢者、障害者には優しくバスの席を譲る、道をあける、ドアをあける、病院内のリハビリの先生、看護師さんたちの動きが理想です。日本の健常者はポーっとしている。外国を見習ってほしい。横断歩道を渡る時は側につく、一緒に渡るとか、バスの座席はどこでも譲るのではなく一番いい場所を譲るとか。たくさんあります。 |
| 女/60～69歳 | おおたかの森周辺は子育て世代が増えその他の地域では高齢者が多くなっているようですので、各々の地域での色々な世代の方の意見を聞いていただき、その地域によって何が必要か精査して、住みやすい街づくりをして頂けたらと思います。大変な事と思いますが宜しくお願い致します。 |

| | |
|----------|--|
| 男/70～79歳 | 安心して楽しく外出できる街づくりを目指してほしい(交通安全・利便性、ゴミが落ちていない花が咲く街、ウォーキングコースの設定等)。 |
| 男/70～79歳 | 「母になるなら流山」もいいですが、「終の住処の流山」を進めてもらいたい。長年、流山市に住み納税してきました。補助が得られる保育所は目に見えて増えています。介護施設は少ない。足が不自由になり病院までタクシーを使っていますが、グリーンバスは限られた所にしか走ってない。これで若年層が年寄りをお大切にできる市になるのでしょうか。子ども達が公園で走り回っていても、年寄りが日向ぼっこをする場所はありません。何とか、何とか年寄りの住みやすい流山市にして下さい。20万人人口が増えても若者だけで成り立つのですか。 |
| 男/70～79歳 | 地域福祉に関する情報発信の仕方に工夫をお願いします。目に付く機会が多い程、興味を持たれると思います。 |
| 男/70～79歳 | 転居して16年になりますが隣近所の住人と話したことが一度もありません。前後左右のお宅には転居挨拶にはお伺いしましたが話は出来ませんでした。知合いになる事が重要ですがそのきっかけがありませんでした。自然なきっかけをどうやって作るかが大事です。サークル、ボランティア等地域活動等知らせて頂ければ有難いです。 |
| 男/70～79歳 | 自治会に加入しているが行事は殆んど無い。会費を集めて一年が終わる、何のための自治会か。自治会活動に積極的に介入してアドバイスをお願いしたい。 |
| 男/70～79歳 | ホームレスの人を見かけます。救済方法等を考えて欲しい。 |
| 男/70～79歳 | タバコのポイ捨て禁止は、駅前 etc 繁華街にこだわらず、全市に拡大を。自転車の乗り捨ては、市の防犯予防車(青ランプ点滅車)が見回り中に対処して欲しい。例えば違反ステッカー貼り等。 |
| 男/70～79歳 | 遠くの親戚より近くの他人、互いに思いやりの心を持って接していれば、隣人とは良い関係が作れ、手助けができるのではないのでしょうか。福祉は老人への対応となりがちですが、今後の世代を担う若年層(発達障害・ひきこもり等)への支援を充実させ、社会に貢献できる人材に育てる事の方が重要ではないのでしょうか。じっとしていられず、暴れたり、大声を出したり、物を投げつけたりする子ども、幼児期に適切な教育をすることで穏やかな子に成長すると聞いております。 |
| 男/70～79歳 | (流山市に市民病院(総合病院)が必要と思います)最近人口が増加し続けています。また、高齢者の増加、新型コロナウイルスの感染症が発生しており、待ったなしの状況となっています。 |
| 男/70～79歳 | 元気な高齢者を増やすための意識づくり、活動しやすい雰囲気づくり。 |
| 女/70～79歳 | 今はまだ、平日フルで働いていますので、なかなかボランティアも出来ませんが、やれたらご協力しようと思っている。80才まで働ける職場であり、助かります。体力が持続するか不安ではありますが。 |
| 女/70～79歳 | 災害時等に市からのアナウンスが流れますが、家の中に居たら何も聞こえず外に居てもハッキリ聞き取れません。スピーカー音を強めることは出来ないのでしょうか。 |

| | |
|----------|---|
| 女/70～79歳 | 今住んでいる地域は、高齢化が進んでおり、主人も介護でリハビリを受けており助かっております。今後いろいろな情報が受けられて、手続き等も近くの出張所でできたら助かります。今、自治会の「一声運動」や公園清掃に協力しておりますが、新規参加者がなく、増やすのに困っております。仕事を退職した方への活動促進を促してほしいと思います。コロナ禍でいろいろの行事が行えないのが残念です。 |
| 女/70～79歳 | 地域の民生委員の名前が分からないのが困っています。自治会の総会の時に出席して頂くとか、こういう活動をしていますとか、PRした方が良いのでは。 家の近くに新しく越してこられた方に自治会入会をお願いするのですが、入会して頂けないのが実情です。流山に生まれ育ち流山しか知らない私ですが、有難いことに大きな災害に出会った事が有りませんでした。自治会に入会しなくても大丈夫だという考えも有るかと思います。若い方々にも入会して頂けると良いのですが、難しい問題です。台風、自然災害とか少ない地域なので。乱文で失礼いたしました。 |
| 女/70～79歳 | 流山市の人口増加のニュースに触れ、保健所も他市の所に頼る有様は少なからず心配です。 |
| 女/70～79歳 | 高齢者支援について、高齢者がだんだん多くなってきている流山です。市民(営)の老人ホームを作ってもらいたい。子育て支援もいいですが今まで市を守ってきた老人の行く道が欲しいです。高すぎる老人ホームばかりが出来て安く入れるホームを作りたいです。今まで安心、住める流山でした。行く先も安心して住めるホームが是非出来る事を望みます。 |
| 女/70～79歳 | 若い時は、お役に立ちたいとボランティア活動もしましたが、70才を過ぎて、自分と家族の健康を考えるだけで大変になりました。いつまでマイカーで外出できるかと、今はグリーンバスが有難いです。せめて、周囲に迷惑を掛けないように歳を重ねたいです。笑って過ごせるように努力します。森のクラブ、森の図書館大好きです。今後共宜しくお願い致します。 |
| 女/70～79歳 | 保険事業、人口20万人なのに市の保健所が無い。もっと健康管理等の為保健所の設立を希望します。 |
| 男/80歳以上 | とにかく社会福祉課(市役所の)を充実させる事、通りいっぺんの返答でなく、住民にもっと寄りそった課であって欲しい。 |
| 男/80歳以上 | 地域福祉では住民全体が主であるので、元気な人がリーダーとなって、サークルや～の会、その他、心置きなく体力のない人でも没頭できるグループのPRがほしいと思います。知人を作る事が基本的なような気がします。 |
| 男/80歳以上 | 投函し忘れごめんなさい。年齢や住地域で氏名が特定可能では。 |
| 女/80歳以上 | この冬、久しぶりに風邪をひき、1週間位ずっと1人で生活しました。歳を重ね1人生活に自信がもてなく、とてもさみしく自分自身に急に老を感じました。コロナの中で人に買物を頼む事も出来ず、頑張ります。 |
| 女/80歳以上 | 流山市は、老人の福祉に手厚く、とても感謝しています。「いきいきサロン」「100歳体操」等、楽しく参加させていただいております。 |

中部

| | |
|----------|---|
| 男/20～29歳 | 流山おおたかの森駅周辺のいわゆる「新住民」とそれ以外のずっと流山市に住んでいる住民とでは、地域福祉の考え方に開きがある。どちらかという駅周辺の住民よりかは、古くから市に住み続けている住民や地域に向けた広報活動をして行く必要があると思う。駅周辺は「地域福祉」よりも「子育て・教育」であると思う。 |
| 男/20～29歳 | 高齢者福祉という意味では、これからも高齢者は増え続けるのだから、老人ホームのような民間サービスの拡充化が重要なのではと感じる。すなわち、入居者への経済的な援助や職員の給与、施設設備への投資が急務であると感じる。コロナ禍、経済不況、インフレなどにより、流山も財政支出を増やしたり、行政の役割が拡大したりするのはある程度必要なのではないか。現代においては、豊かな生活を一度経験していることにより、福祉的な要求は、個々に無数にわたると思うので、柔軟に対応できる組織づくりが必要だ(情報の即時共有、行政で対応できるか判断、関係組織での実行等)。それから、住民協力に参加できないのは、東京に働きに行っているからで、地元働き口があれば、と思っている。地元産業を育成すれば、長期的に福祉にとってプラスになるのではないか。 |
| 男/20～29歳 | 国籍条項をなくしてある流山は外国人がたくさん来るんじゃないかと不安です。外国人がたくさん来ると犯罪が増え治安が悪くなります。最近外国人が増えて来て地域の福祉も心配です。こういう「福祉、福祉」と推進する地域は左翼が来るのでやめて下さい。公務員の国籍条項の復活をお願いします。立憲民主党の事務所が出来、あやしげなNPO法人の事務所を見かけ異変を感じます。そういう所にはおかしい人が紛れてくるのでやめてください。左翼が増えると野党が勢力を伸ばし人権だの、ヘイトスピーチだの騒ぎ出すのは嫌です。 |
| 女/20～29歳 | 保育料が高すぎて困っています。去年までは東京23区内に住んでいましたが、流山市の保育園では東京の保育料の2倍払っています。 |
| 女/20～29歳 | いつもありがとうございます。何か自分で出来る事があれば、と思いますが、何をしたらいいのか、仕事を優先してしまいなかなか調べられていませんが、今後は動いて行ければいいなと思います。20代夫婦です。おおたかの森は子どもが多すぎてここで子どもを産むかどうか悩みますが、この街は大好きです。これからもよろしくお願いします。 |
| 女/20～29歳 | 婚姻を機に東京から引っ越して来た者です。地域活動には参加したいと考えていますが、近所つきあいが無いからこそ安心して暮らしていますので、お互いドライな関係が維持できる活動があればと考えています。この街は大好きで、長く住みたいと考えていますが、夜中の珍走団だけが気がかりです。サーキット的な施設があればそこで走ってもらえるのでしょうか。 |
| 男/30～39歳 | 八木小学校の周辺環境は整備されるのでしょうか。道が狭く、街灯も少ないため、将来子どもを通わせる事に少し不安を感じています。おおたかの森小中学校、小山小学校と学区による差がなくなるようご検討をお願い致します。現在は2校に大きく差があると感じています。 |

第2部 調査結果報告

| | |
|----------|--|
| 男/30～39歳 | おおたかの森駅周辺は利便性が良いのだが、東武線の線路があるため、各出口に分断されているように感じています(逆サイドに行く際にアップダウン有)。若い大人は良いのですが、子どもや老人には少し、しんどい。例えば北千住駅のように、アンダーパスで通行できるようになると、各エリアの行き来がしやすくなるので、期待したい。地域活動に参加したい気持ちはあります。一方、その情報を自ら取りに行くまでのモチベーションはありません。SNS等を用いた情報発信に期待します。 |
| 男/30～39歳 | アンケート調査、ご苦労様です。 |
| 男/30～39歳 | 公園の遊具を充実させてほしいです。大型遊具、鉄棒、砂場(周りの柵も)など。 |
| 男/30～39歳 | 道路整備、歩行者、自転車優先の安全な道ができるといい。 |
| 男/30～39歳 | この調査は一時中断し、コロナ関係の仕事をする事。 |
| 男/30～39歳 | 流山おおたかの森付近は開発が進みバリアフリーもすすみ子育て世代が住みやすいが、初石駅周辺は電車をはじめ踏切等、ベビーカーで移動しにくい所も多い(段差がある)。また、道も狭く整備されていない所が多い様に感じる。 |
| 男/30～39歳 | 福祉とは違うが、通勤時間帯に住宅街、特に公園の道を裏道として利用し、速度が速めで走る車をよく見かける。公園前だけでも、速度抑制用の段差やミラーの設置を依頼したい。福祉と関係ない依頼で申し訳ないです。 |
| 男/30～39歳 | 期限を過ぎてしまい申し訳ありません。より良い街づくりに尽力していただきありがとうございます。まだ来て日が浅いですが流山が好きです。これからもよろしくお願ひ致します。 |
| 女/30～39歳 | 初石付近は道が狭く、危険が多い。駅のエスカレーター導入や道路の拡張、バリアフリー化も含め、直したほうが良い。また、車に乗れないと不便なので、バスを充実させてほしい。市役所に行くにもとても不便だ。医療費が50%になる制度もありがたいが、書類提出などがとても複雑。私にとっては通院すること自体とても大変なので、さらに複雑な作業を増やさないでほしい。例えば50%カードを見せれば病院ですぐ、その場で半額になるようにしてほしい。民生委員の方ともお話しできていないが、どうしたら良いかも分からない。結婚を機に流山に来たが、知人もおらず、情報収集がむずかしい。もっと市民に親身になってほしい。 |
| 女/30～39歳 | このようなアンケートでは、デジタル化(QRコードを読み取り、アンケート実施するなど)するとよい。ペーパーレス化、働き方改革をさらにすすめてください。いつも地域のために、ありがとうございます。 |
| 女/30～39歳 | 在宅勤務の男性が増えて、平日の昼に、以前より道や公園で男性を見かける。マスクをしていて帽子もかぶって顔が見えない人がうろろしている、少し怖い。ただ散歩中なのかもしれないが、親として防犯を強化して欲しい。公園周りや下校の道路をパトロールして欲しい。保護者として見回りはするが、お巡りさんがパトロールしてくれると安心する。 |

| | |
|----------|--|
| 女/30～39歳 | 人口の急増により保育園が間に合っていないように思う。待機児童ゼロを望みます。また、公園遊具の老朽化が気になる。ごみ集積BOXは強固な物にして欲しい。 |
| 女/30～39歳 | 流山市はおおたかの森地域だけ特別に力を入れて、他の地域はないがしろにされている感が否めません。本当に必要としている人に助けが行くように様々な人の、様々な目線で地域福祉が充実してくれればと思います。様々な支援や新しい取組を進めるには、それなりのお金が必要になってきますが、必要な部分には積極的にお金をかけて欲しいと思う(保育士支援など)。 |
| 女/30～39歳 | 地域の活動は有る程度必要だとは思いますが、回覧板による情報周知や自治会館の建設(現在検討されている)といった手法が、今の時代、特にWithコロナで生活様式も変わる中では適したものとは思えない。自治会の活動を各自治会任せにするのではなく、市としてもフォローや連携をしていただき、市全体でより良い地域、より良い自治会活動を推進して頂けると幸いです。 |
| 女/30～39歳 | 転勤の人が多く、入れ替えが多いから、色々な地での生活ルールを持った方が多く住んでいるエリアだと思います。よって、ゴミ捨てなどは借家においては特にバラバラ。家はたくさんあるけど、子どもを連れて行ける公園が少なく、木も少なく、夏場などは涼みながら遊べるエリアはキックマンアリーナ位しかない。共働き世帯は平日そんな必要もないとは思いますが、転勤族は仕事もなかなかできないので、日中子どもと遊ぶエリアに困ります(コロナ禍で児童館も人数制限)。幼稚園もバスが多く、(難しいとは思いますが)もっと幼稚園が車でお迎えに行けて、園庭の開放を行ったりすれば、親同士のコミュニケーションも増えて、子どもの苦楽を話しながら密なコミュニケーションが取れると思います。子育ての山を一緒に乗り越えた友人は、学生の頃とは違う戦友のように、家族に何かあった時も支え合うつながりになると思います。遠い親戚より近くの他人というのも分かる気がします。 |
| 女/30～39歳 | 新興住宅地に引っ越してきてから、周囲が自治会に加入していないこともあり、私共も現在加入しておりません。区画整理が終わりましたので加入機会を伺ってはいるものの、誰にどのような手続きをすればよいか分からず、とはいえ、自治会に加入せずとも生活ができています。地区でごみの問題もあるのですが、相談したくとも市ではなく自治会を通してと言われてしまい、相談相手がわからないので、近所内だけで無理くり解決しています。新住所アドレスになりましたので、町内で新たな自治会が作られるなら、今、様子見の人も加入する側になるかと思っています。市には改めて、自治会への加入について周知を頂けると有難いです。 |

| | |
|----------|---|
| 女/30～39歳 | 防犯パトロール等、夕方行っているのを目にするが、絶対大丈夫という保証はないのでそれだけでは不十分なのかなと感じる。実際に公園では知らない人に声を掛けられたという話や、空き巣に入られてしまったという話も聞くので、住民(市民)が増える分、そういった犯罪も増えてしまうのかなと思う。色々な対策を考える分、人手も必要になってくるので、それを誰が、いつ、どのように行うかも課題になっていくと思います。また、独り身になってしまった高齢者が、安心・安全に暮らしていける様な地域になってくれたら、他の家族も安心して過ごせるようになるのかなと思います。願いばかりではありますが、よりよい環境になりますことを願っています。 |
| 女/30～39歳 | 引っ越してきた住民にとっては情報が分かりにくい、どんなサービスや活動をしているのか情報が入って来ない。 |
| 女/30～39歳 | 地域福祉は住民間の繋がりや見守り訪問など、人の手が必要な部分が多いと思います。ただ、その他の窓口、情報管理、手続き等出来る部分はDX対応を進めていって欲しいです(HPでチャットボットでガイド、年齢や既応歴、同居家族等の情報からリスク予測、妊娠前～高齢者までオンライン相談など、素人考えですが)。住民のニーズをくみ取る為にオンライン上で政策議論をする(加古川市)子育てイベント参加アプリ(神戸市)などCIVIC×GOVテックの新聞記事を読みました。是非流山市でも取り入れていただきたいです。 |
| 女/30～39歳 | 幼い子どもがいるので子育てや小学校、中学校に関する事にとっても関心が有ります。ボランティア活動を通して交流を深められる活動等があれば、小さいお子さんのいるお母さん、お父さんも参加しやすいかもしれません。(市外、県外から引っ越してくる方が多い為) |
| 女/30～39歳 | 自治会がない。もしあるのであれば、知り得る手段がない。人口密度が高いため、災害時に十分に支援が受けられないのではないかなと思う。最寄りの避難所に入りきれないと思う。アンケートの集計結果や、アンケートによって何が変わったのか、お知らせ下さい。 |
| 女/30～39歳 | 西と北口を結ぶ踏切の線路が、ベビーカーの車輪が引っかかりやすく危なく感じるため、バリアフリー化が可能であればしてほしいです。(東口と南口の踏切ではそれほど車輪が引っかかりません) |
| 女/30～39歳 | 流山は、流産を連想させるから縁起が悪いので、産婦人科が少ないと聞いたことがあります。今は、自分がまだ健康なので問題ないですが、将来的に地域住民の助けが必要となると、若い人の生活を支える制度や取り組みがあるといいのかな、と思いました。少子化対策は力を入れてほしいです。母になるなら流山、と聞いて引っ越してきました。 |
| 男/40～49歳 | スーパー等の買い物をする店が少ない(人口増による供給不足)。子育てに必要な物品購入店が少ない(西松屋など)。おおたかの森北側に店が少ない。流山IC付近に大型ショッピングモールを建設してほしい。市民に寄り添うタイプの総合病院を建設してほしい。 |
| 男/40～49歳 | よくやってくれていると思います。集計おつかれ様です。 |

| | |
|----------|---|
| 男/40～49歳 | 新しいマンションや住宅に県外から来た居住者たちが得をして、以前から住み税金を納めている子育て世帯が保育園に入れなかったり損をしている感じが強い。新しい学校を建てることも大切なかもしれないが、以前からある学校への設備の充実や校舎のリフォームなどしっかりと考えて欲しい。新しい校舎の新設もおたかの森駅周辺の居住者がうるさいから進めているのであって、結婚前より何十年も住み続け税金を納めても、何の恩恵も感じられない。 |
| 男/40～49歳 | 不妊治療に対する助成金を充実して欲しい。体外受精になると国からの助成金があるが、その前までの治療でも他の市では援助金が出る地域があるので、流山市も子育てがしやすい市を謳っているのであれば不妊治療にも力を入れて欲しい。女性にやさしい取組をよろしく願います。 |
| 男/40～49歳 | 駅前に喫煙所を設置して欲しい。初石駅の東口改札口を早く着工して欲しい。 |
| 男/40～49歳 | 以前住んでいた江戸川区では子育て世帯や幼児、乳児(小学生)のいる家庭に保健師が訪問したり、乳児健診の時などに相談したいとアンケートなどに記入すると相談できる場を設けたりしていたので助かった。引っ越ししてから子どもの健診を受ける機会がなかったこともあり、育児の相談が出来ないで孤立しているような感覚がある。 |
| 男/40～49歳 | 高齢者はネットでの情報は得られにくいので、地域のサービス(施設やサービスなど)でも情報を知ることが出来たり、外へ出ない方にも大切な情報がきちんと届くような仕組みづくりをお願いします。 |
| 男/40～49歳 | 今まで、積極的に入手してこなかったこともあるが、地域情報が入ってきていないことに気づかされました。IT技術を活用した情報発信など、参画しやすい活動とまちづくりを期待しています。 |
| 男/40～49歳 | (おたかの森駅近くの)出張所の利便性向上をお願いしたい。保育課が無く相談したい時に困る。チーパスが市役所でないと更新できず、更新できない方が多い。役所対応、あれでは人は集まらない。活況な雰囲気も無い。それぞれの家庭環境の目線で考えればおのずと何が必要なのか、何が足りないのか分かるはず。市民の目線で施策を検討下さい。流山のHPが分かりづらい。古い仕様を変えないのは何故でしょうか。 |
| 男/40～49歳 | 初石駅周辺の歩道が狭い、ベビーカーで通りづらい(道に段差がある)。歩道に電柱があり危険と思う。 |
| 男/40～49歳 | 子育て世帯が増えて小学校を増設しているが、共働き世帯が多いにも関わらず、登下校の見守りを、保護者や自治会に任せているのは不合理になる為、市がシルバーセンターに委託するなど、責任と費用を負担すべきである。 |
| 女/40～49歳 | より良いまちづくり、応援しています。 |
| 女/40～49歳 | 母を介護していて思う事は車イスでの移動の大変さです。自動車の運転免許を持っていないので、入退院の際や通院時はタクシーを利用しますが、費用がかかる。天気の良い時は車イスを使用します。道路の段差、くぼみ、傾斜に苦戦しながらの移動は体力を消耗します。道路の整備を希望します(車イスだけではなく、ベビーカーにとっても優しい道路になると思います)。 |

| | |
|-------------------|--|
| 女/40～49歳 | 街灯の整備をきちんとして欲しい。ゴミ捨て場も統一感が無く見た目が悪い。自治会に入っていないとゴミが捨てられないのはどうかと思う。自治会の範囲が広すぎて把握しづらい。歩道の整備をして欲しい。犬の糞尿のマナーが悪い。 |
| 女/40～49歳 | 大きなイベント等やってほしい。 |
| 女/40～49歳 | 30～40代共働きの家庭ばかりで、未来が見通せない。現在、児童数が多く、小中学校に子どもがあふれているが、30、40年後に満足いく高齢者支援が受けられるか疑問である。 |
| 女/40～49歳 | 介護保険でのサービス利用の適応ではないが、高齢のため買物や通院など自力での移動が難しい方の支援等が有れば安心して暮らせると思います。 |
| 女/40～49歳 | 以前住んでいた地域は、ポストに広報紙を入れてくれていました。流山市は広報紙を見たことがありません。がん検診などの情報も、転入した時に見た案内用紙だけで、現在どういう状況なのか、どこの病院でどういう手順で受けられるのか、よくわかりません。 |
| 女/40～49歳 | 若い人、子育て世代向けが充実しているのですが、介護の方が不足を感じます。65歳以下でも、介護認定される病気のある人にも日用品サービスとか充実させてほしい。高級なケアハウスはあるが、年金で入れるようなところの不足、保育園ばかりオープンしている。 |
| 答えたくない /40～49歳 | 多岐にわたり様々に地域の為にありがとうございます。今後もよりよい街作り、コミュニティに期待しています。 |
| 男/50～59歳 | 小中学校等の通学路上での信号機を全て「歩車分離式」に変えてほしい。子どもたちの交通事故が発生しないようにするため、また、昨今のドライバーの運転技術が劣化しているため。踏切を利用するベビーカー、車イス等、車輪が線路にはまらないようにするために何らかの対策を東武鉄道側と協議してほしい。 |
| 男/50～59歳 | 流山市はおおたかの森を中心にしているのですか。おおたかの森のために街が壊れる気がする。古くからある地域をもっと大切にしてください。 |
| 男/50～59歳 | 「福祉」という言葉の「定義」が広いと感じました。みんなに、わかりやすい言葉を教えると良いと思いました。参加すると楽しくなるようなワクワクするイメージ。「高齢者なんでも相談室」だと行きづらいので、「大人の未来なんでも相談室」にするなど、または「みんなの未来相談室」(子ども、大人、障害者)。 |
| 女/50～59歳 | 30年前、流山市に2年程居住し、その後茨城県で30年近く子育てをして、高齢化していく地元で不安を感じて、また流山市に転居してきました。大規模な開発に戸建の住民は同世代が多く、始めは活動も活発で様々な地域活動もあって便利に生活していましたが、次第に住民が高齢者ばかりになると必要なものがみな駅近の方に移転したり、無くなったりして街から取り残されていくばかりでした。同じ事にならない様に街に若さがあって、高齢になっても安心できる施設があり、車無しで生活出来る物件を探して、おおたかの森に来ました。まだまだ若い人や高齢の方のお役に立てる準シニアなので、コロナが収束したら、お手伝い出来る様、様々な活動をしたいと思います。役所の方も今はコロナで本当にお忙しいかと思いますが、お身体大切になさってください。 |

| | |
|----------|--|
| 女/50～59歳 | 乳がん検診をすすめるわりに、電話しても手続き出来なかったり、ネットでも「受付終了」となっていて、数年経ってしまう。いつでも簡単に申し込み出来る様にしたほうが良いと思います。あと、30才になったら「受けましょう！」というポスターよりも、「もっと早く受けていれば良かった…」という後悔のポスターのほうが良いと思います(保険だって、こうなったら大変ですよって不安に思ってる日本人なので)。 |
| 女/50～59歳 | 子どもに関する福祉は施設等、市も力を入れているように見受けられたが、高齢者福祉にはサービスが充実しているようには思えなかった。転居してまだ1年だが高齢者の両親に行政サービスが還元されているようには思えない。せめて災害時の避難場所は明確にわかる様にして頂きたい。商業施設が充実しているエリアにはベンチなどが有るのに、高齢者が散歩して一息つくベンチが私の住むエリアには無い格差に驚きだ。転入前の地域には子どもにも高齢者にも利用しやすい公園が沢山あった。 |
| 女/50～59歳 | 流山に前から住んでいる人間は、あまりに変わり過ぎた。人が多くなった、事件が多くなった。よそ者が入ってきて、何かあってもわからない。マンションの森、おおたかはいないよね、と言っています。外来種は強い。挨拶もしないのが普通のようにです。駅近くに越してきて便利だけど、子どもも大きいので、周りとの関わりがなくなりました。若い方の多くが働いているので、助け合い、ボランティアなど地域活動をもっと積極的に参加してもらえる体制を作らないと。 |
| 女/50～59歳 | 自転車横断帯をどんどん増やして欲しいです。歩道の幅を広くして欲しいです。道路が狭くて自転車で通るのは怖いので広くして欲しいです。 |
| 女/50～59歳 | 送付が遅くなってすみません。 |
| 男/60～69歳 | 自宅周辺の住民の高齢化(自分も含む)が進んでいます。我々高齢者がこれから先安心して暮らせる生活環境整備に益々の取り組みをお願い致します。又、最近では発達障害の認知度も広がって来て「何か変な子」への学校の先生の対応も変わってきていると思います。成長すると共に生活困難も大きくなります。障害者への福祉サービスの向上もよろしくお願い致します。 |
| 男/60～69歳 | 別件で市に相談の電話をしたところ、自分でやって下さいと言われた。個人で出来ないから相談したのに。行政は当てにならない。公務員は嫌いだ。 |
| 男/60～69歳 | 歯科、歯医者さんが必要だよ。 |
| 女/60～69歳 | おおたかの森周辺では、小さい子どもさんも増えてきて、道路等で遊んでいる事がしばしば見受けられます。安心して遊べる公園が少ないのでは。 |
| 女/60～69歳 | アンケート内の「地域」というワードの意味、広さがイメージしにくくて回答がしにくかった。マンションは住人の交流なく、地域福祉とは程遠い人の関係だ。市全体としてどうなのかはさっぱりわかりません。大地震などの時に、安否確認をできるようなマンション内、地域内のしくみがあったらよいと思っているが、今のところ何もできていない。 |
| 女/60～69歳 | 色々お世話になってありがとうございます。 |
| 女/60～69歳 | 今は新型コロナの収束を願っています。 |

第2部 調査結果報告

| | |
|----------|--|
| 女/60～69歳 | プライバシーの問題があるので、支え合い、助け合うのは難しいと思いますが、自治会等で近所の方とっと親しくふれ合える機会を作っていただき、各自でお手伝いできる事を増やしていけば、支援を必要としている方々のお役にたてると思います。 |
| 男/70～79歳 | 高齢者が増えているので、その対策を充実してほしい。 |
| 男/70～79歳 | とにかく分かりやすい様な支援などが重要と考えます。このアンケートは長すぎです。半分の6ページ、いや、4ページ位にして、調査の頻度を上げればいいのでは。 |
| 男/70～79歳 | 私は今、77才となりました。今はまだ妻共々、普通の生活が出来ますが、この先すぐに他人のお世話になる日が来ます。どうか、市の福祉政策の充実を進めていただきたく、お願いします。 |
| 男/70～79歳 | TXの開通に伴い、新しい広い道路が出来ているが、交通のバリアフリー化が旧式のままである。せっきゃくの新道であり、車と歩行の区別だけでなく、自転車の専用道(青色)の設置がほしい。県か市の企画かわからないが非常に保守的という評価。 |
| 男/70～79歳 | 「ネットワーク」「連携」とか、情報共有とか責任を分散させることに繋がることばかり。一步踏み込んで根本的な解決を図れる「力」が必要。無難に勤務時間内で責任を取りたくない会議や話し合いはうんざり。 |
| 男/70～79歳 | 流山市は住みやすい街だと思います。災害が少ない、人口減がない(少ない)ため税収が確保できている。現市長の市政運営(企業誘致、市街地整備等)が先を見込んで行われている等が理由と思います。地域福祉についても良くやっているとと思っています。 |
| 男/70～79歳 | いつ見ても誰も乗っていない地域バス、全く税金の無駄使い。もっと有効な利用方法を。庭にコンポストを置くことで生ごみを減らせる。もっと普及活動を。 |
| 男/70～79歳 | 今は、安心して家族で暮らしていますが、流山に住んで10年位、そのうち4年程海外勤務を家族がしていて、それと一緒に海外へ行ったのでここに住んで6年位です。不安です。誰も知らない海外から比べれば日本は安心ですが弱気になる時もあります。これからも高齢者の見守りをお願いします(弱者すべて)。 |
| 男/70～79歳 | なお一層の住みやすい流山とする為にも緑の空間を確保する政策をしてほしい。緑地の連続性を考えて緑のトンネルを作ってほしい。 |
| 男/70～79歳 | 流山市が先進的な地域福祉体制をつくって欲しい。(後追いではなく) |
| 女/70～79歳 | 生活保護受給者の生活(日常生活)の調査をもっとしっかりしてほしいと思います。年金生活者よりも、困った様子もなく、カラオケ、飲み会等で一般の方よりも、派手な生活をしています。「働かなくても生活できる、何もしなくてもお金が入る」ではなく、自立の手助けをしてほしいと思います。 |

| | |
|----------|---|
| 女/70～79歳 | 地域福祉はむずかしいと思います。介護される方も、介護する方も近所の方に迷惑をかけてはいけないと思い、おもてに出さないで頑張ってしまう。あいさつしたり、介護人の状態を話したりはしますが、認知がある知人は不安に思っていて、庭先に入ってしまったら、じっとにらんだりの動作が、元気だった頃の姿とあまりに違いすぎて考えられないと言っている。「何かあったら手伝ってあげるよ」の言葉が出ていない。まわりが老老介護で精一杯の生活をしている。体力もなくなり、地域福祉を考える余裕がない。 |
| 女/70～79歳 | 40才以降70才位迄、地域のボランティアを多々致しました。現在高齢になり、理想と現実のギャップを感じ、考えさせられる傾向となりました。社協の益々の発展を祈る傍ら、今、私の現在を迷惑を掛けず健康に留意し夫婦で今迄も良い人生だった。流山に住んで良かった。と感謝し歩んで行きたいと思う日々です。 |
| 女/70～79歳 | このアンケートについて、現在は健康なので現実と理想がマッチしない。 |
| 女/70～79歳 | 誰もが安心、安全に暮らせたなら素晴らしいまちづくりです。私も昨年骨折して、流山市中部地域包括センターの高齢者何でも相談室の方に大変お世話になりました。感謝でいっぱいでした。お陰様で今では随分良くなりましたが、まだリハビリが必要で、自分なりに頑張っています。元気になりましたら、困っている人の為に、少しでも力になればと考えています。今は日本中、コロナ感染で不安がいっぱいです。早く収束して安全で安心な日々を心待ちにしています。折角のアンケートなのに迷いがいっぱい紙面を汚してしまって申し訳ありません。私には難しく、まだまだ勉強が必要だとつくづく考えさせられました。 |
| 女/70～79歳 | 流山市は良い生活支援をしていると思います。コロナ禍なので早く元に戻りたいです。よろしくお願いします。 |
| 女/70～79歳 | 地域の高齢化が進み、自治会の在り方を今後どのようにするか問題である。行政も季節毎に皆で手分けし、地域巡回をして問題点をよく理解し、待っているだけでなく飛び込んで一緒に考えて行って欲しい。 |
| 女/70～79歳 | 多様性への尊重を望みます。幼児、児童、家庭動物への公共の福祉。流山市の自然保護。 |
| 男/80歳以上 | 近隣の人に相談、支援などを依頼すると、プライバシーの漏洩がおきやすいので、公的な方が望ましい。 |
| 女/80歳以上 | 災害時に避難場所として近隣の小学校の体育館が避難場所と定められています。しかし最近新しい入居者が増え、今まで通りの体育館だけでは収容しきれなくなっているのではないかと心配しています。そこで、トイレ、水道設備が備わっている防災公園を作りたいです。 |

南部

| | |
|-------------------|--|
| 答えたくない /20～29歳 | 市役所前の大きな道路、歩道が細く狭くて危ないので出来れば広くして欲しいです。いつもお世話になって居ります。今後ともよろしくお願い致します。 |
| 答えたくない /20～29歳 | ゴミ出しルールをもっと周知し徹底させてください。きれいな街なのにもったいないと思います。 |
| 男/20～29歳 | 夜、暗い場所が多く街灯を増やしてほしい。細い道にもっとミラーを増やしてほしい。 |
| 男/20～29歳 | 昔に比べ人口もかなり増加していると思います。流山おおたかの森などは特に盛り上がっている感じがします。しかしながら単純に増加したから良いという事ではないと感じます。昔感じていた「流山らしさ」が少々薄れている気がします。近所付き合い、困っている人がいたら助けるなど温かい人間関係が今後薄れてしまうのは残念に思います。外から入って来た人に昔ながらの「流山らしさ」を伝えつつ、新たに良いものへと進化できるような地域活動が必要に感じます。 |
| 女/20～29歳 | 未婚で子どもを産んだ時、コロナで仕事が無くなった時、行政に助けて頂きました。ありがとうございました。流山市が大好きです。 |
| 女/20～29歳 | 南流山に住んでいますが、周りの方々が優しくとても助かっています。特に子育て中なので、見守ってくれる方々が多いのは嬉しいですし、鯉ヶ崎小の見守りの方が多いのも有難いです。子育て世代が増えているので、保育園が今年4月から増えるのも助かっています。ただ、産休からの復帰以外の、「就活」が必要な人へのサポートがもっとあったらいいのと思います。就活(面接)中に預かってくれるサポートとか。また、働いていた時期に、子どもが体調を崩した時のサポートがありませんでした(または無い様に感じます)。地域新聞はよく見る主婦も多いので、その様な保育系の記事を出してくれたらいいなと思います。いつもありがとうございます。とても良い市なので、できる限り住み続けたいです。 |
| 男/30～39歳 | 子どもたちに交通マナーを教えられるよう、大人がしっかりすべきだと思います。道路で鬼ごっこをして飛び出したり、道路を渡るのに左右の確認をしないなど、非常に危険だと感じます。 |
| 男/30～39歳 | ゴミ出し。特に、ビン・缶を袋に入れるのはやめてほしい。ゴミ袋のまま出せるようにしてほしい。衛生的にとっても悪い。 |
| 男/30～39歳 | 家族が記入しました(子の立場で)。 |
| 男/30～39歳 | 人もここ数年増えているので流山市にも保健所が欲しいと思う。 |
| 男/30～39歳 | ありがとうございました。考えるきっかけとなりました。 |
| 男/30～39歳 | 住民税、固定資産税を安くして欲しい |
| 男/30～39歳 | 住民が行政に加えて、企業(飲食店か商店など)に関わることでできる仕組みも必要ではないかと思いました。仕事中心でほとんど地域活動に参加していませんが、近所の飲食店や理容室等は比較的接点があります。 |
| 男/30～39歳 | 保育施設が増えているのは良いことだが、管理面で間に合っていない印象を受けている。 |

| | |
|----------|--|
| 女/30～39歳 | ファミリー層が多く住む街なのに、交通の便がなさすぎる。バスもあまり通っていない。タクシー会社はどこも評価が低すぎる。24時間やっているタクシーがあるとしても使えない。産院が少ない。車が無いと不便すぎて住みづらい。必要な情報が全く入ってこない。知っている人だけが制度を使っていたら理不尽。チラシでもいいからポストに入れて欲しい。電話でもショートメールでもいい。住宅地から病院まで行けるバスが欲しい。 |
| 女/30～39歳 | 一人暮らしを始めて4年程になるのですが、ご近所付き合いが皆無で、話せる相談相手が不動産屋さんくらいしかいない状態です。図書館を利用するので、南流山センターでの催し物の情報はよく目にするのですが、緊急時の際に、どこで何をすべきかをすぐに判断できない気がします。以前、大通り沿いの自分の住むアパートの前で痴漢に遭いかけて(おしりを触られかけて、よけて、追いかけたら逃げていきました)、びっくりしたので、大通りの街灯を増やしていただけると嬉しいです。 |
| 女/30～39歳 | フルタイムで仕事をしている上、子どもがいないので、主人以外の人との関わりが一切ありません。土日に町内会の集まり等があればよいのですが、情報も一切ないので少し淋しく思います。 |
| 女/30～39歳 | まだまだ共働きで子育てをしていくのは大変なことが多いように感じます(病院や習い事の時間、小4以降の子ども居場所)。中学校の移転問題も何とかしてほしいです。 |
| 女/30～39歳 | 同じ流山市内でも地域によって力のかけかたが不公平に感じます。例えば、小学校新設においても、おおたかの森地域は新しい学校を建て、校歌にも著名人を起用するなどし、ふんだんにお金をかけている印象ですが(校歌の著名人起用にかかる費用は市民としてムダだと感じました)、南流山地域では、中学校の再利用、さらに中学校は遠くに移転という、お金もかけず、市民のことを何も考えていない対応としか思えず、憤りを感じています。交通の便(TX、武蔵野線)から南流山に住んでいますが、このまま置いてけぼりを感じるが続くのであれば、家を購入したことを深く後悔します。また、コロナの対応として、都内では保育園で陽性者が出た場合に全園児、教員のPCR検査をしている区もありますが、流山ではほぼ濃厚接触者なしとされているのが、心配です。念のため、検査するようにしてほしいです。 |
| 女/30～39歳 | 1年ほど前に東京都から引っ越して来ましたが、とても住みやすい地域だと感じています。現在は社会福祉面で特に困っていることは無いのですが、必要に応じて必要なサービスを受けられるよう、ホームページ等を通じた情報発信を続けていただければ幸いです。 |

第2部 調査結果報告

| | |
|----------|--|
| 女/30～39歳 | 子育てについて。保育所では7時から子どもを預かってきているのに、小学校に上がると早くから来てはいけない(学校が開くのが7時45分)というところに時間的ギャップがあり悩んでいる(4月に入学)。仕事に間に合わないので7時に送っていたのに学校へはもっと遅く来いでは出勤時間に間に合わない。早く家から出すと安全が保障できない。親が早く出してしまう児童が集まれる屋内や見守ってくれる人が欲しい(7～8時に開いていて、学校が開くまで待てる場所、そこにいてくれる大人)。 |
| 女/30～39歳 | ここ数年で自転車を運転する高齢者を近所で見かける事が多くなってきた。歩道ですれ違うときにフラフラした走行でぶつけられそうになったり、70～80歳ぐらいの自転車に乗った男性に「どけ」と言われたこともある。車の高齢ドライバーで免許返納が話題になっているが、高齢の自転車も何か対策して欲しい。事故が起こりそうでいつもヒヤヒヤする。 |
| 女/30～39歳 | 公園の数や面積はある程度確保されていると思うが、遊具が老朽化していたり、あまり清潔に保たれていないと思う公園もあるので、公園の環境改善を進めてほしい。公園は子どもだけでなく、大人や老人にとっても憩いの場だと思うので。 |
| 女/30～39歳 | 現在、不妊治療をしております。流山市は子育てをしやすい街ということは、流山市に引っ越す前より存じておりました。「育てる」に加え「産む」のサポートをより充実させて頂けると大変ありがたいです。経済的負担の大きい治療なので、保険適用になっても大きなお金が出て行きます。県の補助金に加え、市からも補助して頂ければ、私のように不妊に悩む方々が救われます。地域福祉に関係があるか分からないのですが、書かせていただきました。 |
| 女/30～39歳 | 子どもがいないと地域と関わることは殆んど無いのが寂しいと思った。 |

| | |
|----------|--|
| 女/30～39歳 | <p>私の住んでいる地域は駅近で、昔から住んでいるお年寄り世代と、賃貸住いの共働きの子育て世帯が多く居ます。しかし自治会の活動は参加者がお年寄りメインで、たまにある子ども向けの活動内容も的を得ていない感じで参加しづらいです。世代交代するべきと思うのですが若い賃貸住いの方はそもそも自治会に入っていない方が多いです。私は若くて活動に協力したい珍しい人間ですが、自治会のコアの方々とは世代のせいか色々なギャップを感じています。今の若い世代はデジタルツールを使って連絡や代金の支払い等をしてはいますが、自治会は全くそうではありません。共働き世帯はそういうものを駆使して時間を捻出しているのに、どうしても自治会のやり方に効率の悪さを感じてしまい、参加する意欲が無くなってしまいます(そういう効率の悪さをお年寄りの方が気にしておらず、新しいツールを使用する気が無いのも嫌いです)。地域の活動にそういったものを求めてはいけなけれども、共働き世帯が多くなっていく中で、時間と手間がかかる地域の活動まで手が回る人は少なくなっていくと思います。デジタル化は自治会のお年寄りの努力に任せるには限界があるので、自治会から提案、テンプレートやノウハウの提供があると良いと思います。難しいですかね。子育て世帯への福祉についてですが、共働き世帯は土日も平日も時間に余裕が無く、そのため地域の活動にも参加出来ず顔見知りも出来ません。平日は保育園への行き帰りは嵐のようだし、休みの日は体力回復・必要なものの買い出し・子どもの遊びの監視で終わります。地域の知り合いは保育園つながりだけで同じ様に余裕が無く助け合うことは出来ません。しかし、平日に近くの方に子どもの送り迎えなどしてもらえると助かると思う事が有ります。ファミサポのようなサービスは有りますが登録が必要な事と、わざわざ知らない方をお願いする事に申し訳なさを感じてしまい、私はまだ使った事はありません。そこで提案なのですが子育て世帯が多い地域の自治会会館でファミサポの利用会員と提供会員の登録会をするのは如何でしょうか。自分が住んでいる地域なので支援が必要な時間と内容などをカードに書いてボードに張ったりしたいです。そして会館内で子どもを遊ばせながら同じ子育て世帯や支援の意識が高い方と交流を持ちたいです。もしそこで地域の方とマッチングできればそれは良い地域の繋がり形ではないでしょうか(ファミサポを通さないと保険などはかからなくなりますが、そこは自己責任で)。私が住んでいる地域は一人の提供会員さんが複数の利用会員のケアをしているというのを見ました。こういったミスマッチを行政が地域に働きかけることで解消して頂けると嬉しいです。また、近くでこういった形の機会があると、ファミサポへの利用登録もしやすくなると思います。多胎児の家庭は遠くに登録しに行くのが大変なので、ファミサポ登録のための預かりが必要になってしまうという話も聞きます。近くでの開催と地域の方の支援があれば登録もしやすくなります。長く書いてしまって申し訳ありません。流山は都内に通う共働き家庭が多いので、助け合いながら子育てしていける地域になるととても嬉しいです。アンケート集計作業など頑張ってください。</p> |
|----------|--|

| | |
|----------|---|
| 女/30～39歳 | 公園の遊具の見直し。新しい物ばかり作るのではなく、元からあるものを大切にしたい。古くなったら取り壊し、安全な遊具を作って欲しい。道路で遊ぶ児童が増えていて危ない。地域でパトロールなど強化して欲しい。 |
| 女/30～39歳 | 日頃よりお世話になって居ります。働いていて地域に貢献できず大変心苦しく思いながら回答しました。無責任な回答も有り申し訳ありませんが、理想や願いも込めて。どうぞよろしくお願いいたします。これを機に地域貢献の道を自分なりに考えてみたいです。貴重な機会をありがとうございました。 |
| 女/30～39歳 | 子どもが多く、今後の子育てへの地域環境として少し不安。 |
| 男/40～49歳 | 情報弱者が出ないように、DXの拡充をして行けばいいと思う。デジタル課の発足など。 |
| 男/40～49歳 | 南流山駅前の整備が必要、乗り換え駅の利点を活かせてない。 |
| 男/40～49歳 | 優先順位を確認するためのアンケートならよいと思います。ただ、選択肢が何を言わせようとしているのか分かりにくく、このアンケートによって「市民の声です」と言われるのは困る。特に真ん中あたり |
| 男/40～49歳 | 図書館をもっと充実して欲しい。サービス面、開館日、時間延長、立地など全てにおいて、全ての市民が無料(税金)で利用でき、一番ハードルが低い施設なので、図書館の充実が地域福祉の発展にも繋がる。 |
| 男/40～49歳 | 木に在住しております。江戸川沿いに住んでいるのですが近くにスーパーやホームセンターがあり、交通量が多いから防災のアナウンスが全く聞こえません。同じ地域に住んでいる方も音が聞こえないと言っている方が多く、これをどちらへ伝えたら良いかも分かりません。この場をお借りして伝えさせて下さい。よろしくお願いいたします。 |
| 女/40～49歳 | 道路の整備をしてほしい。歩道部分がとても狭く、車が多く通行する道路が多々あります。電柱地中化を進めて、歩道を安全に歩けるようにしてほしい。スクールゾーンの時間帯に走っている車を厳しく取り締まってほしい。これは警察へお願いする事かと思いますが、学校側から見守ってほしい。何も罰せられず、子どもたちが危険にさらされるのはおかしい。子ども会で旗振りをして見守っていますが、行政の力を貸していただかなければ、力が足りません。市役所の皆様にはいつも感謝しております。ありがとうございます。 |
| 女/40～49歳 | 地域(近所)の方とは、ごみ出しの時にごくまれに顔を合わす程度。同年代の子どものいる家は世帯が分かりませんが、どの家が高齢の方で、手助けが必要な方がどこにいるかも分かりません。仕事で朝早くから19時頃までいない日がほとんどで、土日は家事、買出しなど、地域に向けることはあまりしていませんが、何かできることはあるでしょうか。具体的な方法でボランティアの内容など知ることができたら、お手伝い、助け合いができればと思います。 |
| 女/40～49歳 | 小学生の不登校の相談を市に行ったが事例が少ない事も有り何の支援にもつながらず、結局自力で居場所を探す事になった。相談しても頼れない事だけが分かり残念だった思いがある。最終的には自分で何とかするしかない事だけが分かった。もう少し民間との連携を進めてくれたら違う結果になったのではないかと思う。 |

| | |
|----------|--|
| 女/40～49歳 | 森のまちとするならばこれ以上森を無くさないで下さい。お願いします。 |
| 女/40～49歳 | 流山市は市役所の職員の対応がとても良いと感じています。 |
| 女/40～49歳 | まだ流山市に来て1年ちょっとなので分からない事も多々あります。ただ、とても良い所であると思っておりますので、何か協力できそうなことが有ればやってみたいと思います。また、年齢的には先の話かもしれませんが、自分の身に万が一が起きた際、スムーズにリハビリが出来る様、常に最新の情報を提供いただけると助かります。 |
| 女/40～49歳 | 歩行者が安全に歩けない道が多い。子ども連れで歩くと安心できない。学校や保育園近くの道路でスピードを出す車が多く、取締などを行ってほしい(警察と連携して)。南流山小学校付近です。 |
| 女/40～49歳 | 家族が見ていたので書いてないですが、市のアプリを作ったり(家族にも、どう言ったらいいのか)、家族だから言えない事の相談を、市役所に手紙でも、アプリでもあると良いです(お願いします)。役所の方にありがとうございます。 |
| 女/40～49歳 | 以前住んでいた所では、よくボランティアを募集しており、授業参観時の未就学児の預かり(空いている教室で)をして下さる方々がいたり、登下校時の見守りをして下さる方がいたりして、とても助かりました。市民の中にはボランティアをやりたいと考えている方もいらっしゃると思うので、広報やホームページ等で広くお知らせして欲しいなと思います。 |
| 女/40～49歳 | 新生児訪問(第2子の時)をきっかけに、産後うつの治療を始めることができました。その時お世話になった保健師の方々、本当にありがとうございました。流山小学校近くのスクランブル交差点をはじめ、シルバーの方々、朝夕の子どもたちの登校の見守りをしてくれるのでありがたいです。市議会議長の青野さんをはじめ、みなさん、自身の健康にもご注意下さい。 |
| 男/50～59歳 | 小中学校の拡充を望みます。外国資本の参入を排除してほしい。公立病院の誘致を進めてほしい。 |
| 男/50～59歳 | 人口が増え、子育て支援に力を入れている様子は伺えるが古くからの住民と若い世代(移住されてきているの方々)との温度差を感じる。段々住みづらくなっています。 |
| 男/50～59歳 | 30～40歳台の人口が増加してゆく反面、自治会における慣例的なルールの存在が有り、双方の理解、協力体制については残念ながら隔たりがあると考えます。 |
| 男/50～59歳 | 今は個人情報で色々問題があるので役所の中でもう少し相談しやすいシステムを作ってくれ。 |
| 男/50～59歳 | 渋滞が発生する道路を中心に改善対策を(今後も)進めて欲しい。・夜間は2～3m先が全く見えない道路が多く存在するため、防犯対策としても街灯の再整備を考えて欲しい。「ある」=「十分」ではないのが実情。何度も事故になりそうなヒヤリハットを経験している。 |
| 男/50～59歳 | 賃貸住宅に20年位住んでいるが、近所とのコミュニケーションが難しく、地域福祉などに関わる機会がない。最近移住している人の中には、こういった繋がりを持たない人も多いのではないかと。 |

| | |
|----------|---|
| 女/50～59歳 | 在宅福祉医療について、隣市(柏や松戸)にかなり遅れをとっている印象があります。大学病院こそありませんが、流山中央病院、東葛病院、千葉愛友会病院などの病院もありながら、クリニックや診療所などの地域に根ざした医師会などの連携がうまく、見えてきません。松戸市のように個人の医院同士が連携を組んで、休日にも対応できる在宅医として機能する事はできないのでしょうか？これからは、在宅医療の時代です。介護医療に関するサービス事業者を受け入れ、在宅医を確保し、医療連携体制の強化を望みます。 |
| 女/50～59歳 | 自分の親や親戚の様子を見て、高齢者へのサービスは、充実しているように思っています。地域の住民が交流できる場があるといいと思います。子どもが大きくなると、なかなか地域の人との交流が難しいなと思っています。南流山駅の駅前がもう少しにぎやかになるといいなと思います。毎日たくさんの人が乗り換えしているのに、ちょっと立ち寄りのお店なども少なく、淋しいと思います(アンケートの内容とはズレますが)。流山市のためにありがとうございます。がんばってください。 |
| 女/50～59歳 | 防災無線の音が聞き取りにくい(響いてはつきり聞こえません)。メールで確認することができますが、携帯電話が使えない状態になったらと思うと不安です。街路樹の落ち葉の掃除をして頂けるのはとても有難いです。できれば、作業日が分かれば、その日付近は自分では行わずに、お任せしたいと思っています。 |
| 女/50～59歳 | 地域の活動は、日中に在宅する人が減少する時代には、今までのようには行かないと感じます。地域のボランティアをしておられる方は、いくつも抱えている人もいて活動が広がっているようには思えません。時代の変化に伴う合理化が必要だと思います。善意に頼るよりはお金をきちんと出して仕事にするのも必要だと思います。 |
| 男/60～69歳 | 自分はまだ仕事をしており、地元の地域福祉等の活動に参加する時間が取れませんが、いずれ仕事を辞めた時には、自分が高齢ながらも出来る限り何かしら地域に役立つことをしたいと考えています。そのためにも流山広報等での地域福祉に関する情報提供をよろしくお願い致します。 |
| 男/60～69歳 | 自転車レーンを車道、歩道に分離。車いすレーン及び道路段差解消、山口県下関市は歩きやすい。公園の遊具が不足、バラつきがある。高齢者が立ち寄れる公園が必要。公園は災害時の基地的な対応が出来る設備を、「火」「水」「屋根」。加2号公園、単に雑木林、竹林、巨大、楽しめない。高齢者が永く自立する外の環境がない、場所の充実。江戸川の河川敷活用、サッカー、野球が主。市内遊歩道の整備、ミニ開発ばかりで車が優先。 |
| 男/60～69歳 | アンケート集計で終わりにしないでほしい。 |
| 女/60～69歳 | ゴミ置き場が近所でバラバラで適当な気がします。そうじ当番をしている方と、班にも組にも入っていない方もいて、街をきれいにしたいなら、道や橋などを作るだけでなく、ゴミ置き場を統一したり、道路に街灯を増やして欲しい(特に三輪野山)。 |

| | |
|----------|--|
| 女/60～69歳 | 情報発信等が受け身だと思う。やっているとは思いますが、用紙を置いておだけ、HPに載せるだけ、だけだと思う。本当に知りたい人は手段を知らない人が多いと思う。市の職員は、事務手続き作業におわれて、市内のようすを見れていないと思う。事務手続きはもう少し、アルバイトの方とかにおまかせして(実務の軽減)、活動し、生の声を拾い、地域に密着した動きをする方が良いと思います。本当に助けを必要としている人を見過ごしていないですか。質問事項が難しいアンケートですね。 |
| 女/60～69歳 | 街に防犯カメラが少ないと思う、暗い道が多いので増やして下さい。市役所行のバスを作って欲しい。 |
| 女/60～69歳 | 近隣とはトラブルもなく本当に困ったときには相談したり、助け合ったりできる友人もいるが、互いの生活にはなるべく踏み込まない距離を保っていたい。そのため、住民同士の支え合いは、災害時には大切だが、平時は必要最低限でよいような気がする。これからもっと高齢になり、支えてもらうことが必要になったとき、どのようなサービスや施設があるのか、どのような選択肢があるのか等相談したり、手続きしたりがよりスムーズにできるシステムが確立されているとよいと思う。 |
| 女/60～69歳 | コロナ禍で、密にならないよう支援するのは大変だと思う。丁寧な対処支援をお願いします。 |
| 女/60～69歳 | 治安の良く安心して暮らせる地域にしたい。見守りを充実し笑顔と思いやりを忘れずに綺麗な街づくりを目指して行きたい。 |
| 女/60～69歳 | 福祉計画を、国民に、福祉が必要な方に、家族にわかりやすく示し、行政が足を運んで説明してあげられるよう支援の取り組みをしてほしい。自分の家族がそうだったらこうして欲しい気持ちを持って、人が温かい流山を目指し、国民が笑顔のある環境を、笑顔のある家庭で過ごしてもらえ地域社会を望みます。 |
| 女/60～69歳 | 引っ越して6年以上、住みやすい街だと思ってます。福祉(地域)を考える事がなかったので、これから益々年を取っていくので、少しずつ考えて、学んでいきたいと思います。 |
| 女/60～69歳 | 防犯カメラを各地域に設置する。空き巣等に備える、学童の登下校にも良い。車を運転出来なくなった高齢者の為にもグリーンバス等、バス便を各地にもっと増やす(免許返納もしやすい)。自治会館等は古くて耐震強度が有るのか、その様な所に沢山の人が集まるのは危険なのではないかと不安がある。大変古い建物で地域の人が集まれる会館は市の方で補助をしたりして場所を整えて欲しい。運動公園は子どもからお年寄りまで健康増進にも良い場所ですが、市役所の前の道路から公園までは危なく、とても子どもだけで自転車等では行けません(大人がついても危ない)。別の場所でも、自転車が通る所のアスファルトがデコボコで転んで鎖骨を骨折した人もいます。皆が安全に移動できる街にして欲しいです。近所の人とは適度な距離があった方が良い所があるので、外で話したり外から見る事はしても深入りしたり、家に入って何かするのは、公か他で頼む方が良いと思います。 |

| | |
|-----------------|---|
| <p>女/60～69歳</p> | <p>民生委員・児童委員にプライベートな事は話せない。相談は自治体にお願いしたい。委員は名誉職と思っている様で、代々住んでいる地元といった認識でグループになっており、転入して来た市民(何十年住んでいても)とは一線が引かれている。特権、名誉職と思っているなら不要。本当に何か活動してもらえらなら、ボランティア・NPO等で先頭に立って欲しい。以前、児童委員に愚痴を言ったら、家庭内の事を他人に話され迷惑したと言った事も聞いた事がある。</p> |
| <p>女/60～69歳</p> | <p>無関心が一番怖いことだと思っています。一人一人が利他的で、エンパシーを持つことが大事だと思っています。今思っているのは、若い年齢層の介護の問題についてです。広域での支援はできませんが、自分が住んでいる隣近所であればお手伝いできる、と考えている人が多いのではないのでしょうか。困っている人が、声を上げることのできる行政であってほしいし、そういう人が近所にいることを伝えてもらえれば、何かしら市民にもできるはずですよ。特に、勉学に励むことのできない理由として、学生が介護(身内の)に心身を疲労させられていることに胸が痛いです。</p> |
| <p>男/70～79歳</p> | <p>困ったことが今まで発生していないため、福祉制度の内容を十分把握しておらず、広報等で情報を得たい。</p> |
| <p>男/70～79歳</p> | <p>相談窓口をどこにするか、全てが役所では無理でも、個人には相談しにくい事もある。ある程度公共性がある所がいいと思う。一人で悩む状況を無くしたい。</p> |
| <p>男/70～79歳</p> | <p>福祉に関し、理解していない。情報を充実してほしい。</p> |
| <p>男/70～79歳</p> | <p>地域福祉は大切です。流山市発展の為にぜひ力点をここにおき、その為にも住民が何を望んでいるかを、定期的に調査していただくとありがたいです。</p> |
| <p>男/70～79歳</p> | <p>若い住人中心に街作り(造り)が進められているのは悪い事とは思いませんが、20万都市になろうとしている現在まで、なぜか公営斎場の新設の話は見えません。現在の柏斎場は遠く非常に不便に思います。団塊の世代がこれからなので1年も早く新設して欲しいと願っています。市議の方宜しくどうぞ。</p> |
| <p>男/70～79歳</p> | <p>今現在主人が入院中で、それに昨年から全世界がコロナに悩まされ、どこの病院も面会できません。なので自分自身の愚痴も多少は言っているかもしれませんがご了承ください。すみません。住んでいる家が集合住宅なので、隣人とは挨拶かたまに親戚からのからのおみやげのおすそ分け程度です。住宅が密集していますが静かです。</p> |
| <p>男/70～79歳</p> | <p>自治会活動について、自治会を退会する人が多くなりこのままでは自治会に参加する人はいなくなってしまう。高齢になると自治会の役員、班長等役職に就くには体力が無くなり体への負担が大きいです。また、自治会費も高く、負担になっている。その使い道にも疑問有り、お祭り、文化祭などは一部の楽しみにしている人の為に高いお金が使われており、その他の人は不満に思っているが何も言えない。高いお金を払っているのに何の恩恵も感じない。重荷しか感じない自治会になっている。支え合い活動について。共助精神は良いと思うが支えている人の家庭には入り方が誤って器物損壊、人体にけがをさせた場合の補償が心配でとても関わる事が出来ない。保険等に入っていないととても心配で支え合うことは出来ないと思っている。</p> |

| | |
|----------|---|
| 男/70～79歳 | 高齢社会になっていく中で毎年生活環境が悪化(身体的不自由)が進むので、対応策の進化を望みます。 |
| 男/70～79歳 | 街灯、スピーカーの調整(南流山) |
| 男/70～79歳 | 自身の生活環境内で、本人が自力で努力で解決する様に努め、結果がでない時は行政が助ける、これが福祉と思います。 |
| 男/70～79歳 | 私が高齢者であり、出来る事と出来ない事があります。出来る事は進んで参加しても良いと考えております。時間が許す範囲であれば。 |
| 女/70～79歳 | 地域福祉に関して、活動、努力をして下さる方々に深く感謝申し上げます。多々のご苦勞をなさり、地域の方々の生活を見守って下さり、私達はその恩恵を頂き暮らしています。しかし、このことを理解している市民は限られていて、多くの人はあたりまえの日常と思っているかもしれません。高齢者でも、まだまだ、健康で地域福祉活動に協力したい方々がいらっしやと思います。長期にわたる協力ではなくてもその時々協力して下さる方がいたら、長期につなげられる活動も出来ると思います。多くの高齢者は、ささやかな人助けでもしたいと思っていますから、誰でも参加できるシステムを作って頂きたいと思っています。 |
| 女/70～79歳 | 世話をしてやってる感じがしますのでうとうしい。親切というより押しつけ感がありますのでうとうしい。 |
| 女/70～79歳 | 昨年、主人が亡くなりました。病院から訪問看護、また、訪問診療となり、福祉の面でお世話になりました。いずれ私も通る道。ますます充実した流山市になるよう期待します。 |
| 女/70～79歳 | 毎日が楽しく生きられる。 |
| 男/80歳以上 | 流山市に居住して40年になります。私的生活も職場でも実力を発揮出来ました。地域の生活環境が良かったからだと思います。 |
| 女/80歳以上 | 高齢者が増え、独居老人も増えています。そういう人たちがすぐに施設に入るのではなくて、住み慣れた地域で生活を続けていけるような具体的な対策が欲しい。コロナで老人たちが集まっておしゃべりもできなくなっています。みんなうつにならなければ良いのですが。どういう手段があるのだろうかと考えてしまいます。 |
| 女/80歳以上 | 外に歩き出たいが、すぐに疲れて座りたい。座ればまた続いて歩ける。膝や腿が痛い。どうかなんでも良いので、座れるように、街歩きが出来る様にしてほしい。健康の為にも。バス停にさえ椅子がないので、バスが遅れるともう辛くて。他の町では流山市程ひどくないです。最低です。 |
| 女/80歳以上 | 最後の問50に関して全てに丸を付けてしまいましたが、そのすべてが充実すれば本当に住みやすい流山市になると思います。今でも住みやすいと思っていますが若い人が沢山移住して来て、老人も若い人も満足できる市になることを願っています。 |

東部

| | |
|----------|---|
| 女/20～29歳 | 生活保護を世帯ではなく個人に支給してほしい。税金は個人なのに、ルームシェアをしているだけで支給は世帯なのは納得いかない。お金がなくてルームシェアをしているのに。引っ越し費用もコロナのせいで職を失ってから貯めれないし、メンタルクリニックに通うお金もない。せめて、恋愛関係でないルームシェアでも、生活保護か金銭的な援助が受けられれば。 |
| 女/20～29歳 | 福祉に関しては分かりませんが、仕事をしていると市役所に行けません。遠いし時間も合わない。臨時開庁も月1回程度。出張所に送ってもらっても時間が間に合いません。せめて19時までお願いしたいです。できれば駅の近くで19時まで。 |
| 女/20～29歳 | 私の住む地域では、あまり地域福祉に関する周知が進んでいないような気がします。周知を進めるためにも、方法や機会の充実が必要かと思います。 |
| 女/20～29歳 | コロナで収入が減って生活が厳しいです。貸付ではなく国や県、市町村で補償をしっかりと欲しています。 |
| 男/30～39歳 | 福祉事業は今後もこの街に住み続けていきたいかに大きく関わるものだと思います。私は現在、子育て世代ですが、今後自身も歳を重ねると共に、福祉にお世話になる機会も増えてくると思います。人的にも経済的にも福祉拡充に賛同してしたいと思います。魅力ある市をつくるために、今後も手を尽くして欲しいです。 |
| 男/30～39歳 | 流山市はこの数年で人口増加、年齢層が若返っているかと思います。自身も含めて、新しく住み始めた人にとって、流山市の地域福祉に関して、認識する機会、場所が必要だと思います。地域のイベント等を通じて、そういった流山市の取り組みや、もしもの時の相談窓口をきちんと知っておく必要があるかと感じます。また、今は若い世帯が多いかと思いますので、子育て、教育の充実が必要かと思いますが、数十年後に急速に高齢化が進むことが想定されます。既に高齢化が進んでいる地域もありますが、おおたかの森周辺などの将来的に高齢化が進展することも見込んで、医療、福祉体制を充実させておく必要があると思います。まず現状の流山市の状態や課題をしっかりと住民が認識するとともに、将来的にどういった街にしていくのか、住民が良く考え街づくりを進めていくことが必要だと思います。 |
| 男/30～39歳 | 野々下は、昔からの住民と新しい住民の入れ替わりの時期です。また、昔からの住民が多く、自治会の活動なども高齢者向けが多いように感じます。おおたかの森や南流山周辺以外の地域にも、子育て世代向けのサービス等を充実していただきたいと思います。 |
| 男/30～39歳 | 子どもや若者のことを一番に考えて欲しい。こんなアンケートで何が変わったのか教えて欲しい。 |
| 男/30～39歳 | 子どもへの支援、子育て世代への支援が少ない。森も減っており、魅力が減っている。 |
| 女/30～39歳 | ゴミ置き場のルールを。働き盛りの世帯の負担のないルールに改正するよう、市で主導してほしい。ごみ置き施設の補助金等。 |

| | |
|----------|---|
| 女/30～39歳 | 納税額に関わらず、子どもに対する支援を全員が同じ様に受けられるように市で補填して欲しい。インフルやおたふくの予防接種など、近隣の市では補助が出ているようなので、流山市でも補助して頂きたい。松戸市の小学校で行っている放課後KIDSルームのような場所が欲しい。 |
| 女/30～39歳 | 向小金1丁目から通える保育園が少なく困っているので増やして欲しい。 |
| 女/30～39歳 | 流山市は年々人口も増加していて活気の有る街になってきているのかなと思います。子どもも多く遊ぶ所も増えてきているので子育て世代には住みやすくなりました。公園などがもう少し増えるともっと良いなと思います。これから長い目で見て増えた人口を維持、さらに増やすのは大変だと思うのでこれからどうなるのが楽しみです。 |
| 男/40～49歳 | 名都借(向小金)の陸橋拡張工事を進めていらっしゃいますが、エレベーターは不要だと思う。歩行者が多い駅近くに作るのなら理解出来ますが、メンテナンスにも費用がかかるので後々大変だと思います。 |
| 男/40～49歳 | ごみを分別できない人がいます。その人に対して流山市から強制退去を要請。 |
| 女/40～49歳 | 福祉については身近に高齢の方、障害のある方がいないとあまり現実的に想像しにくいと思います。向き合うタイミングが来ないと全くどんなことが支援されているのか知りません。私の子どもは言語の遅れがあり、子どもの言葉の教室を利用させていただきました。まず思ったのが、自ら調べていかないと、この支援に出会えなかったこと、活動されている先生方はとても素晴らしい方々でしたし、その方々がもっと活躍している姿を、一般の方に触れる機会があってよいと思います。誰もが福祉と向き合う可能性がある以上、もっと情報発信が必要だと思います。 |
| 女/40～49歳 | うちの地域は流山の中でも松戸や柏に近く、あまり流山愛のないエリアです。もっと、流山の端っこのエリアにも情報が届くと良いなと思います。流山市役所はとてもよい所で、部ごと連携もできているな、と思うことがすごくあります。市民のことを考えてお仕事して下さっているのを、手続きひとつでもとても感じます。こういった試みも、うちのような端っこエリアにも忘れずに届けてほしいなと思います。子育てするなら、その子どもたちがそこで活躍して生きていきたい、そこで老いていこうと思えば、それが本当に一番です。障害のある人への支援はまだまだ薄いです。でもコロナでのひとり親への支援は助かりました。感謝しています。ボランティアもしてきましたが、気軽に人を助けることができる力をみんな持っているの、市民の心の土台もアップしていくと良いと思いました。ちなみにですが、ひとり親は離婚後、メンタルでサポートしてもらえるといいなと思います。養育費さえもらえない人はたくさんいます。 |
| 女/40～49歳 | 宮園はバスの便が少なく不便です。グリーンバスのような(100円位で乗車)できる公共交通機関が欲しいです。高齢者の運転が気になります。 |

| | |
|-----------------|--|
| <p>女/40～49歳</p> | <p>地域福祉は必要だと思うが、地域内でも家庭(世帯)や個人によって支援の程度は異なる為、どこまで地域福祉がサポートできるのか、住民全て(今必要でない世帯にも)に理解できるように広報で啓発して欲しい。今の地域福祉の実態が分からない。このアンケートにもURLだけでなく2次元コード等でアクセス出来るようになっていれば、市民が知るチャンスに出来たのではないか。アンケートについて、設問と選択肢が多すぎると感じました。問29はできる、できないの他に選択肢(条件が合えばできる、わからない)があった方が良かった。体制(市のサポート)が整っていればやりたいと感じたので。地域福祉計画、パブリックコメント等、実施予定ならお知らせを頂きたいです。</p> |
| <p>男/50～59歳</p> | <p>前ヶ崎は流山市の端のため、管理が薄いと感じます。もう少し配慮いただければと思います。</p> |
| <p>女/50～59歳</p> | <p>昨年末に流山に引っ越してきました。流山市の情報がなかなか得られません。市の広報を住民全戸に配布して欲しいです。</p> |
| <p>女/50～59歳</p> | <p>松ヶ丘や名都借など、東部地区から市役所のバス路線を作って欲しい。80歳超の母がそろそろ免許を返納したいと考えているが、市役所までの足がなく、返納できない。事故が起こってからでは遅い。</p> |
| <p>女/50～59歳</p> | <p>子どもがおらず、夫婦共働きなので福祉行政などに関心はなかったが、歳を重ね、自分自身が協力できることをしたいと思うようになった。ボランティア活動などを手伝えるような案内をしてもらえる様にしてほしい。又はボランティアをするための勉強会など。</p> |
| <p>女/50～59歳</p> | <p>地域福祉に関してまったく知らないのでよくわからない。</p> |
| <p>女/50～59歳</p> | <p>これからいずれお世話になると思うので、気軽に相談できるのと、自分から探しに行かないと分からない情報発信ではなく、地域の中で分かる工夫をしてほしいです。今は子育て、仕事で忙しく協力できませんが、落ち着いたら協力したいと思っています。</p> |
| <p>女/50～59歳</p> | <p>どこに何を相談して良いのかわからない人が多いのではないかと思うので、他市の「なんでもやる課」の様な所を作ってもらえると、住民が相談しやすいと思う。独りで暮らしている方で、特に男性が外に出ない事が多い様なので、今コロナで無理だが月に1回でも地域で集まり、無料で会食できるなどあると良い様に思う。ボランティアの方などで、温かい手作りの食事などだと特に良い様に思う(お弁当だとそれだけをもらいに来る方が出るのではないかと思うので)。身体が不自由な高齢者などには、医療マッサージなど訪問治療などを進め、少しでも健康になる様、いろいろな選択が出来る様、情報を提供できると良いと思う。(会話の向上や安否確認にもなる)</p> |

| | |
|-------------------|--|
| 答えたくない /60～69歳 | 自分がいかに知識不足かをこのアンケートを通して痛感させられました。子育て世代だけに注目を浴びている流山市と聞いていたので、高齢化対策、弱者対策も頑張ってもらいたいと思っております。身近な問題ですが、高齢になった時に、24時間ゴミ出しが出来たらと思っています。近所の他市では、法令でそういうゴミ捨て場を設けるよう最初からマンションは決められていますが、今の流山ではいかがなのかと疑問に思っております。なんでも疑問に感じた事を伺える場所があったらと思います。 |
| 男/60～69歳 | 今後数年間コロナ対策が必要となると思います。感染対策の状況を広く周知して頂きたい(松戸市、柏市との連携も必要と思います)。 |
| 男/60～69歳 | 東部地区は、老人が多い割に、歩道がない道路が多いと思う。 |
| 男/60～69歳 | 高齢者にやさしい流山市であって欲しいです。出来る事は協力していきます。 |
| 男/60～69歳 | 高齢者の介護施設(要介護1～3なら誰でも入れる施設)の充実を進めてほしい。 |
| 男/60～69歳 | 日本人は、手助けに対して恥じる方が多く、自分からは声を出さないとします。行政の方からそんな方を見つけ出して、手伝いと手助けが出来る様な制度が有ればと思います。 |
| 女/60～69歳 | 私のよく使う道路は、松戸、流山、柏と市がよく変わりますが、流山の地区だけ歩道がなく、狭いバス通りです。自転車で通るには危険なので早く整備してほしいです。 |
| 女/60～69歳 | 一番みたくない見出し"救えるはずの命だった"虐待根絶を願います。 |
| 女/60～69歳 | 集合住宅の場合、近いだけにプライバシーを守るためにあまり親しく出来ないのかもしれない。もっと周りを見ていきたいと思う。 |
| 女/60～69歳 | 相談した事は無いですが、何を相談できるのかハッキリと分かりません。 |
| 女/60～69歳 | これ以上緑地を減らさないで欲しい。グリーンバスの本数増便を希望。グリーンバスのルートの増加を希望。 |
| 女/60～69歳 | "都心から一番近い森のまち"というキャッチフレーズを市のHPで見つけて気に入って2年前に東京から転居して来ました。森や林が多い街であることが大変気に入っていますが、最近の台風の影響もあってうちの裏の森(第二散常の森、浄水場の近く)の木がかなり切られて残念に思っています。森が裏にあるからこそ現在の中古物件を購入して来たのに、木が万一無くなってしまったら何のために引っ越したのか分かりません。見ていると業者の方もかなりぞんざいに伐採して、木や枝を裸にしている事が多いです。どうぞこれ以上森を切りすぎない様切にお願い致します。毎日今も窓を開けたら森の木々が見え、鳥たちが来てくれるのを喜んでおります。 |
| 女/60～69歳 | 新聞を取っていないので市の広報誌が入手できないため情報が得にくい。自治会等の回覧板に挟んであれば良いのにと感じる時がある。地域福祉とは別の事ですかね。 |

| | |
|----------|---|
| 女/60～69歳 | 地域活動の代表である自治会は高齢化(役員の)が進みなかなか30～60代の方が役員としてやって頂けるのか、難しい時代となりました。なので、それに代わる地域の活動が活発になる取組が今後必要になるのではと思っています。特に、東部地区は本庁などに遠く、置いておかれている気がします。 |
| 男/70～79歳 | 地域福祉に関する連携や協力方法について、自治会や民生委員、児童委員や福祉関係者とでもう少し話し合いすることが必要と感じます(地区・社協の小型化)。自治会と福祉関係を担当する行政部署の協同・連携の強化を更に深めることはどうでしょうか。 |
| 男/70～79歳 | 今回のアンケートをもとに、どのような助けが必要な人がいるかを円グラフ等で分かりやすく公表し、手助けが積極的に出来なくても、出来る時なら行える人も多いので、必要な活動を分かりやすく公表してもらいたい。 |
| 男/70～79歳 | 貧富の格差、政治のポピュリズム化、新自由主義のはびこり等々により社会が分断化されており、地域福祉の目的が多様化。行政としては生活困窮者への支援に目標を置くことで充分。 |
| 男/70～79歳 | 自治会も高齢者が多くなり自治活動に参加する事が出来なくなって来ている為若い人達の参加が欲しい。 |
| 男/70～79歳 | 例えば野外放送設備も平面地図割で設定するだけではなく、建物や森林、空地など立体的判断も加えて設定して欲しい。全く聞き取れず「何か言ってるな」程度です。又、災害時などに備え、有線放送導入も一考では。 |
| 女/70～79歳 | 新型コロナの影響で地域の中での医療体制の不安を強く感じております。健康で過ごせてこそその活動になりますので、この点の充実を心から願っております。たまたま、娘には重度の障害がありますので、色々な面で動きにくいことが多々あります。即、生命にかかわる地域の医療体制の充実を願ってやみません。よろしく願います。 |
| 女/70～79歳 | ここでの生活は何の問題も無くこの年齢まで生きてこられたと思います。ボランティア活動を退いてからは、近所も1人生活や老老介護が増えたかな。お話相手、声かけ位は出来ますがそれ以上のことは出来ないでいます。一番困るのは皆さんと同じ様に言いますが、東部診療所、東部公民館が遠くなりました。具合が悪い時は遠回りでバスを利用したりタクシーを使ったりしています。今更病院を変えるのも面倒ですので。医療関係、そこに行く足(バス)前ヶ崎、向小金地区等考えて頂けないでしょうか。 |
| 女/70～79歳 | 民生委員の方が良くして下さいますので今の所ありません。今はコロナで声かけはして下さいませんが、お手紙をポストに入れて下さいますので安心して暮らしております。感謝です。 |
| 女/70～79歳 | 福祉活動と言っても参加しにくいと思っています。特定の人が集まっていてその場に入りにくいと思っています。 |
| 女/70～79歳 | 歩道が狭すぎ。それが一番いやです。狭いのに農家の土が出ていてよけいに通りづらいのに、何もしてくれない。 |

| | |
|----------|---|
| 女/70～79歳 | 問50に関して。選択肢の交通の利便性の確保をして欲しい。バスの本数(1時間に)を増やす。これはすぐにでも実行して欲しい。運転免許証を返上する高齢者が多いにも関わらず、この数年要望していても受け入れられない。東部バス会社に苦言しても駄目なので、流山市として考えて欲しい。柏西口 南流山駅行等は1時間内で1本も運行してない。本当に困っている人が多い。 |
| 女/70～79歳 | 自分で分かる問だけ答えました。 |
| 女/70～79歳 | 私の住んでいる所は前ヶ崎ですが、この近くにもくるりんバスが通ると有り難いです。お医者(東部診療所)に行く時に便利なので、よろしく願い致します。 |
| 女/70～79歳 | 災害時に指定された施設(小学校)に行く道路は狭く、また電柱が多くあり倒れ、通行不能になると思います。(柏市との共用を) |
| 女/70～79歳 | 流山市内ではありますが、どちらかと言うと柏市に近い場所にあり、中心部と違いすべてが遅れています。この土地に住んで50年以上、ようやくバスも通り少しは便利になりました。これからは100年時代がやってきます。年配者にやさしく、住みやすいまちづくりを是非お願いします。 |
| 男/80歳以上 | 職員の皆様に感謝しています。コロナの一日も早い収束を願っています。 |
| 男/80歳以上 | 流山の自然を破壊する宅地開発を制限する。 やたら道路をつくらない。地域の利便の為に交通網を充実する。 公園の拡充と整備。 |
| 女/80歳以上 | 前ヶ崎は東部地区の中でも交通の便が悪く、福祉サービスを受ける際に関係機関窓口へ相談する際の移動が非常に困難である。高齢者は自動車の運転ができない、自転車では体力的な問題、交通面での問題があり、不便をきたすことが多い。大型バスでなくてもいいので、マイクロバス程度のコミュニティバスのような公共交通機関を運行できないものか。ご一考願いたい。 |
| 女/80歳以上 | きめ細かいことばかりで、判断しにくいところがありましたが、わかる範囲で答えました。 |

資料編 アンケート調査票

資料編 アンケート調査票

市民意識調査

流山市地域福祉計画策定のための アンケート調査 ご協力をお願い

市民の皆様には日ごろから福祉行政にご協力いただき、ありがとうございます。

流山市では、住み慣れた地域で誰もが安心して暮らせるまちづくりの実現のために、平成29年3月に、市民、関係機関・団体、行政が連携し、ともに支え合い、助け合える仕組みづくりを目指した「第3期 流山市地域福祉計画」を策定しました。

現在、流山市では、「第3期 流山市地域福祉計画」が令和3年度で終了するため、「第4期 流山市地域福祉計画（仮称）」の策定を進めています。

このアンケート調査は、計画策定に市民の皆様の声を反映するため、18歳以上の市民3,000人を対象に実施するものです。皆様の福祉観、地域活動への参加状況などの実態、地域福祉に関するご意見、ご提言を広くお聞きかせください。

このアンケート調査は、回答者の皆様のプライバシーに配慮して、個人を特定することなく、統計的に処理します。趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和3年1月
流山市長 井崎 義治

< ご記入にあたってのお願い >

1. 質問には、できるだけあて名のご本人がご回答ください。
なお、ご本人が回答できない場合は、ご家族の方が代筆されても結構です。
その際、各質問にはご本人の立場でご回答ください。
2. 選択肢のあてはまる番号を○で囲んでください。
3. 質問によっては、選択肢や○の数、ご回答いただく方が限られているものもあります。
矢印（→）やことわり書きに従ってご記入ください。
4. 「その他」に○をつけられた場合は、その内容をできるだけ具体的に（ ）内にご記入ください。

なお、ご記入いただいたアンケート用紙は、同封の返信用封筒（切手は不要です）に入れ、**2月9日(火)**までに、お近くのポストへご投函くださいますようお願い申し上げます。

本調査についてのお問い合わせ先

流山市役所 社会福祉課健康福祉政策室
電 話：04-7150-6079
FAX：04-7158-2727

市民意識調査

流山市地域福祉計画策定に向けて

1 地域福祉って？

「高齢者福祉」はお年寄りを、「障害者福祉」は身体等の障害のある方を、「児童福祉」は子どもを対象とした福祉の取組です。それに対して「地域福祉」とは、皆さんが住んでいる「地域」を対象に、流山市に住んでいる皆さん全員を「福祉の担い手」ととらえ、地域での助け合いを活発化させるための取組のことで

2 地域福祉と地域共生社会

かつては地域や家族同士の助け合いなど、人々の生活の様々な場面において支え合いの機能が存在していましたが、高齢化や人口減少で地域や家庭などの支え合いの基盤が弱まっています。また、お年寄り、障害のある方、児童などの対象者別、機能別に整備された公的支援についても、様々な分野の課題が絡み合い複雑化するなど、対応が困難な場面が増えています。

そこで、このような社会構造や人々の暮らしの変化を踏まえ、制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域にお住まいの方や地域の多様な主体が一人ひとりの暮らしと生きがい、地域を共に創っていく「地域共生社会」の実現を目指していきます。

3 地域共生社会を実現するためには？

地域共生社会を実現するためには、地域にお住まいの方・様々な機関や団体・行政など皆が、その役割・できることを認識して積極的に活動に参加できるよう、「自助」、「共助」、「公助」という役割分担の考え方のもと、様々な地域生活課題を「地域みんなの問題」と考えて、世代や分野を超えてつながり、問題解決に積極的に取り組むことが必要となっていきます。



自助＝市民

- 市民一人ひとりができること
- ・普段から互いにあいさつをしたり困っている人への声かけをする。
- ・日常生活の中でボランティアや地域活動への関心を持ったり、参加したりする。



共助＝地域

- 地域のみんなのできること
- ・介護や子育てなど、地域で気軽に話し合える場を持ち、みんなで助け合う。
- ・地域活動の情報を発信し、支え合う。



公助＝行政

- 行政が取り組むこと
- ・地域における見守りや支え合い活動を推進する。
- ・ボランティアの養成を進める。

4 誰もが安心して暮らせる社会をめざします！

地域のことや、日ごろ感じる生活の課題などを一番よく知っている、地域の皆さんの参加と協力が必要不可欠となります。

市民参加の第一歩として、アンケート調査へのご協力よろしくお願いいたします。

なお、アンケート調査結果や地域福祉計画については、随時、広報や市ホームページなどでお知らせいたします。



切り取って、資料としてご利用ください

市民意識調査

ご自身についてお伺いします。

問1 あなたの性別を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

- | | | |
|-------|-------|-----------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. 答えたくない |
|-------|-------|-----------|

問2 あなたの年齢を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 18、19歳 | 2. 20～29歳 | 3. 30～39歳 | 4. 40～49歳 |
| 5. 50～59歳 | 6. 60～69歳 | 7. 70～79歳 | 8. 80歳以上 |

問3 あなたの職業を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 会社員・会社役員(常勤) | 2. 団体職員・公務員(常勤) |
| 3. パート・アルバイト・内職 | 4. 自営業(家族従業者も含む) |
| 5. 主婦(家事専業) | 6. 学生 |
| 7. 無職 | 8. その他() |

問4 あなたがお住まいの地域はどこですか。(あてはまるもの1つに○)

| | | | | |
|--------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| 北 部 | 1. 東深井 | 2. こうのす台 | 3. 美原1～4丁目 | 4. 富士見台1～2丁目 |
| | 5. 富士見台 | 6. 江戸川台東1～4丁目 | 7. 中野久木 | 8. 小屋 |
| | 9. 深井新田 | 10. 江戸川台西1～4丁目 | 11. 平方 | 12. 南 |
| 中 部 | 13. 平方村新田 | 14. 上新宿新田 | 15. 西深井 | 16. 北 |
| | 17. 若葉台 | 18. 上貝塚 | 19. 駒木台 | 20. 東初石1～4丁目 |
| | 21. 桐ヶ谷 | 22. 大畔 | 23. 美田 | 24. 西初石1～5丁目 |
| | 25. 谷 | 26. 上新宿 | 27. 下花輪 | 28. 青田 |
| 南 部 | 29. 駒木 | 30. おおたかの森 北一～三丁目 | 31. おおたかの森 東一～四丁目 | 32. おおたかの森 南一～三丁目 |
| | 33. おおたかの森 西一～四丁目 | | | |
| 東 部 | 34. 三輪野山 | 35. 三輪野山一～五丁目 | 36. 流山1～9丁目 | 37. 西平井 |
| | 38. 西平井一～三丁目 | 39. 流山 | 40. 加一～六丁目 | 41. 加 |
| | 42. 平和台1～5丁目 | 43. 鱈ヶ崎 | 44. 鱈ヶ崎二丁目 | 45. 市野谷 |
| | 46. 南流山1～8丁目 | 47. 木 | | |
| 東 部 | 48. 宮園1～3丁目 | 49. 古間木 | 50. 野々下1～6丁目 | 51. 名都借 |
| | 52. 思井 | 53. 思井一丁目 | 54. 前平井 | 55. 長崎1～2丁目 |
| | 56. 前ヶ崎 | 57. 中 | 58. 後平井 | 59. 松ヶ丘1～6丁目 |
| | 60. 向小金1～4丁目 | 61. 芝崎 | 62. 西松ヶ丘1丁目 | |

問5 あなたが流山市に住み始めて何年になりますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | | |
|-------------|-------------|------------|
| 1. 3年未満 | 2. 3～5年未満 | 3. 5～10年未満 |
| 4. 10～15年未満 | 5. 15～20年未満 | 6. 20年以上 |

問6 現在のお住まいについてお聞かせください。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|--------------|--------------------|
| 1. 持ち家(一戸建て) | 2. 持ち家(マンション・集合住宅) |
| 3. 借家(一戸建て) | 4. 借家(マンション・集合住宅) |
| 5. その他() | |

問7 あなたの家族構成について教えてください。(あてはまるもの1つに○)

- | | | |
|----------------|----------------------|------------|
| 1. ひとり暮らし | 2. 夫婦のみ | 3. 2世代(親子) |
| 4. 3世代(親子+祖父母) | 5. 4世代以上(親子+祖父母+その他) | |
| 6. その他() | | |

問8 あなた自身や同居している家族の中に、次のような方はいますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------|-------------------|
| 1. 乳児(1歳未満) | 2. 乳児を除く小学校入学前の幼児 |
| 3. 小学生 | 4. 中学生・高校生 |
| 5. 65歳以上の方 | 6. 介護を必要とする方 |
| 7. 障害のある方 | 8. いずれもない |

市民意識調査

生活・健康の状況についてお伺いします。

問9 あなたの現在の生活状況（経済的）についてお聞かせください。（あてはまるもの**1つに○**）

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. とても困っている | 2. 少し困っている |
| 3. あまり困っていない | 4. まったく困っていない |

問10 あなたは、現在、心身ともに健康ですか。（あてはまるもの**1つに○**）

- | | | | |
|-------------|------------|-------------|----------|
| 1. 非常に健康である | 2. まあ健康である | 3. あまり健康でない | 4. 健康でない |
|-------------|------------|-------------|----------|

問11 この1か月間に、どのくらいの頻度で次のことがありましたか。

（①から⑥の項目について、あなたのお気持ちに一番近い答えの番号**1つに○**。なお、答えに迷われた場合でも、最も近いと思うものを選び、すべての項目に答えてください。）

| | 全くない | 少しだけ | ときどき | たいてい | いつも |
|-----------------------------------|------|------|------|------|-----|
| ① 神経過敏に感じましたか | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ② 絶望的だと感じましたか | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ③ そわそわ、落ち着かなく感じましたか | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ④ 気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れないように感じましたか | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑤ 何をするのも骨折りだと感じましたか | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑥ 自分は価値のない人間だと感じましたか | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

問12 あなたは、普段利用するかかりつけの医療機関を決めていますか。（①から③の項目について、あてはまるもの**1つに○**）

| | | | |
|---------|----------|-----------|----------------------|
| ① 医院・病院 | 1. 決めている | 2. 決めていない | 3. 決めているが最近では利用していない |
| ② 歯科医院 | 1. 決めている | 2. 決めていない | 3. 決めているが最近では利用していない |
| ③ 薬局 | 1. 決めている | 2. 決めていない | 3. 決めているが最近では利用していない |

問13 あなたは、現在、1日にどれくらいのタバコを吸いますか。（あてはまるもの**1つに○**）

- | | | |
|--------------|---------------|-----------|
| 1. 喫煙したことがない | 2. 喫煙していたがやめた | 3. 1本～10本 |
| 4. 11本～20本 | 5. 21本～30本 | 6. 31本以上 |

問14 あなたは、現在、どの程度の頻度でアルコール類を飲みますか。（あてはまるもの**1つに○**）

- | | | |
|-------------|------------|------------|
| 1. まったく飲まない | 2. 月に1日～3日 | 3. 週に1日～2日 |
| 4. 週に3日～4日 | 5. 週に5日～6日 | 6. 毎日 |

問15 あなたの運動の頻度についてお聞かせください。（あてはまるもの**1つに○**）

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 毎日、運動している | 2. 週に5日～6日は運動している |
| 3. 週に3日～4日は運動している | 4. 週に1日～2日は運動している |
| 5. 月に1日～2日は運動している | 6. ほとんどしていない |
| 7. その他（ ） | |

問16 あなたの食事の取り方についてお聞かせください。（あてはまるもの**1つに○**）

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 毎日、誰かと一緒に食べる | 2. 週に5日～6日は、誰かと一緒に食べる |
| 3. 週に3日～4日は、誰かと一緒に食べる | 4. 週に1日～2日は、誰かと一緒に食べる |
| 5. 月に1日～2日は、誰かと一緒に食べる | 6. ほとんど一人で食べる |
| 7. その他（ ） | |

市民意識調査

地域や社会とのかかわりについてお伺いします。

問 17 あなたは、現在、地域・街に対してどれくらい愛着がありますか。(あてはまるもの1つに○)

1. とても愛着がある 2. やや愛着がある 3. あまり愛着がない 4. 愛着がない

問 18 現在、あなたの住んでいる地域の中での問題点と思うものは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. あいさつをしない人が多い
 2. 緊急時の対応体制がわからない
 3. 犯罪の増加
 4. 交通マナーの乱れ
 5. 道ばたのごみが増えた
 6. 地域での子どもの見守りがなされていない
 7. 子どもや女性、高齢者、障害のある方に対する虐待を見たり聞いたりする
 8. 隣近所との交流が少ない
 9. 世代間の交流が少ない
 10. 地域の活動が不活発である
 11. 地域の中で気軽に集まれる場が少ない
 12. 自治会の活動に参加しにくい雰囲気がある
 13. 障害のある方に対する理解が不足している
 14. 健康に対する意識が低い
 15. 移動手段が不十分
 16. 特にない
 17. その他 ()

問 19 あなた、もしくはあなたの世帯は、自治会に加入していますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 加入している 2. 加入していない

問 20 あなたは、現在、どのような近所づきあいをしていますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 困ったときに相談をしたり、助け合ったりするなど、親しくつきあっている
 2. 会えば話をするが、親しくつきあうほどではない
 3. 会えばあいさつをかわす程度
 4. つきあいはほとんどない

問 21 あなたは、今後、どのような近所づきあいをしたいですか。(あてはまるもの1つに○)

1. 困ったときに相談をしたり、助け合ったりするなど、親しくつきあいたい
 2. 話をする程度のつきあいはしたい
 3. あいさつをかわす程度で、それ以上のつきあいは望まない
 4. つきあいはしたくない

問 22 あなたは、現在、地域や社会での活動(自治会、子ども会、老人クラブ、市民活動団体、ボランティアなど、主にあなたの居住地域内を活動対象とした活動)に参加していますか。

(あてはまるもの1つに○)

1. 参加している → 問 23-1、2、3へ 2. 参加していない → 問 24-1、2へ

問 23-1 あなたは、住んでいる地域や社会の中で、次の活動にどれくらいの頻度で参加していますか。(①から③の項目について、あてはまるもの1つに○)

| | | | |
|----------------------------------|----------------------|--------------------|-------------------------|
| ①地域の活動(自治会、子ども会、老人クラブなど) | 1. 週に2～3回 4. 月に1回 | 2. 週に1回 5. 年に数回 | 3. 月に2回～3回 6. 参加経験なし |
| ②趣味、スポーツ、娯楽活動 | 1. 週に2～3回 4. 月に1回 | 2. 週に1回 5. 年に数回 | 3. 月に2回～3回 6. 参加経験なし |
| ③ボランティア、NPO、市民活動団体(まちづくり、福祉活動など) | 1. 週に2～3回 4. 月に1回 | 2. 週に1回 5. 年に数回 | 3. 月に2回～3回 6. 参加経験なし |

市民意識調査

問 23-2 あなたが活動に参加している理由は何ですか。(あてはまるもの**すべてに**○)

| | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 地域や社会に貢献したい | 2. 自分の能力や経験等を活かしたい |
| 3. 新しい仲間づくりをしたい | 4. 余暇を有効に活用したい |
| 5. 家庭や仕事以外の生きがいをつくりたい | 6. 自己啓発のため |
| 7. 役回りで仕方なく | 8. 活動に参加している人から誘われた |
| 9. 特に理由はない | 10. その他 () |

問 23-3 新型コロナウイルス感染症によって活動に影響はありましたか。(あてはまるもの**すべてに**○)

| | |
|----------------------|------------------------|
| 1. 影響はなかった | 2. 感染予防対策をとって活動した |
| 3. 感染の不安から活動を延期、中止した | 4. 活動場所が使えず、活動ができなくなった |
| 5. 参加者が集まらなくなった | 6. 活動や運営のオンライン化が進んだ |
| 7. その他 () | |

問 24-1 あなたは、今後、地域活動に参加したいと思いますか。(あてはまるもの**1つに**○)

| | |
|---------------|----------------|
| 1. 積極的に参加したい | 2. 条件が合えば参加したい |
| 3. 参加したいと思わない | |

問 24-2 あなたが活動に参加していない理由は何ですか。(あてはまるもの**すべてに**○)

| |
|--------------------------------------|
| 1. 参加したい活動がない |
| 2. 活動の内容や参加方法がわからない |
| 3. 引っ越してきて間もない |
| 4. 仕事が忙しく、参加する時間が取れない |
| 5. 家事や育児が忙しく、参加する時間が取れない |
| 6. 病人や高齢者、障害のある方等の介護が忙しく、参加する時間が取れない |
| 7. 家族の理解が得られない |
| 8. 現在、ケガをしていたり、体調を崩している |
| 9. 他人とかかわりあいたくない |
| 10. 以前に不快な思いをしたことがある |
| 11. 一緒に参加する知り合いがいない |
| 12. 新型コロナウイルス感染症への感染の不安がある |
| 13. その他 () |

住民同士の支え合い、生活上の悩みについてお伺いします。

問 25 あなたは、お住まいの地域の住民同士の支えあいについて、どのように感じていますか。(①から⑨の項目について、あなたのお気持ちに一番近い答えの番号**1つに**○)

| | とても そう思う | 思う ややそう | どちらとも 言えない | あまり 思わない | 全く 思わない |
|--------------------------------------|-------------|------------|---------------|-------------|------------|
| ① 災害が起こったとき、ご近所の人たちと助け合えると思いますか | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ② 何かアドバイスが必要な時には、ご近所に相談できる人がいると思いますか | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ③ あなたは、ご自分の家庭が近所から孤立していると感じることがありますか | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ④ ご近所の人たちは、お互いに信頼し合っていると思いますか | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑤ ご近所の人たちは、一般的に信頼できると思いますか | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑥ ご近所の人たちは、多くの場合、他の人の役に立とうとすると思いますか | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑦ あなたは、ご近所の人たちとお互いに助け合っていると思いますか | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑧ あなたは、居住する地域で他の人の役に立ちたいと思いますか | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑨ あなたは、現在住んでいる地域に誇りや愛着を感じていますか | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

市民意識調査

問 26 あなたのお住まいの地域では、子ども、高齢者、障害者を含めて、お互いの生活を地域全体で支えあっていると感じていますか。（あてはまるもの**1つに**○）

- | | |
|--------------|-------------|
| 1. とても感じている | 2. 少し感じている |
| 3. あまり感じていない | 4. 全く感じていない |

問 27 あなたのお住まいの地域では、次のような人で周囲の手助けや協力・支援が必要な人や、気にかかる人、何らかの問題を抱えている人はいますか。（あてはまるもの**すべてに**○）

- | | | |
|----------------|------------------|-------------|
| 1. 高齢でひとり暮らしの人 | 2. 認知症の人 | 3. 介護が必要な人 |
| 4. 障害がある人 | 5. 引きこもりや閉じこもりの人 | 6. 虐待が疑われる人 |
| 7. 生活に困っている人 | 8. 刑期を終え社会復帰した人 | 9. ひとり親の人 |
| 10. いない | 11. わからない | 12. その他（ ） |

問 28 あなたは、地域社会の中で、住民同士の支え合い活動は必要だと思いますか。（あてはまるもの**1つに**○）

- | | |
|----------------|------------------|
| 1. 思う → 問 29 へ | 2. 思わない → 問 30 へ |
|----------------|------------------|

問 29 住民同士の支え合い活動として、あなたはどのようなことができますか。
また、隣近所の人に手助けをしてもらうとしたらどのようなことをしてほしいですか。
(①から⑩の項目について、あなたのお気持ちに一番近い答えの番号を、(1) (2)それぞれ**1つに**○)

| | (1) その活動ができるか | | (2) 手助けが必要ですか | |
|---------------------------------|------------------|------|------------------|----|
| | できる | できない | 必要 | 不要 |
| ① ひとり暮らし高齢者の見守り訪問や声かけ | 1 | 2 | 1 | 2 |
| ② 高齢者や障害のある方の話し相手 | 1 | 2 | 1 | 2 |
| ③ 高齢者や障害のある方の、買い物や洗濯等の日常生活のお手伝い | 1 | 2 | 1 | 2 |
| ④ 高齢者と子どもとの交流機会の企画や運営 | 1 | 2 | 1 | 2 |
| ⑤ 外出する際の車の乗り合わせ | 1 | 2 | 1 | 2 |
| ⑥ 放課後に子どもが集まる場の運営や手伝い | 1 | 2 | 1 | 2 |
| ⑦ 子どもの一時預かり、保育園や学童クラブへの送迎 | 1 | 2 | 1 | 2 |
| ⑧ 自主的な防犯活動の展開（自治会パトロール等） | 1 | 2 | 1 | 2 |
| ⑨ 災害時、緊急時の援助（避難所への誘導等） | 1 | 2 | 1 | 2 |
| ⑩ 路上のゴミの管理等、環境の保持活動 | 1 | 2 | 1 | 2 |

問 30 あなたが、住民同士の支え合い活動は必要ないと思う理由は何ですか。（あてはまるもの**すべてに**○）

- | |
|---|
| 1. 自分の生活は自分で責任を持つべきだと思うから |
| 2. 個人の生活を尊重すべきだと思うから（「余計なお世話」になってしまうから） |
| 3. 住民同士で支え合うことは困難であり、行政が責任を持って行うべきと思うから |
| 4. 親戚や友人とのつきあいで十分だから |
| 5. 何かトラブルがあったときに責任が取れないから |
| 6. その他（ ） |

問 31 あなたやあなたの身近な人が、日常生活で何か困っていることはありますか。（あてはまるもの**1つに**○）

- | | |
|--------------------|----------------|
| 1. ある → 問 32-1、2 へ | 2. ない → 問 33 へ |
|--------------------|----------------|

市民意識調査

問 32-1 あなたや身近な人が、日常生活で困っていることはどのようなことですか。
(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---|
| 1. 身の回りのこと（体力に不安があり家事や外出がひとりではできない、障害があり日常生活を送るのに不便がある、認知症等で財産管理ができない等） |
| 2. 子育てに関すること（子どもの発育に問題がある、家族の協力が得られない、いじめや不登校がある、ひきこもりの問題等） |
| 3. 家族の介護に関すること（介護する人が疲れきっている、介護により通学や就業に支障が出ている等） |
| 4. 障害のある家族に関すること（老後に障害のある子どもの面倒を誰がみてるのか等） |
| 5. 経済的なこと（失業して収入がない、カードローンなどの債務等） |
| 6. 住環境に関すること（老朽化している、周囲にゴミ屋敷がある、空き屋の管理等） |
| 7. 治安に関すること（近所に空き巣が入った、ひったくりがあった等） |
| 8. 災害時の備えに関すること（万が一の時に自分や家族がひとりでは避難できない等） |
| 9. 近所づきあいに関すること（つきあいがなく、不安や心細さを感じる等） |
| 10. その他（) |

問 32-2 あなたは日常生活で困った時、誰に相談しようと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------------|------------------|
| 1. 家族や親戚 | 2. 友人・知人 |
| 3. 近所の人 | 4. 職場の同僚や上司 |
| 5. 市役所 | 6. 社会福祉協議会 |
| 7. 民生委員・児童委員 | 8. 保育園(所)・幼稚園・学校 |
| 9. ボランティア団体やNPO団体 | 10. 弁護士や司法書士 |
| 11. 高齢者なんでも相談室（地域包括支援センター） | |
| 12. 各種専門機関・相談支援窓口 | 13. 相談できる人がいない |
| 14. その他（) | |

問 33 あなたは、次の相談支援窓口を知っていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--|
| 1. 高齢者なんでも相談室（地域包括支援センター） ：高齢者の介護・福祉・健康・医療など全般の相談 |
| 2. 障害者相談支援事業委託事業所 ：障害のある人や家族の地域での生活や就労、福祉サービスの利用など全般の相談 |
| 3. くらしサポートセンター ユーネット（生活困窮者自立支援事業委託事業者） ：生活や仕事で困っている人の自立支援や就労支援の相談 |
| 4. 子育て支援センター ：子育てに関すること全般の相談 |
| 5. 子育てなんでも相談室（子育て世代包括支援センター） ：妊娠・出産・子育てに関すること全般の相談 |
| 6. いずれも知らない |
| 7. その他（) |

問 34 もし、あなたの周辺で児童や高齢者等に対して虐待などが疑われる状況を知ったら、あなたはどのように対応しますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 本人や保護者に声をかける | 2. 近所の人に相談する |
| 3. 自治会の役員に相談する | 4. 民生委員・児童委員に相談する |
| 5. 社会福祉協議会に相談する | 6. 市役所に相談する |
| 7. 専門の相談支援窓口相談する | 8. 警察に連絡する |
| 9. 特になにもしない | 10. わからない |
| 11. その他（) | |

市民意識調査

問 35 防災活動や災害など緊急時の対応について、あなたの取組や考えはどれですか。
(あてはまるもの1つに○)

| | はい | いいえ | わからない |
|--|----|-----|-------|
| ① 日ごろから地域の防災訓練に参加している | 1 | 2 | 3 |
| ② 地域の自主防災組織(自治会などを母体に、地域の住民が防災活動をする組織)に入っている | 1 | 2 | 3 |
| ③ 災害などの緊急時に、高齢者世帯や障害のある方など要援護者への、避難等の手助けができる | 1 | 2 | 3 |
| ④ 災害などの緊急時に、避難所への誘導などの手助けが必要・手助けしてほしい | 1 | 2 | 3 |

問 36 あなたは、地震などの災害が発生した時に、困ることはどのようなことだと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 災害の情報がわからない | 2. 安全な場所に避難できない |
| 3. 救助を求めることができない | 4. 救助を求めても助けてくれる人がいない |
| 5. 避難場所がわからない | 6. 物資の入手方法などがわからない |
| 7. 介助や支援が受けられない | 8. 必要な治療が受けられない |
| 9. 周囲とコミュニケーションがとれない | 10. わからない |
| 11. その他() | 12. 特にない |

問 37 ひとり暮らし高齢者や障害のある方など、普段から住民同士の支え合いや災害時や緊急時に支援を必要とする人について、所在(個人情報)や状態を把握して登録する制度があります。この情報把握の方法として、あなたが望ましいと思うものをお聞かせください。
(あてはまるもの1つに○)

- | |
|---|
| 1. 援助を必要とする人の自発性を尊重するため、広報等で制度をお知らせし、希望者の申し出により登録する方法 |
| 2. 戸別に援助が必要と思われる人を訪問し、制度をお知らせすると同時に、情報登録への同意を求める方法 |
| 3. 援助を必要とする人の情報の漏れをなくするため、登録を望まない申出をした人を除き、福祉部局等で収集した情報を市役所、消防、民生委員、自治会等で共有する方法 |
| 4. その他() |

地域福祉にかかわる団体や制度、今後の地域福祉についてお伺いします。

問 38-1 流山市社会福祉協議会についてご存知ですか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|---------------------------|------------|
| 1. 名称も、活動内容も知っている | → 問 38-2 へ |
| 2. 名称は聞いたことがあるが、活動内容は知らない | → 問 39-1 へ |
| 3. 名称も、活動内容も知らない | → 問 39-1 へ |

問 38-2 流山市社会福祉協議会の活動として、ご存知のものについてお聞かせください。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------------------|-------------------|
| 1. 社協会費や共同募金活動 | 2. 生活福祉資金・小口資金の貸付 |
| 3. 居宅介護支援事業・訪問介護事業 | 4. 心配ごと相談・成年後見相談 |
| 5. 学童クラブの運営 | 6. 子育て支援事業 |
| 7. 高齢者デイサービスや身体障害者デイサービスセンターの運営 | |
| 8. ボランティア活動の支援・介護支援サポーターの養成や活動支援 | |
| 9. 地区社会福祉協議会活動支援などの地域福祉活動 | |
| 10. 日常生活自立支援事業 | 11. その他() |

市民意識調査

問 39-1 お住まいの地域の民生委員・児童委員が誰かご存知ですか。(あてはまるもの1つに○)

1. 知っている → 問 39-2 へ 2. 知らない → 問 40 へ

問 39-2 民生委員・児童委員の活動として、ご存知のものについてお聞かせください。

(あてはまるものすべてに○)

1. 住民の生活状態の把握
2. 住民の生活に関する相談業務
3. 支援を必要とする人が福祉サービスを適切に利用するための情報提供や援助
4. 地域の住民と連携した、ひとり暮らしの高齢者等の安否確認や見守り活動
5. その他 ()
6. 知っている活動はない

問 40 あなたは、生活困窮者自立支援制度*についてご存知ですか。(あてはまるもの1つに○)

1. 制度を利用したことがある
2. 制度を利用したことはないが、名称も内容も知っている
3. 名称を聞いたことはあるが、どのような内容なのかは知らない
4. 名称も、どのような内容のかも知らない

※ 現在は生活保護を受給していないが、経済的に困っている人で自立が見込まれる人を対象に、困りごとに関わる相談に応じ、安定した生活に向けて仕事や住まい、子どもの学習など様々な面で支援する制度のこと。

問 41 あなたは、地域や社会に関する情報を十分に得られていると思いますか。

(あてはまるもの1つに○、「3」「4」を選んだ場合はその理由も教えてください)

1. 十分に得られている
2. どちらかといえば得られている
3. どちらかといえば得られていない(その理由:)
4. 十分に得られていない(その理由:)

問 42 あなたは、地域や社会に関する情報をどこから入手していますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 市や県の広報紙やホームページ 2. 公民館
3. 社会福祉協議会 4. 社会福祉施設
5. 民生委員・児童委員 6. 自治会
7. 近所の人 8. 友人・知人
9. 保育園(所)・幼稚園・学校 10. 新聞・テレビ・雑誌・地域情報紙
11. インターネット(市や県のホームページ以外)
12. その他 ()

問 43 あなたは、福祉サービスの第三者評価*についてご存知ですか。(あてはまるもの1つに○)

1. 名称も、どのような内容なのかも知っている
2. 名称は聞いたことがあるが、どのような内容なのかは知らない
3. 名称も、どのような内容なのかも知らない

※ 福祉サービスの利用者が適切に事業者・施設を選ぶことができるよう、提供するサービスの質について、中立的な立場にある第三者評価機関による専門的かつ客観的な評価を公表する事業のこと。千葉県の評価結果については下記のサイトでご覧いただけます。
ホームページ <https://www.pref.chiba.lg.jp/kenshidou/shien/daisansha/top-page.html>

市民意識調査

問 44 あなたは、福祉サービス事業者（施設）を選ぶときに、第三者評価の評価結果を利用したいと思いますか。（あてはまるもの1つに○、「3」を選んだ場合はその理由も教えてください）

- | | |
|-----------------------|----------|
| 1. 利用したい | 2. わからない |
| 3. 利用したいと思わない（その理由： ） | |

問 45 あなたがお住まいの地域や周辺の環境について、どのように思いますか。（①から⑪の項目について、あなたのお気持ちに一番近い答えの番号1つに○）

| | そう思う | どちらかといえばそう思う | どちらかといえばそう思わない | そう思わない |
|--|------|--------------|----------------|--------|
| ① 公共施設や道路、交通機関等のバリアフリー化が進んでいる | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ② 防災対策が充実しており、安心して住めるまちである | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ③ 治安が良く、安心して住めるまちである | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ④ ごみのポイ捨てや飼い犬のふんの放置防止、ごみの出し方のルール等、まちをきれいにするための取組が十分である | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑤ 子育てがしやすいまちである | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑥ 高齢者や障害のある方が自立し、安心して暮らせるまちである | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑦ 隣近所等、身近な地域での助け合いや交流活動が活発である | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑧ ボランティア活動やNPO活動（民間非営利活動）が活発である | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑨ 現在、住んでいる地域に愛着を持っている | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑩ 総合的にみて、あなたにとって流山市は住みよい | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑪ これからも流山市に住み続けたい | 1 | 2 | 3 | 4 |

問 46 あなたは、流山市の地域福祉に関する市民と行政の協働（パートナーシップ）について、どのように感じていますか。（あてはまるもの1つに○）

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. 非常に進んでいる | 2. どちらかといえば進んでいる |
| 3. どちらかといえば進んでいない | 4. 全く進んでいない |

問 47 地域での福祉活動を充実させていくうえで、市民と行政との関係はどのようなかたちが望ましいと思いますか。（あてはまるもの1つに○）

- | |
|---|
| 1. 住民主導型（家庭や地域をはじめ住民同士で助け合い、手の届かない部分は行政が援助する） |
| 2. 住民・行政協調型（住民も行政も同じ立場で協力し合い、ともに取り組む必要がある） |
| 3. 行政主導型（福祉に関することは行政が行うべきだが、手の届かない部分は住民が協力する） |
| 4. 行政単独型（福祉を充実する責任は行政にあり、住民が協力する必要はない） |
| 5. わからない |

問 48 あなたは、地域での福祉活動に対し行政からどのような支援が最も必要だと思いますか。（あてはまるもの1つに○）

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 活動情報を提供する | 2. 活動の拠点や場を提供する |
| 3. 活動に対する経済的な支援を行う | 4. 活動に対する人的な支援を行う |
| 5. 特に市は関わらなくてよい | 6. その他（ ） |

市民意識調査

問 49 地域共生社会では、様々な生活課題に制度の枠を超えて横断的に対応する相談支援体制が求められます。流山市がそうした相談支援を充実していくうえで、どのような取組に最も力を入れるべきだと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 市役所で多様な相談を総合的に受けられるようにする 2. 身近なところで相談できるよう、地域で活動している人や事業所等の相談を充実する 3. 相談が必要な人を発見し、窓口につなぐ取組を充実する 4. 相談を支援に結び付けられるよう、関係者間のネットワークを充実する 5. 相談がしやすいよう、窓口の開設時間の延長や相談を受ける方法の見直しを行う 6. その他 () |
|--|

問 50 誰もが住み慣れた地域で安心して生活していくために、どのような取組が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 隣近所など、周囲の理解と協力による見守りなどの支援を行う 2. 地域活動(自治会等)を充実させる 3. ボランティア団体やNPO法人など市民活動を充実させる 4. 高齢者や障害のある方が地域で活動できる機会をつくる 5. 人が集まり、気軽に相談できる場を充実させる 6. 健康や福祉についての情報提供を充実させる 7. 住民がお互いに支え合い助け合えるまちづくりをすすめる(住民同士や行政との協力等) 8. 健康づくりや生きがいづくりの活動が盛んなまちづくりをすすめる 9. 自宅での生活を支援する在宅福祉サービスを充実させる 10. 高齢者への支援(介護や生活・自立支援・生きがい対策)を充実させる 11. 障害のある方への支援(介護や生活・自立支援)を充実させる 12. 成年後見制度の周知や市民後見人の育成など、権利を守るための支援を充実させる 13. 安心して子どもを生み育てられる子育て環境を充実させる 14. 虐待に関する相談体制の整備など虐待防止の取組をすすめる 15. 福祉サービス提供事業者の育成や連携をすすめる 16. 手当など金銭的な援助を充実させる 17. 生活困窮者に対する相談体制の整備や住まいの確保などの支援を充実させる 18. 就労に関する相談体制の整備や情報の提供などの支援を充実させる 19. 罪を犯した人の立直りを支え、社会復帰ができるよう支援を行う 20. 交通の利便性の確保をすすめる 21. 公共施設や交通機関、道路の段差解消など、バリアフリー化をすすめる 22. 災害に強いまちづくりをすすめる 23. 防犯体制が整ったまちづくりをすすめる 24. 保健事業(健(検)診・予防接種等)や感染症対策、地域医療体制などを充実させる 25. その他 () 26. 特になし |
|---|

問 51 地域福祉に関して、ご意見やご要望等がございましたら、ご記入ください。

| |
|--|
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |

以上で、アンケートは終了です。お忙しい中、ご協力ありがとうございました。
 ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒(切手不要)に入れ、**2月9日(火)**までに、お近くのポストへご投函ください。

流山市地域福祉に関する
市民アンケート調査報告書

発 行 / 流山市 社会福祉課 健康福祉政策室
編 集 / 流山市 社会福祉課 健康福祉政策室
発 行 / 令和3年3月
